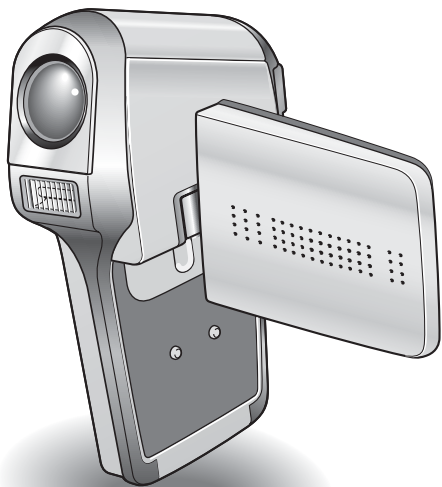
取扱説明書

デジタルムービーカメラ
品番 DMX-C5

Xacti

リチウムイオン電池は
リサイクルへ

この商品はリチウムイオン電池を使用しています。リチウムイオン電池のリサイクルにご協力ください。

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。6〜24ページの「カメラを安全に正しくお使いいただくために」は必ずお読みください。また、後々のために「保証書」とともに大切に保管してください。

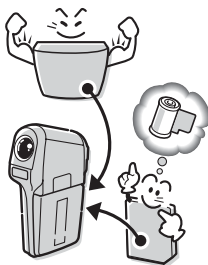
- 取扱説明書、本体、定格板には色記号の表示を省略しています。
包装箱に表示している品番の(　)内の記号が色記号です。

基本操作のご紹介

準備から撮影、再生までの基本操作の流れをご紹介します。早く操作に慣れて、カメラをお楽しみください。

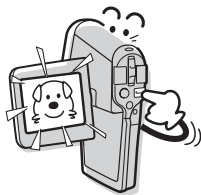
準備

1. **電池を充電する［P35］**
2. **電池を装着する［P37］**
3. **SDメモリーカード*を装着する［P38］**
4. **SDメモリーカードを初期化する［P134］**

［注意］
- 本機では、フィルムの代わりにSDメモリーカードを使います。操作の前に、必ずSDメモリーカードを装着してください。
- SDメモリーカードは、必ず本機で初期化してからご使用ください。本機で初期化していないカードを使用すると、十分に性能を発揮できない場合があります。

撮影

1. **電源を入れる［P40］**
2. **撮影する**

→動画クリップ撮影をする［P47］
→静止画撮影をする［P49］

巻末［P229］に「撮影のヒント」を紹介しています。
ぜひ操作の説明と併せてお読みになり、撮影をお楽しみください。

＊：**SDメモリーカードについて**
本書では、SDメモリーカードを「カード」と表記します。

操作中に疑問に感じたり故障かな？と思った時は、「よくある質問［P196］」と「困った状態になったとき［P201］」をご参照ください。

もくじ

■再生設定

PAGE1(基本設定)

PAGE2(詳細設定)

■カメラの設定

オプション設定

もくじ(つづき)

■他の機器との接続

ドッキングステーション

接続アタプター

■CD-ROMを使う

SANYO Software Pack

■付録

カメラを安全に正しくお使いいただくために

安全のため必ずお守りください

■警告表示について

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、重要な内容を記載しています。次の内容(表示･図記号)をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

 危険

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることがあります。

 警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。

 注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および、物的損害の可能性があります。

■図記号の例

△の記号は、注意(警告を含む)をうながす事項を示しています。

△の中に、具体的な注意内容が描かれています。
(左の絵表示は、注意することを意味します。)

分解禁止

⃠の記号は、してはいけない行為(禁止事項)を示しています。

⃠の中や、近くに、具体的な禁止内容が描かれています。
(左の絵表示は、分解禁止を意味します。)

電源プラグをコンセントから抜け

●の記号は、しなければならない行為を示しています。

●の中に、具体的な指示内容が描かれています。
(左の絵表示は、電源プラグをコンセントから抜け、という指示です。)

カメラについて

⚠警告

■煙が出ている、変な音やにおいがするときは、すぐに電源を切り、電池を取りはずす

● 異常状態のまま使用すると、火災、感電の原因となります。
すぐに電源を切り、電池を取りはずし、煙が出なくなるのを確認してから、お買い上げ販売店に修理をご依頼ください。
お客さまによる修理は危険ですから、絶対におやめください。

■キャビネットをはずしたり、改造しない

● 内部には高電圧回路があり、手を触れると危険なうえ、火災、感電の原因となります。
内部の点検･調整･修理は、お買い上げ販売店にご依頼ください。

■運転中は使用しない

● 自動車、オートバイなどを運転しながらの撮影や再生、液晶モニターを見ることは絶対におやめください。交通事故の原因となります。
● 自動車内に置くときは急ブレーキなど、カメラが落下してブレーキ操作の妨げにならないように、十分にご注意ください。

■撮影時は周囲の状況に注意をする

● 周囲の状況を把握しないまま、撮影を行わないでください。
事故やけがなどの原因となります。
● 歩きながら使用するときも、事故を防ぐため、周囲の交通や路面状況に十分にご注意ください。
● 航空機の中など使用が制限または禁止されている場所では、使用しないでください。事故の原因となることがあります。

⚠警告

■カメラをぬらさない

- このカメラは防水構造になっていませんので、ぬらさないようにご注意ください。火災、感電の原因となります。
- 風呂、シャワー室では使用しないでください。
- 万一内部に水などが入った場合は、電源を切り、速やかに電池を取りはずして、お買い上げ販売店にご連絡ください。
  そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となります。

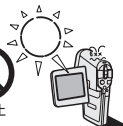
■雷が鳴り出したら使わない

- 落雷を避けるため、雷が鳴り出したら使用しないでください。特に広い野原などでの撮影や携帯は、落雷により感電するおそれがあります。速やかに落雷を回避できる場所へ避難してください。

■不安定な場所に置かない

- 落ちたり、倒れたりして、けがや故障の原因となります。
- 万一カメラを落としたり、キャビネットを破損した場合は、電源を切り、電池を取りはずして、お買い上げ販売店にご連絡ください。
  そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。

■太陽を見ない

- 太陽や強い光に向けて撮影しないでください。目に傷害を起こす原因となります。

■フラッシュを目に近づけて発光させない

- カメラを人の目(特に乳幼児)に近づけて撮影しないでください。
  目の近くでフラッシュを発光させると、視力障害を起こす原因となります。特に乳幼児を撮影するときは、1m以上離れてください。

⚠警告

■爆発の危険があるところでは使わない

- 可燃性ガスおよび爆発性ガスが、大気中に存在するおそれのある場所では、使用しないでください。引火、爆発の原因となります。

■カメラを幼児やお子様の手の届く範囲に放置しない

- 次のような思わぬ事故の原因となります。
  - ･誤ってネックストラップを首に巻き付け、窒息を起こす。
  - ･電池や小さな部品を飲み込む。
万一飲み込んだ場合は、直ちに医師にご相談ください。
  - ･目の前でフラッシュが発光し、視力障害を引き起こす。
  - ･カメラでけがをする。

注意

■持ち運びの注意

- ネックストラップを首にかけたまま、カメラを固定しないで持ち運ぶと、カメラに衝撃を与えたり、他のものに当たったりして故障やけがの原因となります。持ち運ぶときは、手でおさえるか、ポケットに入れるなど固定してください。
- カメラを落としたりぶつけたり、大きな衝撃を与えないようにご注意ください。
- レンズを直射日光に当てないでください。カメラ内部を傷めることがあります。撮影しないときは、電源を切り、レンズキャップを取り付けてください。

■長期間使用しない場合の注意

- 安全のため電池を取りはずしてください。電池の発熱や液漏れなどにより、火災、けが、やけどや周囲を汚損する原因となることがあります。（長時間電池を取りはずしたままで放置すると、時刻･日付の設定をクリアします。）

⚠注意

■操作や保管場所の注意

- 本機は精密な電子部品で構成しています。次の様な場所での操作や保管は、動作不良や故障の原因となりますので、絶対に避けてください。
  - ・直射日光が当たる場所
  - ・温度および湿度変化の激しい場所
  - ・水にぬれやすい場所
  - ・冷暖房器具や加湿器に近い場所
  - ・自動車の中
  - ・ほこりやちりの多い場所
  - ・火気のある場所
  - ・揮発性物質のある場所
  - ・振動のある場所

使用環境：	●温度	0℃～40℃（動作時）
		－20℃～60℃（保管時）
	●湿度	30％～90％（動作時、非結露）
		10％～90％（保管時、非結露）

⚠危険

■当社製リチウムイオン電池(品番：DB-L20)以外は充電しない

- リチウムイオン電池(DB-L20)以外は充電しないでください。乾電池や他の充電式電池を充電したりすると、電池が発熱、破裂、液漏れなどを起こし、火災、けが、やけどや周囲を汚損する原因となります。

■電源電圧AC100V～240Vで使用する

- 電源電圧がAC100V～240V以外で使用すると、火災、感電の原因となります。
  ただし、電源コードの定格はAC125Vになっています。このため、ドッキングステーションおよびACアダプター/充電器を海外でお使いになる場合は、電源コードをご使用になる地域や国にあったものに取り替える必要があります。詳しくは、お買い上げ販売店または、もよりの「お客さまご相談窓口[P221]」にお問い合わせください。

■分解したり、改造しない

- 内部に手を触れると危険なうえ、火災、感電の原因となります。
- 直流電源器として使用しないでください。

■ぬらさない

- 水につけたり、ぬらしたりしないでください。火災、感電の原因となります。
- 風呂、シャワー室では使用しないでください。
- 万一内部に水などが入った場合は、コンセントから抜いて、電池を取りはずし、お買い上げ販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となります。

⚠警告

■電源プラグの注意

- 電源プラグはコンセントへ根元まで確実に接続してください。不完全な接続のまま使用すると、火災や感電の原因となります。
- 電源プラグを根元まで接続しても、ゆるみがあるコンセントには接続しないでください。発熱などにより、火災の原因となります。
- 電源プラグが傷んでいるときは使用しないでください。火災、感電の原因となります。
- 電源プラグやコンセントに、ほこりなどを付着させないでください。電源プラグとコンセント付近に付着したほこり･よごれ･金属物などは、電源プラグを抜いてから、乾いた布で取り除いてください。ほこりなどにより、ショートや発熱が起こって、火災の原因となります。
- 電源プラグをコンセントから抜くときは、無理に引っ張らないでください。電源プラグが傷み、火災、感電の原因となります。

■電源コードの注意

- 付属の電源コードのプラグをコンセントに差し込んだまま、ACアダプター/充電器の電源ソケットから電源コードを抜いた状態にしないでください。ぬれた手で触れたり、お子様が口に入れたりすると感電の原因となります。
- 電源コードは付属品を使用してください。他の電源コードを使った場合は、コードの電流容量などの違いにより火災の原因となります。
- 付属の電源コードは本機専用です。火災、感電の原因となりますので、他の機器には接続しないでください。
- 電源コードは、束ねたまま使用しないでください。発熱などにより、火災の原因になります。
- コンセント付き延長コードをご使用の場合は、接続する機器の消費電力の合計が、延長コードの定格電力を超えないように注意してください。超えると火災の原因になります。

⚠警告

■幼児やお子様の手の届く範囲に放置しない

● 電池や小さな部品を飲み込むなど思わぬ事故の原因となります。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師にご相談ください。

■煙が出ている、変な音やにおいがするときは、すぐに電源プラグを抜く

● 異常状態のまま使用すると、火災、感電の原因となります。
● 異常状態になった場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、電池を取りはずし、煙が出なくなるのを確認してから、お買い上げ販売店にご連絡ください。お客さまによる修理は危険ですから、絶対におやめください。

■ぬれた手でさわらない

● 感電の原因となります。

■雷が鳴り出したら使わない

● 充電中に雷が鳴り出したら、電源プラグやドッキングステーションまたはACアダプター/充電器には触れないでください。感電の原因となります。

⚠注意

■電源コードを傷つけない

- 電源コードの上に重い物をのせたり、熱器具に近づけたりしないでください。また、コードを折り曲げたり、加工したり、ステープルなどで固定しないでください。
  電源コードが傷み、火災、感電の原因となります。
- 電源コードに傷または、電源プラグに接触不良があった場合は、すぐにお買い上げ販売店にご連絡ください。

禁止

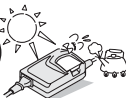
■不安定な場所に置かない

- 落ちたり、倒れたりして、けがや故障の原因となります。
- 万一落としたり、キャビネットを破損した場合は、電池を取りはずし、お買い上げ販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となります。

禁止

■使用や保管場所の注意

- 発熱体(ストーブの前面)や直射日光が当たるところで、充電しないでください。

禁止

使用環境：●温度　0℃～40℃(充電時)
　　　　　　　　－20℃～60℃(保管時)
　　　　●湿度　20%～80%
　　　　　　　　(充電時、保管時)

リチウムイオン電池(品番:DB-L20)について

⚠危険

本機はリチウムイオン電池(品番:DB-L20)を使用します。

■液漏れしたり、変色、変形、外傷がある、変なにおいがするなどの異常状態に気付いたときは、すぐに機器から取り出して使用を中止し、火気から遠ざける

- そのまま使用を続けると、発火、破裂、電解液の噴出、発煙の原因となります。
- 液漏れをしている場合は、火気に近づけると電池の電解液に引火し、発火、破裂、電解液の噴出、発煙の原因となります。

■電池を変形、分解、改造しない

- 電池には危険を防止するための安全機構や保護装置が組み込まれています。変形、分解、電池に直接半田付けをするなどの改造をすると、これらの装置が損なわれるため、発火、破裂、電解液の噴出、液漏れの原因となります。

分解禁止

■プラス⊕とマイナス⊖を針金などの金属で接続したり、金属製のネックレスやヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管しない

- ショート状態になり、過大な電流が流れ、発火、破裂、電解液の噴出、液漏れ、発熱の原因となります。また、針金やネックレスなどの金属が発熱する原因となります。

禁　止

■火中に投入したり、加熱しない

- 絶縁物が溶けたり、ガス排出弁や安全機構を損傷したり、電解液に引火したりするため、発火、破裂の原因となります。

禁　止

⚠危険

■落としたり、ぶつけたり、大きな衝撃を与えない

- 安全機構や保護装置が壊れると、電池内で異常な化学反応が起こり、発火、破裂、電解液の噴出、液漏れ、発熱の原因となります。

■水や海水につけたり、端子部分をぬらさない

- 腐食により、安全機構や保護装置が壊れると、電池内で異常な化学反応が起こり、発火、破裂、電解液の噴出、液漏れ、発熱の原因となります。

■使用や保管場所の注意

- **使用時・充電時温度：0℃～40℃**
- **火のそばや炎天下の車中など（60℃以上になるところ）での使用や充電、保管、放置はしないでください。**
- 高温になると、電池内の安全機構や保護装置が壊れて、異常な化学反応が起こり、発火、破裂、電解液の噴出、液漏れ、発熱の原因となります。安全機構や保護装置が壊れると、電池は使用不可能になります。
  極端な高温や低温環境では、電池の容量が低下し、使用できる時間が短くなります。また、電池の寿命も短くなります。
- 満充電に近い状態での保管は避けてください。ほぼ使い切った状態での保管をおすすめします。
- 過放電状態になると、充電しても使えなくなることがありますので、半年に1回5分程度充電してください。
- **保管時温度：－10℃～30℃**
  電池を使用しないときは、機器からはずし、－10℃～30℃で湿気のない場所で保管してください。
- **湿度：10％～90％（非結露）**

⚠危険

■付属のドッキングステーションまたはACアダプター/充電器以外では充電しない

- 他の充電器で充電すると、過度の充電状態になったり、異常な電流での充電状態になるため、電池内で異常な化学反応が起こり、発火、破裂、電解液の噴出、液漏れ、発熱の原因となります。

■電池は指定機器以外の用途に使用しない

- 指定機器以外の用途に使用すると、異常な電流が流れ、発火、破裂、電解液の噴出、液漏れ、発熱の原因となります。

■外装をはがしたり、傷つけたりしない

- 外装をはがしたり、釘をさしたり、ハンマーでたたいたり、踏みつけたりすると、電池パック内部でショート状態になり、発火、破裂、電解液の噴出、液漏れ、発熱の原因となります。

■電池から漏れ出た液がついたときは、すぐに洗い流す

- 万一、液が目に入ったときは、失明のおそれがあります。こすらずに、きれいな水で洗った後、ただちに医師にご相談ください。液が皮膚や衣服に付着したときは、皮膚に障害を起こすおそれがあります。ただちにきれいな水でよく洗い流してください。

■電池は指示通りに入れる

- カメラに装着するときは、極性(プラス⊕とマイナス⊖)に注意し、表示通りに入れてください。
- 万一極性を逆に接続した場合、充電時には異常な化学反応が起こったり、使用時には異常な電流が流れたりし、発火、破裂、電解液の噴出、液漏れ、発熱の原因となります。

⚠警告

■所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を止める

- そのまま続けて充電をすると、発火、破裂、電解液の噴出、液漏れ、発熱の原因となります。

■幼児やお子様の手の届く範囲に放置しない

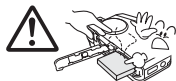
- 思わぬ事故の原因となることがあります。

⚠注意

■電池は充電して使う

- お買い上げ後、初めての使用や、長時間使用しなかった場合は、必ず充電してからご使用ください。充電中、電池が温かくなることがありますが、異常ではありません。

■使用直後の電池に注意する

- 使用直後は高温になることがあります。電池の取りはずしは、カメラの電源を切り、電池の温度が下がるのを待ってから行ってください。

■電池のリサイクルについて

- 環境保護と資源の有効利用をはかるため、ご使用済みの電池は、放電状態にした後、プラス⊕端子とマイナス⊖端子にテープをはり、絶縁状態にしてからリサイクルにご協力ください。

リチウムイオン電池はリサイクルへ

⚠注意

■ドッキングステーションおよびACアダプター/充電器使用時のご注意

- ドッキングステーションおよびACアダプター/充電器をご使用になる際は、付属品を使用してください。
- 他のドッキングステーションおよびACアダプター/充電器を使用すると、カメラ本体が故障したり、火災や感電など思わぬ事故が起きる可能性があります。
- ラジオやテレビの近くでドッキングステーションおよびACアダプター/充電器を使用すると、AM放送に雑音が入ったり、画面に妨害ノイズが出るなどの受信障害が起こることがありますので、離してご使用ください。

■カードのご注意

- 使用直後のカードは高温になることがあります。カードの取り出しはカメラの電源を切り、温度が下がるのを待ってから行ってください。
- 幼児やお子様の手の届くところに放置しないでください。誤って口に入れるなど、思わぬ事故の原因となることがあります。

リチウム電池(CR2025)について

⚠警告

■リチウム電池の注意

- リモコン操作用として、リチウム電池(CR2025)を使用しています。CR2025以外の電池は使用しないでください。
- 極性(プラス⊕とマイナス⊖)に気を付けて、正しく装着してください。正しく電池を装着しないと、発火、発熱、破裂の原因となります。
- 充電、ショート、分解、変形、加熱、火に入れるなどしないでください。発火、発熱、破裂の原因となります。
- 電池をピンセット(金属類)で、はさまないでください。ショートして、発火、発熱、破裂の原因となります。

- 半田付けをしたり、火のそばや直射日光のあたるところ、炎天下の車内など、高温になる場所での使用、保管、放置はしないでください。
- 液漏れした電池は使用しないでください。
- 万一、液が目に入ったときは、失明の恐れがあります。こすらずに、きれいな水で洗った後、ただちに医師にご相談ください。液が皮膚や衣服に付着したときは、皮膚に障害を起こす恐れがあります。ただちにきれいな水でよく洗い流してください。
- 取り出した電池は幼児やお子様の手の届かない場所に保管してください。誤って飲み込んだ場合はただちに医師にご相談ください。中毒を起こしたり、窒息する恐れがあります。
- 電池を捨てるときは、地域の条例に従って処分してください。
- リチウム電池を廃棄するときは、テープなどで絶縁してください。他の金属や電池と混じると、発火、破裂の原因になります。

正しくご使用いただくために必ずお守りください

■大切な撮影は事前に確認を

- 大切な撮影をされる場合は、正常に撮影ができることを確認してください。
- 本機や別売の機器、ソフトウェアなどを使用中、万一これらの不具合により撮影や記録できなかった場合、撮影内容の補償や、撮影･記録できなかったことによる損失の補償については、ご容赦ください。

■著作権法について

- あなたがカメラで撮影したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- 実演や興行、展示物の中には、個人として楽しむ目的であっても撮影を制限している場合がありますので、ご注意ください。
- 著作権の目的となっている画像は、著作権法の規定による範囲で使用する以外はご利用いただけませんので、ご注意ください。

■お手入れとご注意

お手入れのしかた

1 電源を切って、電池を取りはずす

2 柔らかい布で汚れを軽くふき取る

汚れがひどいときは…

3 水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げる

ご注意

- お手入れの際、ベンジン･シンナーは使用しないでください。変質したり、塗料がはげることがあります。また、化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。
- カメラに殺虫剤など、揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間、接触させたままにしないでください。変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。

■電池について

● 電池の端子部(接点)は、時々、乾いた布などで汚れをふき取ってください。電池の端子部を直接手で触れると、汚れが付着して酸化し、接触抵抗値の増加が発生することがあります。接触抵抗値が増加すると、電池の使用可能時間が短くなる原因となります。

■レンズのお手入れとご注意

● レンズが汚れたら、市販のブロアーで吹き飛ばすか、柔らかい布で軽くふき取ってください。

■長期間使用しないときは

● 電池を取りはずしてください。ただし機能に支障をきたす場合がありますので、ときどき電池を入れて作動させてください。
● カメラの機構上、電源を切っても微少電流が流れています。電池を長時間カメラに入れたままにすると、過放電状態になり、場合によっては充電しても使えなくなることがありますので特にご注意ください。

■露つき(結露)のご注意

● カメラに露つきが起きた状態で使用すると、故障する場合があります。

露つきとは…

● よく冷えた水をコップに注ぐと、コップのまわりに水滴がつきます。これと同じように、カメラ内部にも水滴がつくことがあります。このような状態を露つき(結露)といいます。

露つきが起こりそうなときは…

● カメラをポリ袋などに入れて密封し、周囲の温度になじませてから使用してください。

このようなときは、露つきにご注意

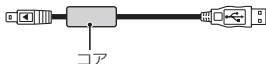
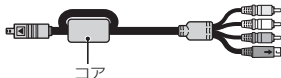
● 寒い所から急に暖かい部屋に持ち込んだとき
● 部屋を急激に暖房するなど、急に周りの温度が変わるとき
● エアコンなどの冷風が、直接当たる所に置いたとき
● 湿気の多い所に置いたとき

正しくご使用いただくために必ずお守りください(つづき)

■不要電波の放射にご注意

●カメラをテレビやラジオの近くでご使用になると、受信障害が起きることがあります。不要電波の放射を軽減するために、付属のケーブルに付いているコアを取りはずさないでください。

専用USB接続ケーブル　　専用S-AV接続ケーブル

コア　　コア

■磁気にご注意

●本機のスピーカーのそばにクレジットカードやキャッシュカード、磁気定期券、フロッピーディスクなど、磁気の影響を受けやすいものを近づけないでください。データがこわれて、使用できなくなることがあります。

■データ保存について

●大切なデータは別のメディア(ハードディスク·MOディスク·CD-Rなど)へコピーされることをおすすめします。
●下記などの場合、記録したデータが消失(破壊)することがありデータの消失による、損害および逸失利益等に関し、当社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。
・カードの使用方法を誤ったとき
・カードが正しく機器に装着されなかったとき
・カードが電気的·機械的なショックや力を受けたとき
・カードへのアクセス中に、カードを取り出したり、機器の電源を切ったとき
・カードが寿命になったとき

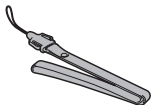
■カードの取り扱い上のご注意

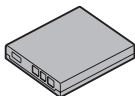
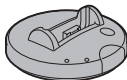
- カードは精密部品です。曲げたり、強い力やショックを加えたり、落としたりしないでください。
- 極端に高温や低温な場所、直射日光の当たる場所、しめきった車の中、暖房器具のそば、湿気やほこりの多い場所での使用や保管はさけてください。
- 強い静電気･電気的ノイズの発生しやすいところでのご使用･保管は避けてください。
- カードの端子部に、ごみや異物を付着させないでください。汚れは乾いた柔らかい布で、軽く拭き取ってください。
- ズボンのポケットなどに入れないでください。座ったとき等に力が加わり、壊れることがあります。
- 他の機器で使用していたり、未使用のカードは、必ず本機で初期化(フォーマット)をしてからご使用ください。「カードをフォーマット(初期化)する[P134]」
- 市販品をご使用になる場合は、カードに付属の取扱説明書をよくお読みください。

■温度上昇についてご注意

- 撮影中にカメラ内部の温度が上昇すると、液晶モニターに[温度警告]アイコンが出ます。[温度警告]アイコンが出ても撮影/再生はできますが、さらに温度が上昇すると撮影ができなくなります(再生はできます)。このような場合はできるだけ早く撮影を中止し、温度が下がるのを待ってから使用を再開してください。
  特に動画クリップ撮影時は、[温度警告]アイコンが出た後、しばらくすると撮影可能時間表示が出て、その数値が00:00:00になると撮影できなくなりますので、ご注意ください。

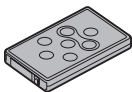
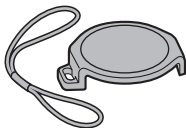
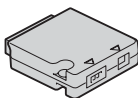
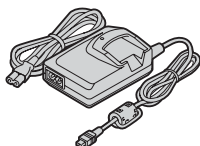
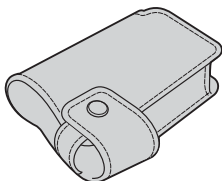
付属品を確認する

●ネックストラップ：1本

●CD-ROM(SANYO Software Pack)：1枚

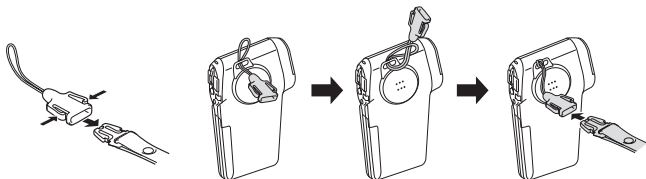
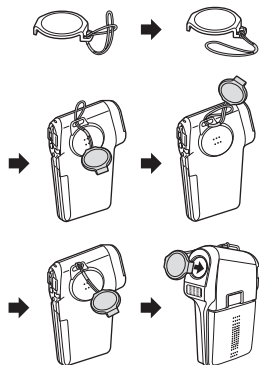
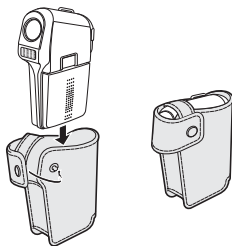
●リチウムイオン電池：1個

●ドッキングステーション：1個

●専用S-AV接続ケーブル：1本

●専用USB接続ケーブル：1本

●リモコン：1個

お買い上げ時、リチウム電池(CR2025)は、リモコンの中に入っています。

●レンズキャップとストラップ：1式

●接続アダプター：1個

●ACアダプター/
充電器と電源コード：1式

●カメラケース：1個

●簡単操作ガイド

付属品の使いかた

■ネックストラップ

■レンズキャップ

■カメラケース

別売品

- **リチウムイオン電池(品番:DB-L20)**
  付属品と同じ、リチウムイオン電池です。
- **SDメモリーカード(品番:KA-HPC-SD128)**
  メモリー容量が128MBのSDメモリーカードです。

本機で使えるカードについて

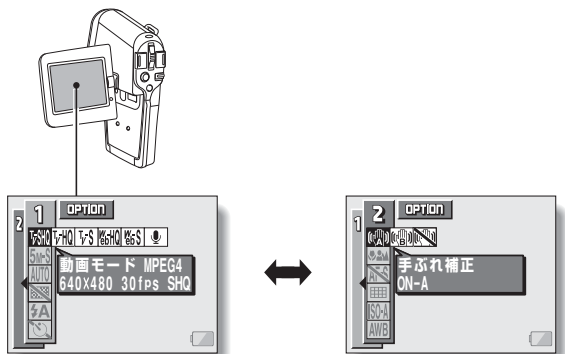
本機に装着し、使用できるカードは以下のとおりです。

- **SDメモリーカード**

本機の楽しみかた

本機は、動画クリップはもちろん、静止画や音声も撮影できるデジタルムービーカメラです。
動画クリップ撮影をしながら静止画撮影をしたり、音声のみを記録することもできます。
また、付属のドッキングステーションを使うと、テレビやパソコンにも簡単に接続できます。

ツインメニューで簡単操作[P62・86]

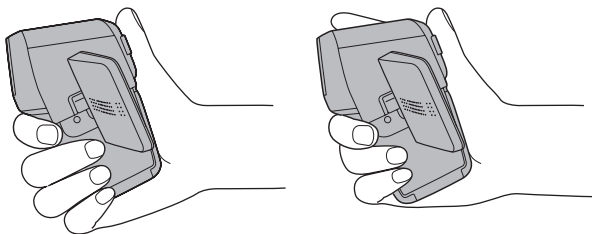
基本設定メニュー(**PAGE1**)は、よく使う設定を集めています。もちろん、本機の性能をフルに活かすための詳細設定メニュー(**PAGE2**)もあります。

＜例：撮影設定画面：**PAGE1**＞

＜例：撮影設定画面：**PAGE2**＞

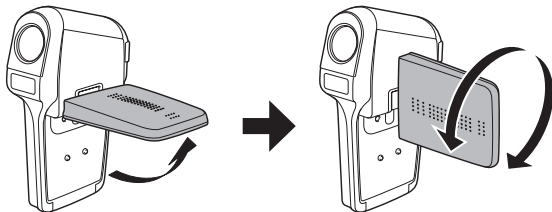
動画クリップを撮る[P47]

静止画撮影はもちろん、最大640×480ピクセルで動画クリップを撮ることができます。また、フレーム数も最大30フレームなので、再生画像は美しく、滑らかです。さらに、インターネットのホームページでも使用できるような、小さなファイルサイズでの撮影も可能です。

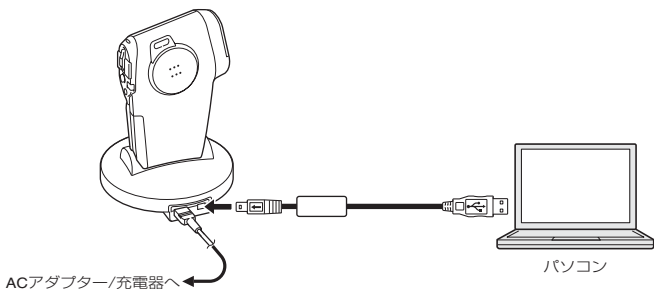
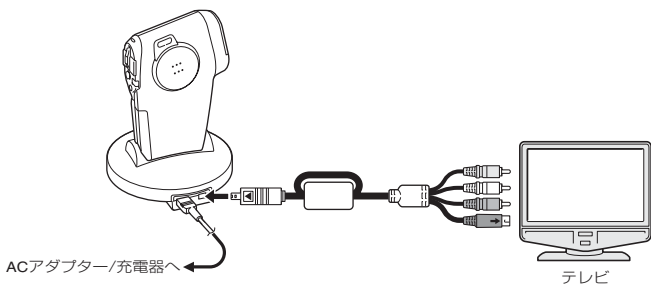
動画クリップを撮りながら静止画を撮る[P50]

動画クリップ撮影中、静止画で残しておきたいシーンがあったら、動画クリップ撮影を続けたまま静止画を撮影することができます。

＜カメラの持ちかた＞

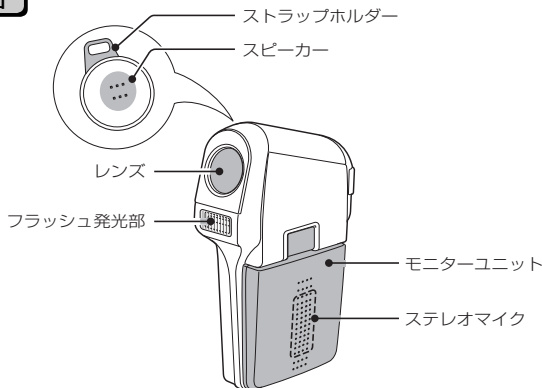
可動モニターで撮影アングルが思いのまま

液晶モニターは、さまざまな角度に変えることができます。ローアングルやハイアングルの撮影や、ご自身を撮影する場合に、便利です。

ドッキングステーションで簡単接続

難しくて煩雑な、テレビやパソコンとの接続も、付属のドッキングステーションにカメラを乗せるだけ。
テレビでもパソコンでも、撮った画像をすぐに見ることができます。リモコン(付属)も使えます。

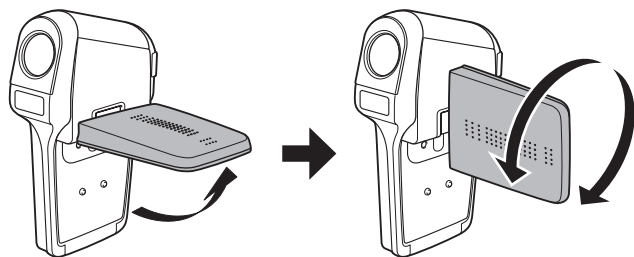
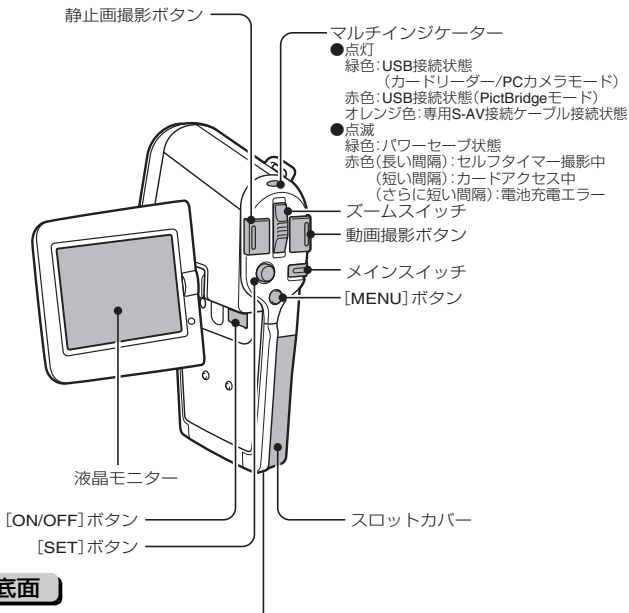
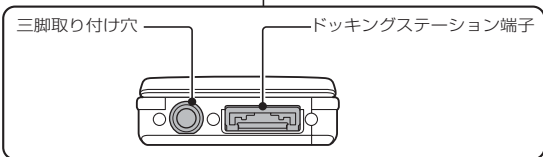
<パソコンに接続する [P143] >

<テレビに接続する [P144] >

各部の名前

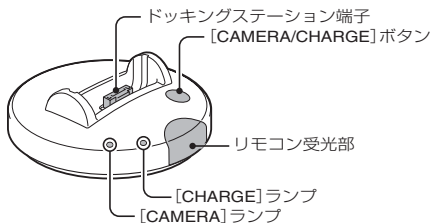
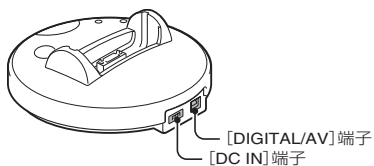
カメラ

前面

<モニターユニットの開けかた>

各部の名前（つづき）

後面

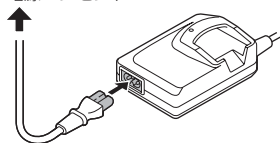
静止画撮影ボタン
マルチインジケーター
●点灯
緑色：USB接続状態
（カードリーダー/PCカメラモード）
赤色：USB接続状態（PictBridgeモード）
オレンジ色：専用S-AV接続ケーブル接続状態
●点滅
緑色：パワーセーブ状態
赤色（長い間隔）：セルフタイマー撮影中
（短い間隔）：カードアクセス中
（さらに短い間隔）：電池充電エラー
ズームスイッチ
動画撮影ボタン
メインスイッチ
［MENU］ボタン
液晶モニター
［ON/OFF］ボタン
［SET］ボタン
スロットカバー
底面
三脚取り付け穴
ドッキングステーション端子

ドッキングステーション

前面

後面

接続アダプター

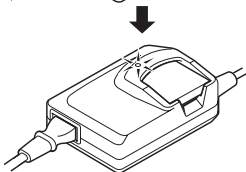
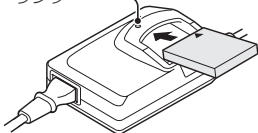
電池を充電する

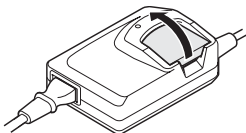
購入直後の電池は充電していません。必ず充電してからご使用ください。また、カメラを操作中に電池が消耗してきた場合は、なるべく速やかに充電をしてください。

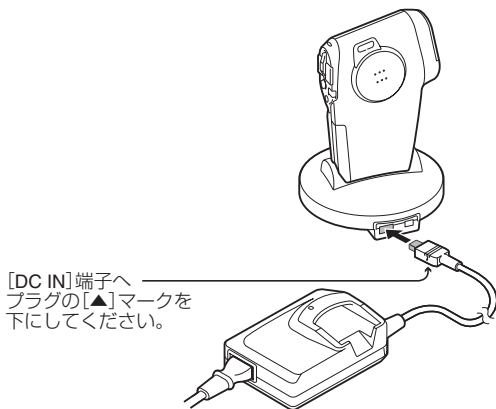
1 ACアダプター / 充電器を電源コンセントに接続する

- 付属の電源コードで接続します。

［CHARGE］ランプ

2 ACアダプター / 充電器に電池を装着する

- 電池スロットに装着します。
- 装着する時は、電池の向きに注意してください。
- 充電が始まります。充電中は、[CHARGE]ランプが赤色で点灯します。
- 充電が終わると、[CHARGE]ランプは消灯します。
- 充電時間は、約90分です。

3 充電が終わったら、電池を取りはずす

- 電池を取りはずした後、電源コードを電源コンセントから抜いてください。

ドッキングステーションを利用するには

ドッキングステーションにカメラを装着すると、カメラに装着した電池に充電をすることができます [P142]。

注意!

電池スロットに装着した電池を充電している時は

- ACアダプター/充電器の電池スロットに装着した電池に充電をしている時、ACアダプター/充電器はドッキングステーションに電源を供給しません。
- 電池スロットに装着した電池の充電が終わるか、電池スロットから電池を取りはずすと、ドッキングステーションに電源を供給します。

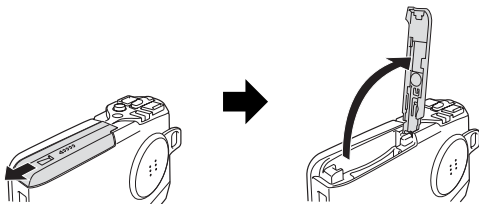
電池とカードを装着する

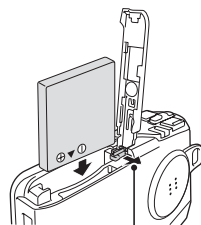
カードは、本機で初期化(フォーマット)[P134]してから使用してください。
電池は極性(プラス⊕、マイナス⊖)、カードは向きに注意して装着してください。

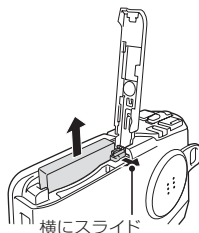
準備

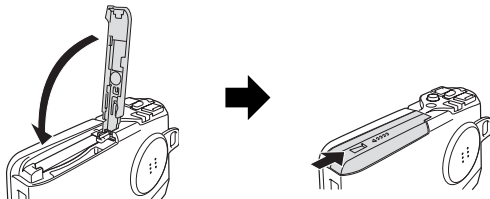
電池を装着する

1 スロットカバーを開ける

- スロットカバーを軽く押しながらスライドして開けてください。

2 電池を入れる

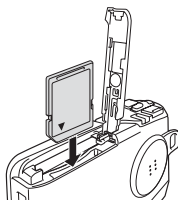
- つめを横にスライドして奥までしっかりと入れてください。

<電池を取りはずす時は･･･>

- 電池を固定しているつめをスライドして取り出してください。

3 スロットカバーを閉じる

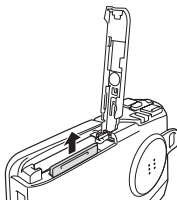
- スロットカバーをスライドして閉じてください。
- 購入直後の電池は充電していません。必ず充電した電池を装着してください[P35]。

カードを装着する

1 スロットカバーを開ける

2 カードを入れる

- カチッと音がするまで、しっかりと入れてください。

3 スロットカバーを閉じる

<カードを取り出す時は…>

- カードを取り出す時は、カードを押してください。カードを押すと、カードが少し出ますので、そのまま引き抜いてください。

注意!

- カードは無理に抜かないでください。
- マルチインジケータが赤色で点滅している時は、絶対にカードを取り出さないでください。カード内のデータを破損するおそれがあります。

参 考

内蔵バックアップ用電池について

- 本機は、日付･時刻や撮影の設定など、カメラの設定を保持しておくための電池を内蔵しています。この電池を充電するため、約2日間ほど電池は装着した状態にしてください。内蔵バックアップ用電池は、満充電状態で約7日間、カメラの設定を保持します。

長期間使用しないときは電池を取りはずす

- 電池は、電源が切れている状態でもわずかずつ消耗しますので、本機を長期間使用しないときは電池を取りはずしておくことをおすすめします。ただし電池を取りはずすと、日付･時刻や他の設定をしている場合は設定をクリアする場合がありますので、ご使用の前にカメラの設定を確認してください。

電源を入れる/切る

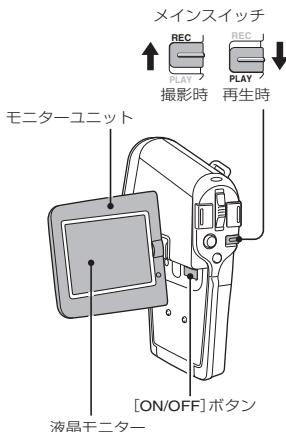
電源の入れかた

1 メインスイッチを合わせる

撮影するとき：
[REC]に合わせる
再生するとき：
[PLAY]に合わせる

2 モニターユニットを開ける

3 [ON/OFF] ボタンを約 1 秒間押す

- 電源が入り、液晶モニターに画像が出ます。

パワーセーブ(スリープ)状態から電源を入れる

電源の切り忘れなどによる電池の消耗を防ぐため、電源が入った状態で操作を行わないまま放置(撮影時:約1分間、再生時:約5分間(工場出荷時の設定))すると、自動的に電源が切れる「パワーセーブ(スリープ)機能」が備わっています。

- パワーセーブ状態になった場合は、以下の操作をすると電源が入ります。
  - **メインスイッチを切り替える**
  - **静止画/動画撮影ボタンを押す**
  - **[ON/OFF] ボタンを押す**
  - **[SET]/[MENU] ボタンを押す**
- パワーセーブ状態になって約1時間以上経過すると、スタンバイモードになります。スタンバイモードになった場合は、[ON/OFF]ボタンを押して電源を入れるか、モニターユニットを一度閉じて開けてください。
- ACアダプター/充電器を接続している場合、電源を入れてから約10分後にパワーセーブ機能が働きます(工場出荷時の設定)。
- パワーセーブ状態になるまでの時間は、変更することができます[P129]。
- カメラにパソコンまたはプリンタを接続している時は、パワーセーブ状態になりません。この場合は、約12時間後にパワーセーブ状態になります。

電源を入れる/切る(つづき)

電源の切りかた

1 [ON/OFF]ボタンを約 1 秒間押す

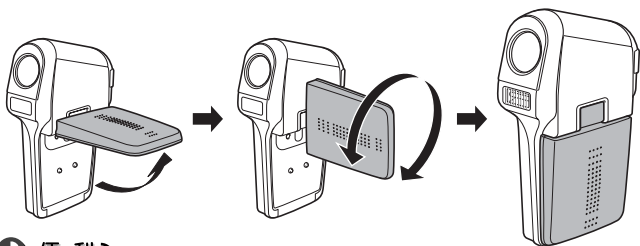
- 電源が切れます。

便 利

すぐにパワーセーブ状態にするには

- [ON/OFF]ボタンを短く押すと、パワーセーブ状態になります。

スタンバイモードについて

- モニターユニットを閉じると、電源をほとんど消費しないスタンバイモードになります。スタンバイモードでは、モニターユニットを開けるとすぐに電源が入って、撮影や再生操作が可能になります。本機の使用を一時的に中止し、またすぐに使用するような場合は、スタンバイモードをご利用ください。

便 利

- 日付･時刻を設定している場合[P115]、カメラの電源を入れた時に現在の時刻を液晶モニターに表示します。

参 考

⊙?アイコンが出る？

- 本機は、撮影時に撮影年月日を撮影画像に記録する機能を持っています。日付･時刻の設定[P115]を行っていないと、撮影画像に撮影年月日を記録できないため、⊙?アイコンが出ます。撮影画像に撮影年月日を記録する場合は、撮影の前に日付時刻の設定を行ってください。

ボタン操作をマスターする

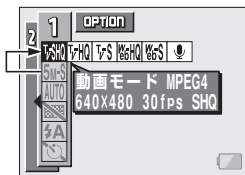
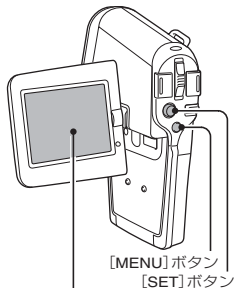
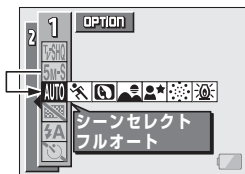
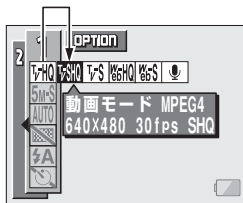
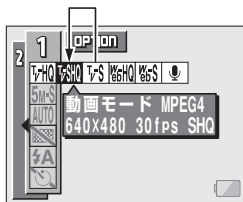
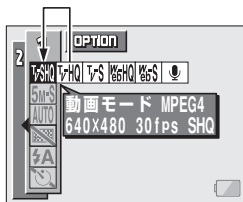
設定の変更や画像の選択は、液晶モニターの表示を見ながら、[SET]ボタンを操作して行います。頻繁に行う操作なので、マスターしておきましょう。

1 電源を入れる[P40]

2 [MENU]ボタンを押す

● メニュー画面が出ます。

＜上下のアイコンを選ぶ＞

上のアイコンを選ぶ：
[SET]ボタンを上側に押す

下のアイコンを選ぶ：
[SET]ボタンを下側に押す

＜左右のアイコンを選ぶ＞
右のアイコンを選ぶ：
[SET]ボタンを右側に押す

左のアイコンを選ぶ：
[SET]ボタンを左側に押す

＜選んだアイコンを確定する＞
[SET]ボタンを押します。選んでいたアイコンが、一番左側に移動します。

撮影の前に

上手に撮影するために

カメラをしっかり持って、脇をしめ、カメラがぐらぐらしないように構えてください。

良い例

悪い例

指がレンズまたはフラッシュ発光部にかかっている

レンズやフラッシュ発光部に、指やネックストラップがかからないように注意してください。

- 静止画像は、再生時に回転することができます[P96]。
- 光学ズーム使用時やオートフォーカス動作中に、画面が揺れる場合がありますが、故障ではありません。

撮影の前に（つづき）

オートフォーカス（自動ピント合わせ）機能について

本機のオートフォーカス機能は、ほとんどの被写体に対して正常に動作しますが、苦手な被写体もあります。ここでは、オートフォーカス機能でのピント合わせがしにくい被写体を、うまく撮影する方法を紹介します。オートフォーカス機能でピントが合わない場合は、フォーカスレンジを設定して撮影してください [P78]。

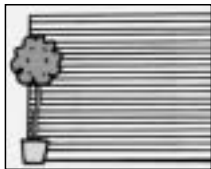
■オートフォーカスの苦手な被写体

次のような条件では、オートフォーカス機能でのピント合わせが正常に動作しないことがあります。

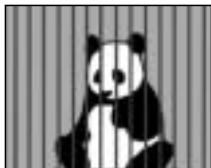
- **コントラストのない被写体や画面中央に極端に明るいものがある被写体、または、被写体や撮影場所が暗い**

  撮影のしかた：被写体と同じ距離にある、コントラストのはっきりしたものでフォーカスロックした後、構図を決めて撮影してください。

- **縦線のない被写体**

  撮影のしかた：カメラを縦位置に構えてフォーカスロックした後、構図を横位置に戻して撮影してください。

次のような被写体では、オートフォーカス機能が動作してもピントが合わないときがあります。

- **遠いものと近いものが共存する被写体**

  撮影のしかた：ピントを合わせたい被写体と同じ距離にあるものにフォーカスロックした後、構図を決めて撮影してください。（液晶モニターでピントを確認してください。）

- **動きの速い被写体**

  撮影のしかた：撮影したい被写体と同じ距離の被写体であらかじめフォーカスロックした後、構図を決めて撮影してください。

撮影のヒント

操作音を消したい

- 静止画撮影ボタンや[MENU]ボタン、[SET]ボタンなどを押した時に鳴る音や、モードを切り替えた時に出る音声ガイダンスを消すことができます[P118]。

撮影した画像や録音した音声の保存先は？

- すべて、本機に装着したカードに保存します。

逆光で撮影すると…

- 逆光で撮影した時は、CCDの特性上、光の筋（スミア）やゴースト模様（フレア現象）が現れることがあります。このような時は、逆光を避けて撮影してください。

撮影データの記録中は…

- マルチインジケーターが赤色で点滅している間は画像の記録中で、次の撮影はできません。赤色点滅が消えれば撮影できます。ただし、赤色で点滅している間でも、カメラ内部メモリーの空き容量の状態により、撮影後約2秒で次の撮影ができる場合があります。

直前に撮影した画像の確認（レックレビュー）ができます

- 撮影後、[SET]ボタンを押すと、撮影した画像を再生し確認することができます。
- 動画クリップのレックレビューでは、通常再生、逆方向再生、一時停止が行えます[P58]。
- 撮影に失敗した場合は、（動画クリップの場合は一時停止または停止中に）[SET]ボタンを上側に押すと、画像を消去することができます。
- レックレビュー画面を表示しているときに[SET]ボタンを左または右側に押すと、他の画像を再生することができます。
- レックレビュー画面は、[SET]ボタンを下側に押すと消えます。

撮影する

動画クリップ撮影をする

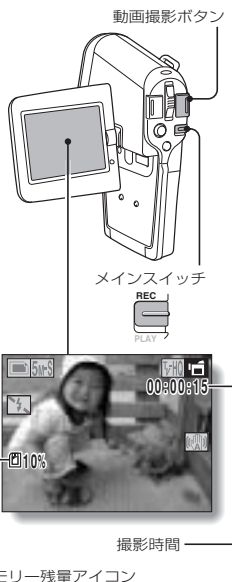
1 電源を入れる [P40]

2 メインスイッチを[REC]に合わせる

3 動画撮影ボタン[ ]を押す

● 動画クリップ撮影を開始します。撮影中は、液晶モニターに表示が出ます。
動画撮影ボタンを押し続ける必要はありません。

4 撮影を終了する

● もう一度動画撮影ボタンを押すと、撮影が終了します。

液晶モニターの明るさを変えることができます

- [MENU]ボタンを約1秒以上押すと、液晶モニターの明るさを設定する画面が出ます。
- 液晶モニターの表示を見やすくしたり、液晶モニターを消灯することができます[P91]。

動画クリップ撮影時のフォーカスロック

- [SET]ボタンを上側に押すと、オートフォーカスを固定することができます。オートフォーカスを固定すると、液晶モニターにAFアイコンが出ます。
- フォーカスレンジの設定[P78]を変更すると、フォーカスロックを解除します。

注意！

動画クリップ再生時に動作音のような音がする？

- 撮影時に光学ズームの動作音やオートフォーカスの動作音を録音したもので、故障ではありません。

参 考

- 動画クリップは、データ量が多くなります。撮影したデータをパソコンにダウンロードして再生した時、ご使用になるパソコンによっては、画像処理能力が追いつかない場合があります。このため、再生画像がスムーズに動かないなどの現象になります(カメラの液晶モニターやテレビでは、正常に再生できます)。
- カードの残り容量がカード容量の約10%以下になると、メモリー残量アイコンが出ます。
- 撮影可能時間以内でも、お使いのカードによっては、撮影を終了する場合があります。

撮影する(つづき)

静止画撮影をする

1 電源を入れる[P40]

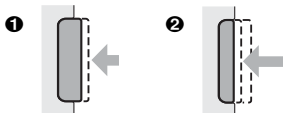
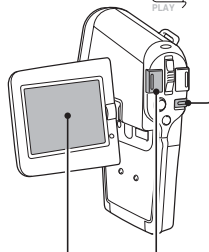
2 メインスイッチを[REC]に合わせる

3 静止画撮影ボタン[ ]を押す

❶静止画撮影ボタンを半分押す
- オートフォーカスが働き、ピントが合います(フォーカスロック)。

❷さらに静止画撮影ボタンを押す
- シャッターが切れます。
- このまま、静止画撮影ボタンを押したままにしていると、撮影した画像を液晶モニターで確認することができます(ポストビュー[P121])。

❶

❷

参 考

ターゲットマーク⁝⁝について
- ターゲットマークは、現在ピントを合わせている部分に出ます。ターゲットマークが出なかったり目的でない部分に出た場合は、撮影角度を変えるなどして、ピントを合わせなおしてください。
- 画面中央の広い範囲にピントが合った時は、大きなターゲットマークが出ます。

動画クリップ撮影中に静止画を撮影する

動画クリップ撮影中に、静止画撮影ができます。

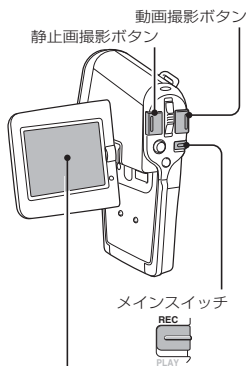
1 電源を入れる[P40]

2 メインスイッチを[REC]に合わせる

3 動画撮影ボタン[ ]を押す

4 静止画撮影のチャンスになったら、静止画撮影ボタン[ ]を押す

5 撮影を終了する

- 動画撮影ボタンを押すと、撮影が終了します。

参考

- 動画クリップ撮影中の静止画撮影の場合、フラッシュは発光しません。
- 静止画撮影をすると撮影画像が一瞬止まり、静止画撮影が終わったら動画クリップ撮影に戻ります。
- 静止画モードを10Mに設定している場合は、自動的に5M-Sに変更して撮影します。
- カードの残り容量がカード容量の約10%以下になると、メモリー残量アイコンが出ます。

基本的な撮影機能

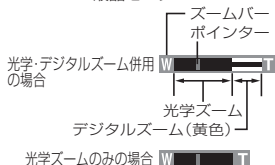
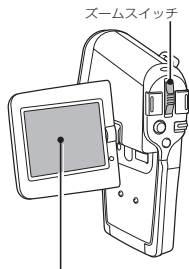
ズーム撮影をする

ズーム機能には光学ズームとデジタルズームがあります。
デジタルズームは、使うか使わないかを設定することができます[P125]。

1 被写体にレンズを向ける

2 ズームスイッチを[T]または[W]側に押して、構図を決める

[T]：望遠画面になります。
[W]：広角画面になります。

- ズーム動作に入ると、液晶モニターにズームバーが出ます。
- 光学ズームが最大倍率になると、ズーム動作がいったん止まります。再度ズームスイッチの[T]を押すと、デジタルズームに切り替わり、ズーム動作が再開します。

3 撮影する

動画クリップ撮影→[P47]
静止画撮影→[P49]

露出を補正する

明るさを変えて撮影することができます。

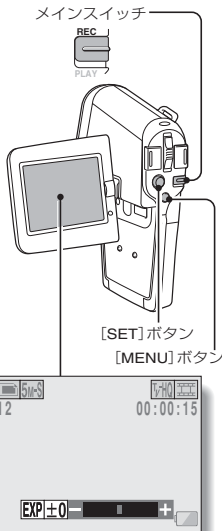
1 メインスイッチを[REC]に合わせる

- メニュー画面(撮影設定画面)は、[MENU]ボタンを押して消してください。

2 撮影設定画面が出ていない状態で、[SET]ボタンを右側に押す

- 露出補正バーが出ます。

3 [SET]ボタンを右または左側に押し、露出を補正する

- 露出補正バーは、[MENU]ボタンを押すと消えます。
- 露出補正値は、露出補正バーの左側に出ます。
  露出は－1.8EV～＋1.8EVの範囲で補正することができます。

以下の操作をすると、露出補正の設定を解除します

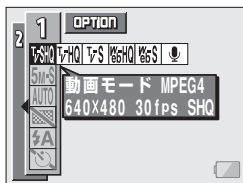
- ポインタを中央にする
- オプション画面を出す
- メインスイッチを[PLAY]にする
- 電源を切る

音声メモを録音する

音声のみを録音することができます。

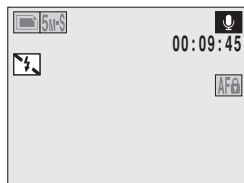
1 電源を入れ[P40]、メインスイッチを[REC]に合わせる

2 [MENU]ボタンを押す

- メニュー画面が出ます。

3 動画モードメニューから音声メモアイコン を選び、[SET]ボタンを押す

- 録音可能状態になります。
- メニュー画面は[MENU]ボタンを押すと消えます。

4 動画撮影ボタンを押す

- 録音を開始します。録音中は、液晶モニターに[マイク]表示が出ます。動画撮影ボタンを押し続ける必要はありません。
- 最大連続録音時間は、約9時間です。

5 録音を終了する

- もう一度動画撮影ボタンを押すと、録音が終了します。

便 利

録音中に静止画撮影ができます

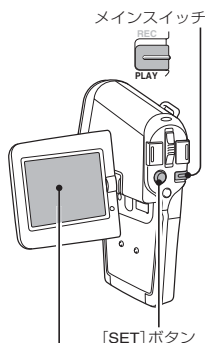
- 録音中に静止画撮影ボタンを押すと、静止画を撮影することができます。ただし、静止画モードを10M に設定している場合は、自動的に5M-S に変更して撮影します。

再生する

1 電源を入れ[P40]、メインスイッチを[PLAY]に合わせる

- 液晶モニターに画像が出ます。

2 再生する画像を選択する

1つ前の画像を表示する：
[SET]ボタンを左側に押す
1つ後の画像を表示する：
[SET]ボタンを右側に押す
- 目的の画像を表示してください。

〈例：動画クリップ撮影後〉

〈例：静止画撮影後〉

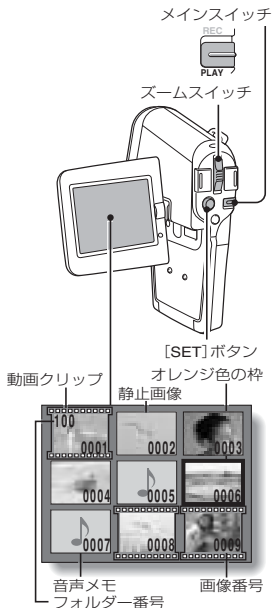
9画面マルチ再生

1 電源を入れ[P40]、メインスイッチを[PLAY]に合わせる

2 ズームスイッチを[W]([▦])側に押す

- 9画面マルチ再生表示になります。

3 再生する

- [SET]ボタンを上下左右に押し、再生する画像にオレンジ色の枠を合わせ、[SET]ボタンを押してください。
  [SET]ボタンの代わりに、ズームスイッチを[T]([🔍])側に押しても、再生できます。

参考

- 再生設定画面で ▦ アイコンを選んでも、9画面マルチ再生が行えます。

拡大(ズーム)表示をする

1 画像を表示する

- 動画クリップの場合は、拡大表示する位置で、一時停止してください。

2 ズームスイッチの[T]([🔍])を押す

- 拡大表示画面になります。
- 画像の中央部分を中心に、拡大表示します。
- [SET]ボタンを上下左右に押すと、表示部分が移動できます。
  拡大する:ズームスイッチの[T]([🔍])を押す
  元に戻す:ズームスイッチの[W]([▦])を押す

便 利

拡大した画像が保存できます

- 拡大表示している時に静止画撮影ボタンを押すと、拡大表示状態の画像を静止画として保存できます。

動画クリップを再生する

動画クリップを再生する

動画クリップは、以下の操作で再生できます。

通常再生する

- [SET]ボタンを押します。

一時停止する

- 動画クリップ再生中に[SET]ボタンを上側に押します。[SET]ボタンを押すと、再生を再開します。

コマ送りで見る

- **順方向に送る**
  一時停止の後、[SET]ボタンを右側に押します。
  [SET]ボタンを右側に押し続けると、スロー再生ができます。
- **逆方向に送る**
  一時停止の後、[SET]ボタンを左側に押します。
  [SET]ボタンを左側に押し続けると、逆方向にスロー再生ができます。

倍速再生する

- 倍速再生には2倍速(順方向再生のみ)、5倍速、10倍速、15倍速再生があります。
- 再生中に[SET]ボタンを右または左側に押すと、倍速再生をします。
- [SET]ボタンを右または左側に押すと、倍速速度が変わります。

  通常再生([SET]ボタンを右側に押す)
  通常再生→2倍速→5倍速→10倍速→15倍速
  ※再生速度を元に戻すには、[SET]ボタンを左側に押します。

  逆方向再生([SET]ボタンを左側に押す)
  15倍速←10倍速←5倍速←通常再生
  ※再生速度を元に戻すには、[SET]ボタンを右側に押します。
- **通常の再生にする**
  倍速再生中に、[SET]ボタンを押します。

動画クリップを再生する(つづき)

動画クリップの再生位置を表示できます

- 動画クリップ再生中に[MENU]ボタンを約1秒以上押すと、現在の再生位置を示すバーが出ます。
- 再生位置を示すバーは、再度[MENU]ボタンを約1秒以上押すと消えます。

音量を調整するには

- 動画クリップまたは音声再生中にズームスイッチを上または下側に押すと音量バーが出て、音量を設定することができます。

注意!

音声が出ない?

- コマ送り、倍速再生および逆方向再生時、音声は再生しません。

音声メモを再生する

録音した音声メモを再生します。

1 9画面マルチ再生表示の音声メモにオレンジの枠を合わせ[P56]、[SET]ボタンを押す

- 画面に音符マークが出ます。

2 再生する

通常再生を開始する：[SET]ボタンを押す
一時停止する　　　：再生中に[SET]ボタンを上側に押す
再生を中止する　　：再生中に[SET]ボタンを下側に押す
倍速再生する　　　：

・倍速再生には2倍速(通常再生のみ)、5倍速、10倍速、15倍速再生があります。
・再生中に[SET]ボタンを右または左側に押すと、倍速再生をします。
・[SET]ボタンを右または左側に押すと、倍速速度が変わります。

通常再生([SET]ボタンを右側に押す)
通常再生→2倍速→5倍速→10倍速→15倍速
※再生速度を元に戻すには、[SET]ボタンを左側に押します。

逆方向再生([SET]ボタンを左側に押す)
15倍速←10倍速←5倍速←通常再生
※再生速度を元に戻すには、[SET]ボタンを右側に押します。

注意!

音声が出ない?
- 倍速再生および逆方向再生時、音声は再生しません。

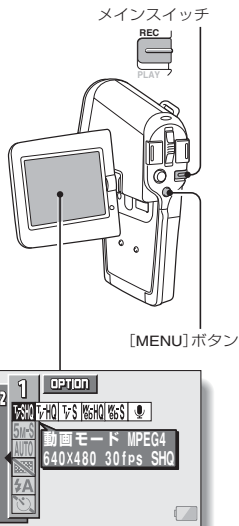
撮影設定画面を出す

撮影の設定は、撮影設定画面で行います。撮影設定画面には **PAGE1** と **PAGE2** があり、**PAGE1**[P63]では基本的な撮影設定が、**PAGE2**[P65]ではさらに詳細な設定が可能です。

1 電源を入れる[P40]

2 メインスイッチを[REC]に合わせる

3 [MENU]ボタンを押す

- 撮影設定画面が出ます。
- 撮影設定画面は、[MENU]ボタンを押すと消えます。

PAGE(ページ)の切り替えかた

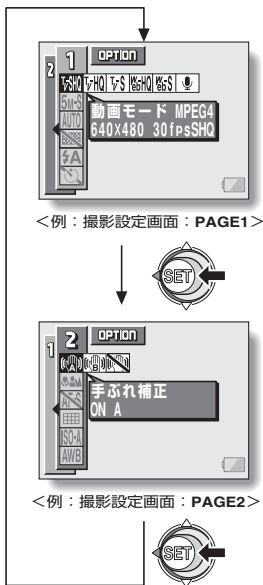
撮影設定画面の **PAGE1** と **PAGE2** を切り替えます。

1 撮影設定画面を出す

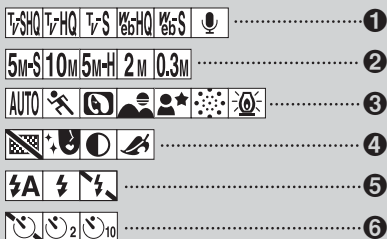
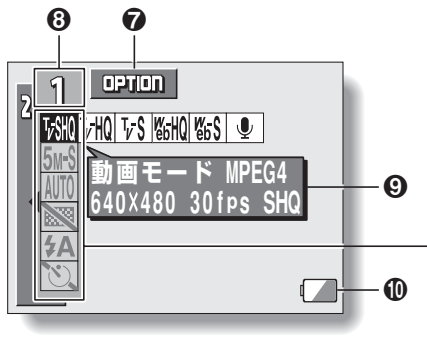
2 [SET]ボタンを左側に押す

- 撮影設定画面のPAGEが切り替わります。
- [SET]ボタンを左側に押すたびに、PAGEが切り替わります。

＜例：撮影設定画面：**PAGE1**＞

＜例：撮影設定画面：**PAGE2**＞

撮影設定画面を出す(つづき)

撮影設定画面の紹介

PAGE1

❶動画モードメニュー[P67]

- TVSHQ：640×480ピクセル、30フレーム/秒、高ビットレートで撮影します。
- TVHQ：640×480ピクセル、30フレーム/秒、標準ビットレートで撮影します。
- TVS：320×240ピクセル、30フレーム/秒で撮影します。
- WebHQ：320×240ピクセル、15フレーム/秒で撮影します。
- WebS：176×144ピクセル、15フレーム/秒で撮影します。
- 🎤：音声を録音します。

❷静止画モードメニュー[P68]

- 5M-S：2592×1944ピクセル（約500万画素（標準圧縮））で撮影します。
- 10M：3680×2760ピクセル（約1000万画素）で撮影します。
- 5M-H：2592×1944ピクセル（約500万画素（低圧縮））で撮影します。
- 2M：1600×1200ピクセル（約200万画素）で撮影します。
- 0.3M：640×480ピクセル（約30万画素）で撮影します。

❸シーンセレクトメニュー[P69]

- AUTO：フルオートで撮影します。
- ：スポーツモードで撮影します。
- ：ポートレートモードで撮影します。
- ：風景モードで撮影します。
- ：夜景モードで撮影します。
- ：花火モードで撮影します。
- ：ランプモードで撮影します。

❹フィルターメニュー[P71]

- ：フィルターを使わずに撮影します。
- ：コスメフィルターで撮影します。
- ：モノクロフィルターで撮影します。
- ：セピアフィルターで撮影します。

❺フラッシュメニュー[P72]

- ⚡A：自動発光します。
- ⚡：強制発光します。
- ：フラッシュを使いません。

❻セルフタイマーメニュー[P74]

- ：セルフタイマーを使いません。
- 2：静止画撮影または動画撮影ボタンを押した後、2秒後に撮影します。
- 10：静止画撮影または動画撮影ボタンを押した後、10秒後に撮影します。

❼オプションアイコン[P113]

- ●オプション画面を表示します。

❽PAGE表示[P62]

❾ヘルプ表示[P120]

❿電池残量表示[P139]

※同時に設定できない機能を設定した場合は、後から設定した機能を優先し、他方の設定を自動的に変更します。

撮影設定画面を出す(つづき)

PAGE2

❶手ぶれ補正メニュー[P76]

- [ON-A]：手ぶれを補正します（ON-A）。
- [ON-B]：手ぶれを補正します（ON-B）。
- [OFF]：手ぶれを補正しません。

❷フォーカスメニュー[P78]

- [全域]：全域フォーカスで撮影します。
- [ノーマル]：ノーマルフォーカスで撮影します。
- MF：マニュアルフォーカスで撮影します。
- [スーパーマクロ]：スーパーマクロフォーカスで撮影します。

❸スポットフォーカスメニュー[P80]

- [AF-S OFF]：5点測距フォーカスに設定します。
- AF-S：スポットフォーカスに設定します。

❹測光方式メニュー[P81]

- [多分割]：多分割測光になります。
- [中央重点]：中央重点測光になります。
- [スポット]：スポット測光になります。

❺ISO感度メニュー[P82]

- ISO-A：自動的に感度を設定します（ISO50～200相当）。
- 50：感度をISO50相当に設定します。
- 100：感度をISO100相当に設定します。
- 200：感度をISO200相当に設定します。
- 400：感度をISO400相当に設定します。

❻ホワイトバランスメニュー[P83]

- AWB：撮影現場の天候や照明をカメラが判別し、自動的にホワイトバランスを調整します。
- [晴天]：晴天時の設定です。
- [曇天]：曇天時の設定です。
- [蛍光灯]：蛍光灯による照明時の設定です。
- [白熱灯]：白熱灯による照明時の設定です。
- [マニュアル]：より正確にホワイトバランスを設定します。

❼オプションアイコン[P113]

- オプション画面を表示します。

❽PAGE表示[P62]

❾ヘルプ表示[P120]

❿電池残量表示[P139]

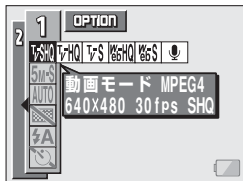
※同時に設定できない機能を設定した場合は、後から設定した機能を優先し、他方の設定を自動的に変更します。

画質を設定する

動画モード（画質）を設定する

動画クリップのピクセル数とフレームレートは、数値が大きいほどきめ細かく滑らかな撮影が可能ですが、ファイルサイズが大きくなります。画像の使用目的に応じた画質に設定してください。

1 撮影設定画面(PAGE1）を出す [P62]

2 動画モードメニューを選ぶ

TVSHQ：640×480ピクセル、30フレーム/秒、高ビットレートで撮影します。
TVHQ：640×480ピクセル、30フレーム/秒、標準ビットレートで撮影します。
TVS：320×240ピクセル、30フレーム/秒で撮影します。
WebHQ：320×240ピクセル、15フレーム/秒で撮影します。
WebS：176×144ピクセル、15フレーム/秒で撮影します。
（マイク）：音声を録音します。

3 動画モードメニューから目的のアイコンを選び、[SET] ボタンを押す

- 動画モードの設定ができました。

注意!

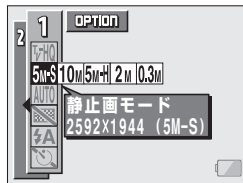
動画クリップを編集する場合

- 動画クリップをつなぎ合せる場合は、同じ動画モードで撮影してください。
- 異なる動画モードで撮影した動画クリップは、つなぎ合せることができません。

静止画モード(画質)を設定する

静止画像の解像度(ピクセル数)は、数値が大きいほどきめ細かな撮影が可能ですが、ファイルサイズが大きくなります。画像の使用目的に応じた画質に設定してください。

1 撮影設定画面(PAGE1)を出す [P62]

2 静止画モードメニューを選ぶ

5M-S：2592×1944ピクセル(5M-S)で撮影します(標準圧縮:撮影枚数優先)。
10M：3680×2760ピクセル(10M)で撮影します。
5M-H：2592×1944ピクセル(5M-H)で撮影します(低圧縮：画質優先)。
2M：1600×1200ピクセル(2M)で撮影します。
0.3M：640×480ピクセル(0.3M)で撮影します。

- かっこ( )の中の数値は、記録画素数です(単位：メガピクセル)。

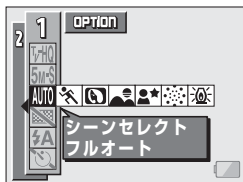
3 静止画モードメニューから目的のアイコンを選び、[SET]ボタンを押す

- 静止画モードの設定ができました。

シーンセレクト機能を設定する

撮影条件に応じたさまざまな設定(絞りやシャッタースピードなど)を登録済みの設定から選んで撮影することができます。

1 撮影設定画面(PAGE1)を出す [P62]

2 シーンセレクトメニューを選ぶ

- AUTO：カメラが最適な状態に設定します(フルオート)。
- ：動きの早い被写体の一瞬を捉えることができます(スポーツモード)。
- ：背景をぼかして、人物を引き立てた雰囲気のある撮影ができます(ポートレートモード)。
- ：遠くの風景がきれいに撮影できます(風景モード)。
- ：バックの夜景を活かしながら、人物の撮影ができます(夜景モード)。
- ：打ち上げ花火を撮影します(花火モード)。
- ：小さな光だけで撮影します(ランプモード)。

3 シーンセレクトメニューから目的のアイコンを選び、[SET]ボタンを押す

- シーンセレクトの設定ができました。

4 撮影をする

動画クリップ撮影→[P47]
静止画撮影→[P49]
通常の撮影に戻す場合は、シーンセレクトメニューのAUTOを選び、[SET]ボタンを押してください。

参考

- ランプモード、花火モードや夜景モードで撮影する場合は、手ぶれを防ぐために三脚などでカメラを固定してください。
- AUTO以外のシーンセレクト機能を設定した場合の制限事項については、207ページを参照してください。

フィルターを設定する

フィルターは、絞りやシャッタースピードおよび色調を変えて、撮影画像に特殊な効果を与える機能です。

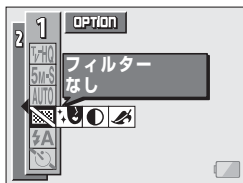
1 撮影設定画面（PAGE1）を出す [P62]

2 フィルターメニューを選ぶ

：フィルターを使わずに撮影します。

：人物を撮影する時に、お肌をきれいに撮影できます（コスメフィルター）。

：モノクロ撮影ができます（モノクロフィルター）。

：色調をセピアカラーにした撮影ができます（セピアフィルター）。

3 フィルターメニューから目的のアイコンを選び、[SET] ボタンを押す

- フィルターの設定ができました。

4 撮影をする

動画クリップ撮影→[P47]
静止画撮影→[P49]

- 通常の撮影に戻す場合は、フィルターメニューのを選び、[SET]ボタンを押してください。

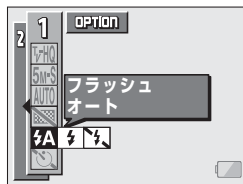
参考

- 以外のフィルターを設定した場合の制限事項については、208ページを参照してください。

フラッシュを設定する

フラッシュは暗い場所での撮影だけでなく、被写体が影になっているときや逆光の場合などでも役に立ちます。本機のフラッシュには、3 つの動作モード(自動発光モード / 強制発光モード / 発光禁止モード)があります。状況に応じて使い分けてください。

1 撮影設定画面(PAGE1)を出す [P62]

2 フラッシュメニューを選ぶ

- [⚡A]：被写体の明るさを判断し、必要な場合は自動的にフラッシュが発光します。また、逆光で画面中央が極端に暗い場合は逆光と判断し、発光します(自動発光)。
- [⚡]：被写体の明るさに関わらずフラッシュが発光します。逆光などで被写体が影になっていたり、蛍光灯などの照明で撮影するときに使います(強制発光)。
- [発光禁止]：暗い場所でもフラッシュは発光しません。フラッシュが使えない場所や、夜景を撮影するときなどに使います(発光禁止)。

フラッシュを設定する(つづき)

3 フラッシュメニューから目的のアイコンを選び、[SET] ボタンを押す

- フラッシュの設定ができました。

4 撮影をする

静止画撮影→[P49]

- 通常の撮影に戻す場合は、フラッシュメニューの⚡Aを選び、[SET]ボタンを押してください。

便 利

- 撮影設定画面が出ていない状態で[SET]ボタンを左側に押すと、フラッシュの設定を変えることができます。

セルフタイマーを設定する

1 撮影設定画面(PAGE1)を出す [P62]

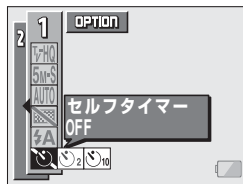
2 セルフタイマーメニューを選ぶ

- [セルフタイマーOFFアイコン]：セルフタイマーを使いません。
- [2秒アイコン]：静止画撮影または動画撮影ボタンを押した後、2秒後に撮影します。
- [10秒アイコン]：静止画撮影または動画撮影ボタンを押した後、10秒後に撮影します。

3 セルフタイマーメニューから目的のアイコンを選び、[SET] ボタンを押す

- セルフタイマーの設定ができました。

4 撮影をする

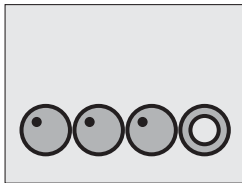
動画クリップ撮影→[P47]
静止画撮影→[P49]

セルフタイマーを設定する（つづき）

セルフタイマー撮影を中断/中止するには

- セルフタイマー撮影を中断する時は、撮影が始まる前に、もう一度静止画撮影または動画撮影ボタンを押します。再度セルフタイマー撮影をする時は、静止画/動画撮影ボタンを押します。
- セルフタイマー撮影を中止する時は、セルフタイマーメニューの[アイコン]アイコンを選び、[SET]ボタンを押してください。

便 利

[10秒アイコン]アイコンを選んだ場合は

- 静止画撮影または動画撮影ボタンを押すとマルチインジケーターが約10秒間点滅した後、撮影を開始します。また撮影を開始する4秒前になると液晶モニターに右の表示が出て、撮影のタイミングをお知らせします。
- モニターユニットを被写体側から見えるようにすると、撮影のタイミングがわかります。

手ぶれ補正を設定する

撮影時の手ぶれを補正し、手ぶれの少ない撮影を可能にします（動画クリップのみ）。

1 撮影設定画面（PAGE2）を出す [P62]

2 手ぶれ補正メニューを選ぶ

[A]：動画クリップ撮影時の手ぶれを補正します。動画クリップ撮影ボタンを押した際に画角が変わらないため、動画クリップを中心に撮影する際に便利です。

[B]：動画クリップ撮影時の手ぶれを補正します。静止画撮影ボタンを押した際に画角が変わらないため、静止画を中心に撮影する際に便利です。

[OFF]：手ぶれを補正しません。

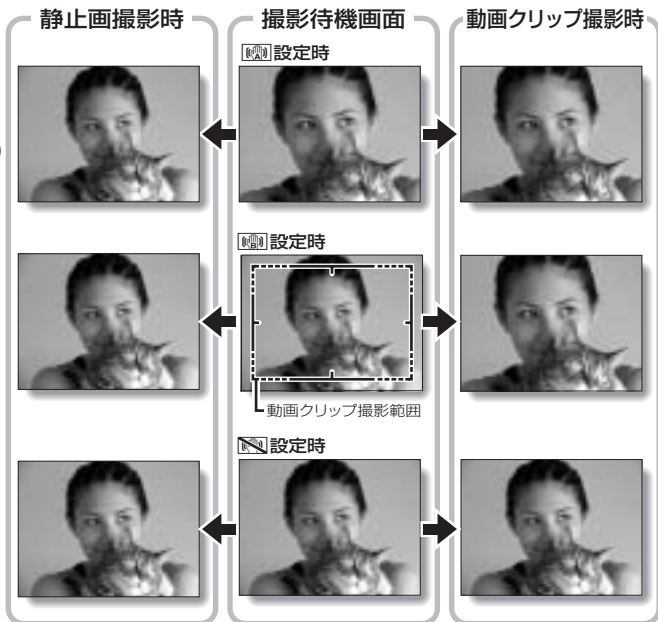
3 手ぶれ補正メニューから目的のアイコンを選び、[SET] ボタンを押す

- 手ぶれ補正の設定ができました。

手ぶれ補正が効かない？

- 機構上の特性により、激しい手ぶれは補正できない場合があります。
- デジタルズーム[P51]使用時は、倍率が大きいため被写体によっては手ぶれ補正が効きにくくなることがあります。
- カメラを三脚やドッキングステーションなどで固定して撮影する場合は、手ぶれ補正をしない設定[OFF]にしてください。手ぶれ補正を設定して撮影すると、不自然な画像になる場合があります。

手ぶれ補正を設定する(つづき)

<手ぶれ補正設定時の画角変化について>
- 手ぶれ補正をONに設定すると、撮影待機画面と撮影画面の画角が以下のように変わります。
- 手ぶれON-B[(B)]設定時、撮影待機画面には動画クリップ撮影範囲を示すフレームが出ます。

- 静止画撮影の設定を解像度[0.3M]、シーンセレクト機能を[AUTO]・[スポーツ]・[ポートレート]・[風景][P69]にしている場合、動画クリップ撮影中に撮影した静止画像は、動画クリップの画像と同じ画角になります。

フォーカスレンジを設定する

1 撮影設定画面（PAGE2）を出す [P62]

2 フォーカスメニューを選ぶ

- 中・遠景を撮影する場合、[ノーマル]に設定するとフォーカスが合いやすくなり、フォーカスが合うまでの時間も短くなります。

[全域]：Wide端：10cm～∞m
Tele端：80cm～∞m(全域モード)

[ノーマル]：80cm～∞m(ノーマルモード)

[MF]：焦点距離を2cmから8mの間で設定でき、∞に設定することもできます(マニュアルフォーカス)。

[マクロ]：1cm～80cm(スーパーマクロモード：Wide端のみ)

- [ノーマル][マクロ]または[MF]に設定すると、液晶モニターに[ノーマル][マクロ]または[MF]アイコンが出ます。

3 フォーカスメニューから目的のアイコンを選び、[SET] ボタンを押す

- フォーカスレンジの設定ができました。

ヒント

- 撮影画面が出ている時に[SET]ボタンを下側に押すと、フォーカスレンジの設定を変更することができます。
- スーパーマクロ[マクロ]に設定するとズームをワイド端にします。

フォーカスレンジを設定する（つづき）

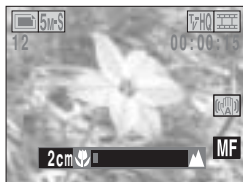
マニュアルフォーカスの使いかた

1 フォーカスメニューのマニュアルフォーカスアイコン [MF] を選び、[SET] ボタンを押す

2 [SET] ボタンを押す

- 焦点距離を設定するバーが出ます。

3 [SET] ボタンを右または左側に押して焦点距離を設定し、[SET] ボタンを押す

- 焦点距離を設定し、撮影画面に戻ります。

参 考

焦点距離について

- 焦点距離の表示は、レンズ面からの距離です。
- マニュアルフォーカスで設定する焦点距離の数値と実際の被写体までの距離に、多少の相違が出る場合があります。ピント合せの確認は、液晶モニターに映る画像でお確かめください。

マニュアルフォーカス使用時のズーム動作について

- 焦点距離を70cm以下に設定すると、ズーム位置は焦点距離に適合した最大の位置になります。
- 焦点距離を70cm以下に設定している場合、ズームはピントが合う範囲でのみ動作します。

フォーカスエリアを設定しよう

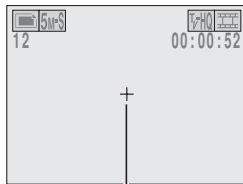
静止画撮影時のオートフォーカス（ピント合わせ）の方式は、以下の 2 種類から選べます。
5点測距フォーカス：撮影画面全体から被写体とのフォーカスを分割して測定します。
スポットフォーカス：液晶モニターの中央部分の被写体にフォーカスを合わせます。

1 撮影設定画面（PAGE2）を出す [P62]

2 スポットフォーカスメニューからフォーカス方式を選び、[SET] ボタンを押す

AF-S：5点測距フォーカスになります。

AF-S：スポットフォーカスになります。

- スポットフォーカスに設定した場合は、液晶モニター中央にフォーカスマーク＋が出ます。

フォーカスマーク

測光方式を設定しよう

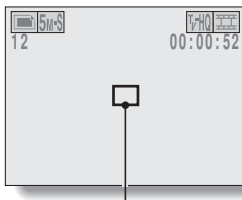
カメラの測光方式は、以下の 3 種類から選べます。
多分割測光　：撮影画面全体の光量を分割して測定します。
中央重点測光：撮影画面の中央付近の光量に重点をおいて、撮影画像全体を測定します。
スポット測光：液晶モニターの中央部分の光量だけを重点的に測定してから構図を決め、撮影することができます。

1 撮影設定画面（PAGE2）を出す [P62]

2 測光方式メニューから測光方式を選ぶ

[▦]：多分割測光になります。
[◎]：中央重点測光になります。
[▣]：スポット測光になります。

3 [SET] ボタンを押す

- 測光方式の設定ができました。
- スポット測光に設定した場合は、液晶モニター中央に測光スポットマーク[ ]が出ます。

測光スポットマーク

ISO感度を設定する

初期設定では、自動的に被写体の明るさに応じてISO感度を設定するようになっていますが、ISO感度を固定することができます。

1 撮影設定画面(**PAGE2**)を出す[P62]

2 ISO感度メニューを選ぶ

ISO-A：自動的に感度を設定します(ISO50〜200(動画撮影時：ISO200〜400)相当)。

50：感度をISO50(動画撮影時：ISO200)相当に設定します。

100：感度をISO100(動画撮影時：ISO200)相当に設定します。

200：感度をISO200(動画撮影時：ISO400)相当に設定します。

400：感度をISO400(動画撮影時：ISO800)相当に設定します。

3 ISO感度メニューから目的のアイコンを選び、[SET]ボタンを押す

- ISO感度の設定ができました。

参 考

- ISO感度を高く設定するほど、速いシャッタースピードでの撮影や暗い場所での撮影が可能になりますが、撮影画像にノイズが増える場合があります。

ホワイトバランスを設定する

本機は、光源の色が変化しても、撮影画像の色が変化しないように調整するホワイトバランス自動調整機能を搭載しています。特に光源を指定する場合は、ホワイトバランスの設定をしてください。

1 撮影設定画面（PAGE2）を出す [P62]

2 ホワイトバランスメニューを選ぶ

AWB：撮影現場の天候や照明をカメラが判別し、自動的にホワイトバランスを調整します。

：晴天時の設定です。

：曇天時の設定です。

：蛍光灯による照明時の設定です。

：白熱灯による照明時の設定です。

：より正確にホワイトバランスをとる時の設定です。光源が特定できない場合などに使用してください。

[設定のしかた]

❶アイコンを選び、[SET]ボタンを押す

・アイコンが左に移動します。

❷白色の紙を画面いっぱいに表示して、操作3をする

3 ホワイトバランスメニューから目的のアイコンを選び、[SET] ボタンを押す

- ホワイトバランスの設定ができました。
- アイコンで設定したホワイトバランスは、他の設定（AWB、、、、）にしても、記憶しています。他の設定に変更した場合は、アイコンを選んで[SET]ボタンを押すと、設定したアイコンのホワイトバランスに戻すことができます。

ホワイトバランスの設定を解除するには

- 操作1を行い、AWBアイコンを選んで[SET]ボタンを押します。

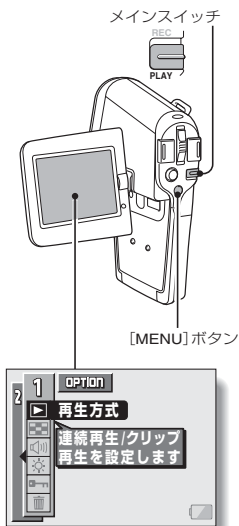
再生設定画面を出す

再生の設定は、再生設定画面で行います 。再生設定画面には **PAGE1** と **PAGE2** があり、**PAGE1**[P87]では基本的な再生設定が、**PAGE2**[P88]ではさらに詳細な設定が可能です 。

1 電源を入れる[P40]

2 メインスイッチを[PLAY]に合わせる

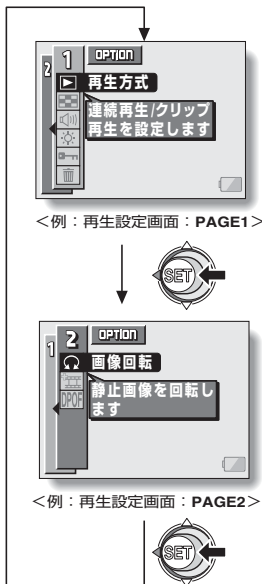
3 [MENU]ボタンを押す

- 再生設定画面が出ます。
- 再生設定画面は、[MENU]ボタンを押すと消えます。

PAGE(ページ)の切り替えかた

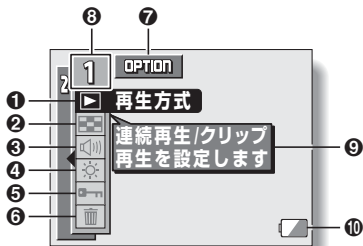
再生設定画面の **PAGE1** と **PAGE2** を切り替えます。

1 再生設定画面を出す

2 [SET] ボタンを左側に押す

- 再生設定画面のPAGEが切り替わります。
- [SET]ボタンを左側に押すたびに、PAGEが切り替わります。

再生設定画面を出す(つづき)

再生設定画面の紹介

PAGE1

❶再生方式アイコン[P89]
- 連続再生するか、1データごと再生するかを設定します。

❷マルチ再生アイコン[P56]
- データを9画面マルチ表示します。

❸音量アイコン[P90]
- 動画クリップや音声データの再生音量および操作音の音量を設定します。

❹モニターの明るさアイコン[P91]
- カメラの液晶モニターのバックライトの明るさを設定します。

❺プロテクトアイコン[P92]
- データにプロテクト(消去禁止)を設定します。

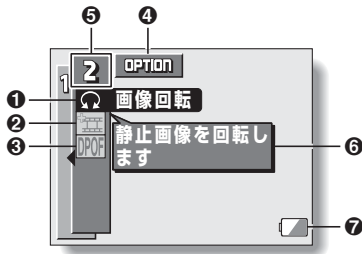
❻消去アイコン[P94]
- データを消去します。

❼オプションアイコン[P113]
- オプション画面を表示します。

❽PAGE表示[P86]

❾ヘルプ表示[P120]

❿電池残量表示[P139]

PAGE2

❶画像回転アイコン[P96]
- 静止画像を回転表示します。

❷動画編集アイコン[P97]
- 動画クリップを編集します。

❸プリント設定アイコン[P105]
- プリント設定(DPOF設定)を行います。

❹オプションアイコン[P113]
- オプション画面を表示します。

❺PAGE表示[P86]

❻ヘルプ表示[P120]

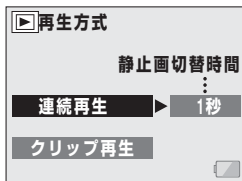
❼電池残量表示[P139]

再生方式を設定する

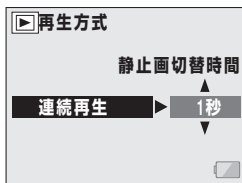
データを連続して再生する(スライドショー再生)か、選んだデータだけを再生するかを設定します。

1 再生設定画面(PAGE1)を出す[P86]

2 再生方式アイコン[▶]を選び、[SET]ボタンを押す

- 再生方式画面が出ます。
  [連続再生]：データを連続して再生します(スライドショー再生)。
  [クリップ再生]：選んだデータだけを再生します[P55]。

3 再生方式を選ぶ

<[連続再生]を選んだ場合>

❶[SET]ボタンを右側に押して静止画切替時間を選ぶ
❷[SET]ボタンを上または下側に押して、静止画切替時間を設定する
❸[SET]ボタンを押す

4 [SET]ボタンを押す

- 再生方式を設定し、再生設定画面に戻ります。

音量を設定する

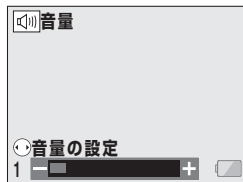
動画クリップや音声データの再生音量および操作音の音量を設定します。

1 再生設定画面(PAGE1)を出す [P86]

2 音量アイコン[🔈]を選び、[SET]ボタンを押す

- 音量バーが出ます。

3 [SET]ボタンを右または左側に押して、音量を設定し、[SET]ボタンを押す

- 音量を設定し、再生設定画面に戻ります。

- 動画クリップまたは音声再生中にズームスイッチを上または下側に押すと音量バーが出て、音量を設定することができます。

参 考

操作音の音量と設定について

- 操作音の音量と再生音の音量の設定は連動しています。

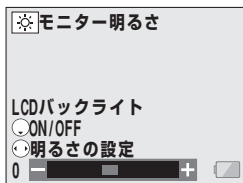
液晶モニターの明るさを設定する

再生時のカメラの液晶モニターの明るさを設定します。周囲の明るさによって、液晶モニターの表示が見づらい場合は、液晶モニターの明るさを設定してください。
また、屋外など明るい場所ではバックライトを OFF にすると、電池の消耗を抑えることができます。

1 再生設定画面(PAGE1)を出す [P86]

2 モニター明るさアイコン ☼ を選び、[SET] ボタンを押す

- モニターの明るさ画面が出ます。
  LCDバックライトをON/OFFする：
  [SET]ボタンを下側に押す
  明るさを調整する：
  [SET]ボタンを右または左側に押す

☼ モニター明るさ
LCDバックライト
ON/OFF
明るさの設定
0 − +

3 [SET] ボタンを押す

- 液晶モニターの明るさを設定し、再生設定画面に戻ります。

便 利

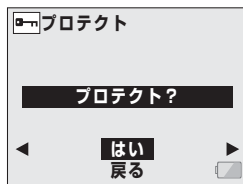
- 撮影画面で[MENU]ボタンを約1秒間以上押すと、モニターの明るさ画面が出て、液晶モニターの明るさを設定することができます。

プロテクト(消去禁止)を設定する

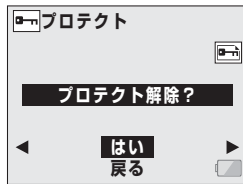
画像や音声データにプロテクト(消去禁止)を設定します。

1 プロテクトを設定するデータを表示し、再生設定画面(PAGE1)を出す [P86]

2 プロテクトアイコン を選び、[SET] ボタンを押す

- [プロテクト?]表示が出ます。
- プロテクトがかかっている画像の場合は、[プロテクト解除?]表示が出ます。

プロテクト
プロテクト?
はい
戻る

3 [SET] ボタンを上または下側に押して[はい] を選び、[SET] ボタンを押す

- データにプロテクトを設定しました。
- プロテクトを設定したデータには、プロテクトマーク が付きます。
- 再生設定画面に戻る場合は、[MENU]ボタンを押します。

プロテクト(消去禁止)を設定する(つづき)

注意!

● プロテクトをかけたデータでも、カードを初期化すると消えます。

操作2・3の画面で、他の画像を選ぶには

● [SET]ボタンを右または左側に押します。

プロテクトを解除するには

● プロテクトを解除するデータを表示し、操作1～3を行ってください。プロテクトマークが消え、プロテクトを解除します。

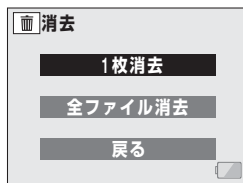
データを消去する

データを消去します。データの消去方法には、選んだデータを1つずつ消去する方法と、すべてのデータを一括して消去する方法があります。

1 再生設定画面(PAGE1)を出す [P86]

2 消去アイコン[🗑]を選び、[SET]ボタンを押す

- 消去方法を選ぶ画面が出ます。

  [1枚消去]：表示しているデータを消去します。
  [全ファイル消去]：カード内のすべてのデータを消去します。
  [戻る]：再生設定画面に戻ります。

3 [SET]ボタンを上または下側に押して消去方法を選び、[SET]ボタンを押す

- データ消去を確認するメッセージが出ます。

  ＜[1枚消去]を選んだ場合＞
- [SET]ボタンを右または左側に押して、消去するデータを選んでください。

  ＜[全ファイル消去]を選んだ場合＞
- [SET]ボタンを右または左側に押して、消去するデータを確認してください。

データを消去する(つづき)

4 [SET]ボタンを上または下側に押して[はい]を選び、[SET]ボタンを押す

<[1枚消去]を選んだ場合>

- 表示中の画像を消去します。
- 続けてデータを消去する場合は、データを選んで[SET]ボタンを押してください。
- 再生設定画面に戻る場合は、[MENU]ボタンを押します。

<[全ファイル消去]を選んだ場合>

- 再度、消去を確認する画面が出ます。消去しても良ければ[はい]を選んで[SET]ボタンを押してください。消去が終わると、[画像がありません]表示が出ます。

注意!

- プロテクトがかかっている画像は、消去できません。消去する場合は、プロテクトを解除してから消去してください[P92]。

画像を回転表示する

静止画像を回転して見ることができます。

1 再生設定画面(PAGE2)を出す[P86]

2 画像回転アイコン[画像回転]を選び、[SET]ボタンを押す

- 画像回転画面が出ます。

[右回転]：右方向に90°回転します（時計回り）。

[左回転]：左方向に90°回転します（反時計回り）。

3 右回転アイコン[右回転]または左回転アイコン[左回転]を選び、[SET]ボタンを押す

- [SET]ボタンを押すごとに、画像が90°回転します。
- [MENU]ボタンを押すと、再生設定画面に戻ります。

動画クリップを編集する

動画クリップの前部分または後ろ部分を削除することができます(動画クリップの部分削除)。削除するポイントは任意に設定することができます。
また、動画クリップをつなぎ合わせて、新しい動画クリップファイルとして保存することができます。(動画クリップのつなぎ合わせ)

注意!

電池残量に注意してください

- 長時間撮影した動画クリップ編集では、大きなサイズのデータを処理するため、処理時間が長くなります。カメラで動画クリップを編集するときは、処理中に電池がなくならないよう、十分に充電した電池を装着するか、ACアダプター/充電器を接続してください。
- 長時間撮影した動画クリップの編集は、パソコンで行うことをおすすめします。

動画クリップの部分削除の操作手順

動画クリップを再生し、削除するポイントで一時停止する

▼

一時停止した位置から前部分を削除するか、後ろ部分を削除するかを指定する

▼

指定した部分を削除する

- 動画クリップの部分削除ができました。••

- 元の動画クリップはそのまま残ります。••
(保存時に消去することもできます。)

動画クリップのつなぎ合わせの操作手順

前部分になる動画クリップを表示する

▼

後ろ部分になる(つなぎ合わせる)
動画クリップを選ぶ

▼

動画クリップをつなぎ合わせる
([SET]ボタンを押す)

●動画クリップのつなぎ合わせができました。

●元の動画クリップはそのまま残ります。
(保存時に消去することもできます。)

注意!

動画クリップ編集時のご注意

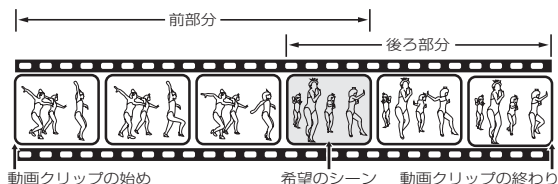
- 動画クリップ編集処理中は、メインスイッチを動かさないでください。メインスイッチを動かすと、編集処理が正常に終了しないばかりではなく、編集元の画像まで消えてしまうことがあります。
- 部分保存とつなぎ合わせをくり返すことにより、希望の動画クリップを作ることができます。ただし、動画クリップが増えて、カードの空き容量がなくなると、編集はできなくなります。このようなときは、不要なデータを消去[P94]するか、編集時に元の動画クリップの消去操作[P101·103]を行ってください。

動画クリップを編集する(つづき)

動画クリップの部分削除

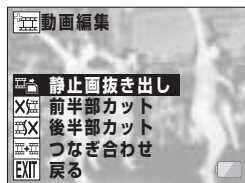
1 部分削除する動画クリップを表示する

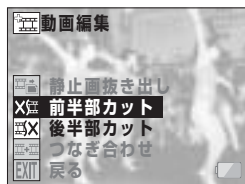
2 削除したい希望のシーンを表示する

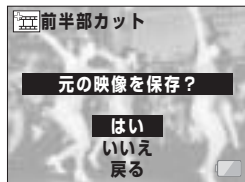
- 希望のシーンより、前部分または、後ろ部分を削除します。

- 希望のシーンをすばやくさがすときは、動画クリップの「早送り再生(逆方向の再生)」→「一時停止」→「コマ送り」の操作をすると便利です[P58]。
- 削除するポイントは、表示した希望のシーンより多少前後する場合があります。

3 再生設定画面(**PAGE2**)を出す[P86]

4 動画編集アイコン[icon]を選び、[SET]ボタンを押す

- 動画編集画面が出ます。

5 [SET]ボタンを上または下側に押して、削除する部分を選ぶ

[前半部カット]：
前部分を削除します。
[後半部カット]：
後ろ部分を削除します。

6 [SET]ボタンを押す

- 元の動画クリップの保存確認画面が出ます。

動画クリップを編集する(つづき)

7 編集と同時に元の動画クリップを消去する/しないを選ぶ

[はい]：元の動画クリップを保存します。
[いいえ]：元の動画クリップを保存しません。

8 [SET]ボタンを押す

- [はい]を選んだ場合は、削除後の動画クリップを新しい動画クリップとして保存します。
- [いいえ]を選んだときは、新しく動画クリップを保存した後、元の動画クリップを自動的に消去します。

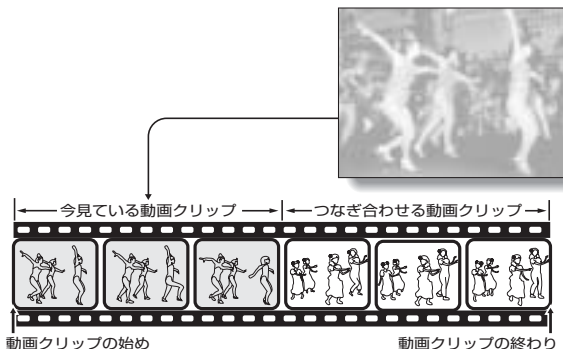
参考

- 元の動画クリップにプロテクトがかかっている場合、操作8で[いいえ]を選んで[SET]ボタンを押すと「プロテクトされています」表示が出て、部分削除ができません。

動画クリップのつなぎ合わせ

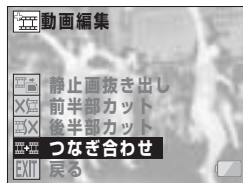
注意!

- 異なる動画モードで撮影した動画クリップは、つなぎ合せることができません。

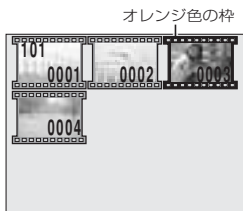
1 編集する動画クリップを表示する

2 再生設定画面(**PAGE2**)を出す[P86]

3 動画編集アイコン[動画編集]を選んで、[SET]ボタンを押す

- 動画編集画面が出ます。

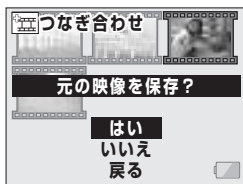
4 つなぎ合わせアイコン[つなぎ合わせ]を選ぶ

動画クリップを編集する(つづき)

5 [SET]ボタンを押す

- 動画クリップの9画面マルチ再生画面になります。

6 つなぎ合わせる動画クリップにオレンジの枠を合わせる

7 [SET]ボタンを押す

8 編集と同時に元の動画クリップを消去する/しないを選ぶ

[はい]：
元の動画クリップを保存します。
[いいえ]：
元の動画クリップを保存しません。

＜元動画クリップの保存確認画面＞

9 [SET]ボタンを押す

- 選んだ動画クリップをつなぎ合わせて、新しい動画クリップとして保存しました。
- 操作8で[いいえ]を選んだときは、動画クリップをつなぎ合わせて保存した後、元の動画クリップを自動的に消去します。

動画クリップから静止画像を抜き出す

撮影した動画クリップから、お気に入りの1コマを静止画像として抜き出すことができます。

1 静止画像として保存する1コマを表示する

2 再生設定画面(PAGE2)から動画編集アイコン[アイコン]を選び、[SET]ボタンを押す

- 動画編集画面が出ます。

3 静止画抜き出しアイコン[アイコン]を選び、[SET]ボタンを押す

- 表示中の1コマを静止画像として保存します。

参考

- 元の動画クリップにプロテクトがかかっている場合、操作8で[いいえ]を選んで[SET]ボタンを押すと「プロテクトされています」表示が出て、つなぎ合わせができません。

プリントを設定する

静止画像は、プリンタで印刷することはもちろん、従来の写真のようにデジタルプリント取扱店でプリントができます。また本機は DPOF 規格を採用しており、プリントする枚数の指定や日付けプリントの有無の指定、さらにインデックスプリントを指定することもできます。

プリント設定画面を出す

1 再生設定画面（PAGE2）を出す［P86］

2 プリント設定アイコン DPOF を選び、［SET］ボタンを押す

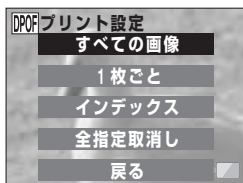
- プリント設定画面が出ます。

［すべての画像］：
カード内のすべての画像にプリントの設定を行います。

［1枚ごと］：
画像1枚ごとにプリントの設定を行います。

［インデックス］：
すべての静止画像を小さな画像で一覧表示用としてプリントします。

［全指定取消し］：
プリント指定の内容をすべて取り消します。プリントを指定していない場合は選べません。

［戻る］：
再生設定画面に戻ります。

- 動画クリップの画像をプリンタで印刷したりプリントサービスに出す場合は、静止画像として画像を抜き出してから[P104]プリントの設定をしてください。

参　考

DPOF規格について

- DPOFは、プリントオーダー規格の1つです。カメラでプリント内容を設定することで、効率よくプリントができます。DPOF規格に対応したプリンタにカメラを直接つないで印刷することもできます。またプリント設定をすると、予約画像印刷[P156]で一度に印刷することもできます。

プリントの仕上がりについて

- 画像回転した画像は、元の画像の状態でプリントします。
- プリントの仕上がりは、プリントサービスやプリンタの仕様によって異なります。

プリントを設定する（つづき）

日付・印刷枚数を設定する

1 画像ごとに個別に設定する方法（1 枚ごと）と、カード内の画像すべてに同じ設定をする方法（すべての画像）があります。

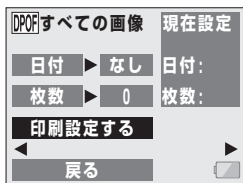
1 プリント設定画面を出す [P105]

2 [1枚ごと]または[すべての画像]を選ぶ

[すべての画像]：
カード内のすべての静止画像に、同じプリント設定をします。
[1枚ごと]：
表示している画像にプリント設定をします。

DPOF プリント設定
すべての画像
1 枚ごと
インデックス
全指定取消し
戻る

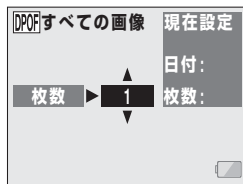
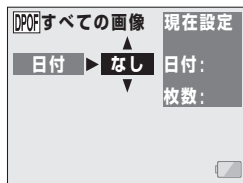
3 [SET]ボタンを押す

- 日付・プリント枚数設定画面が出ます。
- [1 枚ごと]を選んだ場合は[SET]ボタンを右または左側に押して、プリント設定をする画像を表示してください。
- [現在設定]には、表示中の画像のプリント設定が出ます。[SET]ボタンを右または左側に押すと、各画像のプリント設定が確認できます。

4 日付プリントまたはプリント枚数を設定する

〈日付プリントを設定する〉

❶[SET]ボタンを上または下側に押して、[日付]を選ぶ。
❷[SET]ボタンを押す。
・日付プリント設定画面が出ます。
❸[SET]ボタンを上または下側に押して、日付プリントを設定する。
[あり]：日付プリントします。
[なし]：日付プリントしません。
❹[SET]ボタンを押す。
・日付·プリント枚数設定画面に戻ります。

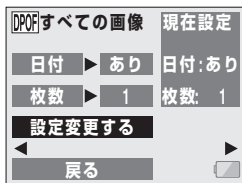
〈プリント枚数を設定する〉

❶[SET]ボタンを上または下側に押して、[枚数]を選ぶ。
❷[SET]ボタンを押す。
・プリント枚数設定画面が出ます。
❸[SET]ボタンを上または下側に押して、プリント枚数を設定する。
・目的の枚数が出るまで[SET]ボタンを上または下側に押してください。
❹[SET]ボタンを押す
・日付·プリント枚数設定画面に戻ります。

プリントを設定する（つづき）

5 [印刷設定する]を選び、[SET]ボタンを押す

- プリントの設定確認画面が出ます。

  設定内容が正しい場合：
  [戻る]を選んで[SET]ボタンを押す

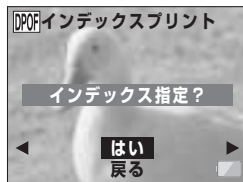
  設定を変更した場合：
  [設定変更する]を選んで[SET]ボタンを押す

インデックスプリントをする

一覧表示用として、小さな画像をたくさんプリントすることを「インデックスプリント」といいます。撮影した画像の一覧を作成する場合に便利です。

1 プリント設定画面を出す [P105]

2 [インデックス]を選ぶ

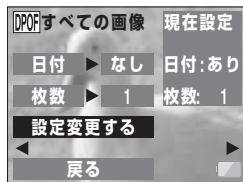
3 [SET]ボタンを押す

- インデックスプリント画面が出ます。
  [はい]：インデックスプリント設定をします。
  [戻る]：設定を中止して、プリント設定画面に戻ります。

4 [はい]を選び、[SET]ボタンを押す

- インデックスプリントの設定をし、プリント設定画面に戻ります。

プリント設定を変更する

1 107·108ページの操作 1 〜 4 をする

2 [設定変更する]を選び、[SET]ボタンを押す

プリントを設定する(つづき)

すべての画像のプリント設定を取り消す

画像のプリント設定をすべて取り消します。

1 プリント設定画面を出す[P105]

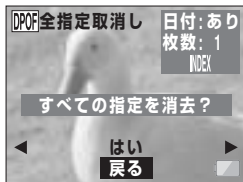
2 [全指定取消し]を選ぶ

3 [SET]ボタンを押す

- 全指定取消し確認画面が出ます。

[はい]：すべての画像のプリント設定を取り消します。
[戻る]：プリント設定の取り消しを中止して、プリント設定画面に戻ります。

4 [はい]を選び、[SET]ボタンを押す

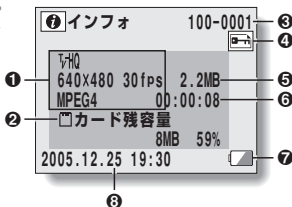
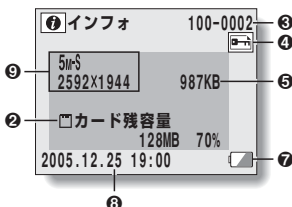
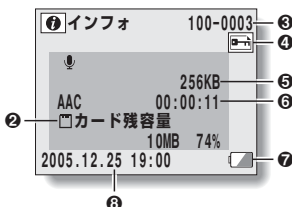
- すべての画像のプリント設定を取り消して、プリント設定画面に戻ります。

画像情報を表示する(インフォ画面)

撮影画像の情報を表示(インフォ画面)することができます。

1 情報を表示する画像を表示する

2 [MENU] ボタンを約2秒間押し続ける

- インフォ画面が出ます。
- インフォ画面は、再度[MENU]ボタンを押すと消えます。

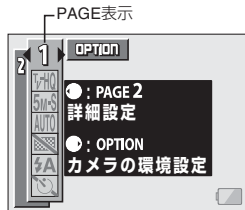
❶動画モードの設定
❷カードの残り容量
❸画像または音声番号
❹プロテクトの設定
❺ファイルサイズ
❻撮影または録音時間
❼電池残量表示
❽撮影年月日、時刻
❾静止画モードの設定

<動画クリップの場合>

<静止画像の場合>

<音声データの場合>

オプション画面を出す

カメラの設定は、オプション画面で行います。

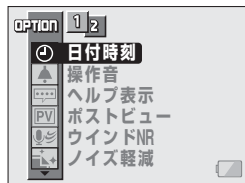
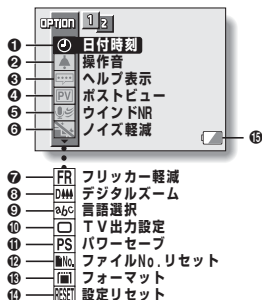
1 電源を入れ、[MENU] ボタンを押す

- 撮影または再生設定画面が出ます。

2 [SET] ボタンを上または下側に押してPAGE表示を選ぶ

3 [SET] ボタンを右側に押す

- オプション画面が出ます。
- オプション画面は、[MENU] ボタンを押すと消えます。

4 [SET] ボタンを下側に押す

- メニューが出ます。

オプション画面の紹介

❶日付時刻アイコン[P115]
- カメラの内蔵時計を設定します。

❷操作音アイコン[P118]
- カメラのボタンを押した時に鳴る音を設定します。

❸ヘルプ表示アイコン[P120]
- ヘルプ表示のON/OFFを設定します。

❹ポストビュー[P121]
- 静止画撮影ボタンを押した後、撮影した画像が液晶モニターに出る時間を設定します。

❺ウィンドNRアイコン[P122]
- ウィンドノイズリダクション機能のON/OFFを設定します。

❻ノイズ軽減メニュー[P123]
- ノイズ軽減機能のON/OFFを設定します。

❼フリッカー軽減メニュー[P124]
- フリッカー軽減機能のON/OFFを設定します。

❽デジタルズームアイコン[P125]
- デジタルズームのON/OFFを設定します。

❾言語選択アイコン[P126]
- 液晶モニターに表示する言語を設定します。

❿TV出力設定アイコン[P127]
- カメラの[DIGITAL/AV]端子から出力する映像信号の方式を設定します。

⓫パワーセーブアイコン[P129]

⓬ファイルNo.リセットアイコン[P131]
- ファイルNo.リセット機能を設定します。

⓭フォーマットアイコン[P134]
- カメラにセットしたカードをフォーマットします。

⓮設定リセットアイコン[P136]
- 各設定画面で変更した設定を工場出荷時の設定に戻します。

⓯電池残量表示[P139]

※❼～⓮のアイコンは、[SET]ボタンを上下に押して、画面をスクロールすると出ます

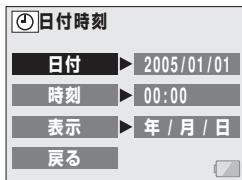
日付・時刻を設定する

本機は撮影／録音時の日付・時刻を記録し、再生時に表示する時計機能を内蔵しています。撮影前には、日付・時刻が正しく設定できているか、確認してください。

[例]：2005年12月23日午後7時30分に合わせる場合

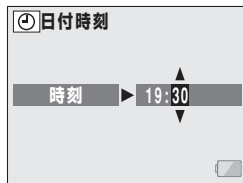
1 オプション画面を出す [P113]

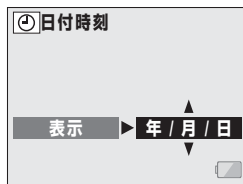
2 日付時刻アイコン[⊕]を選び、[SET]ボタンを押す

- 日付時刻設定画面が出ます。
- この状態で、現在の設定内容が確認できます。
- 再生時の撮影日表示、日付表示順序・日付・時刻合わせなどを設定するときは、以降の操作をしてください。
- オプション画面に戻るときは、[MENU]ボタンを押すか、[戻る]を選び[SET]ボタンを押します。

3 日付を設定する

❶[日付]を選ぶ
❷[SET]ボタンを押す
・日付設定画面が出ます。
❸日付を「2005年12月23日」に合わせる
・「年」設定→「月」設定→「日」設定の順に合わせます。
・[SET]ボタンを左右に押す：「年」、「月」、「日」が選べます。
[SET]ボタンを上下に押す：数値が増減します。
❹[SET]ボタンを押す

4 時計を設定する

❶[時刻]を選ぶ
❷[SET]ボタンを押す
・時刻設定画面が出ます。
❸時計を「19時30分」に合わせる
・「時」設定→「分」設定の順に合わせます。
・「時」は24時間表示です。
❹[SET]ボタンを押す

5 再生時の日付表示順序を設定する

❶[表示]を選ぶ
❷[SET]ボタンを押す
・日付表示順序を設定する画面が出ます。
❸[SET]ボタンを上または下側に押す

- 上側に押すと、日付表示順序が以下のように変わります。
  →年/月/日→月/日/年→日/月/年→表示なし

  下側に押すと、逆に切り替わります。
- 「表示なし」を選ぶと、再生時、撮影日表示が出ません。

❹[SET]ボタンを押す

6 [戻る]を選んで、[SET]ボタンを押す

- 日付・時刻の設定が終わり、オプション画面に戻ります。

参 考

- 本機は電池を交換するときに内部時計をバックアップしますが、電池の使用時間によっては、時刻・日付の設定をクリアする場合があります。(バックアップ時間は最長で約7日間)電池交換後や撮影前は念のため、時計表示を確認されることをおすすめします(操作1・2)。

日付・時刻を修正するには

- 操作1・2の後、修正したい行を選びます。修正したい表示を選び、表示を修正してください。

操作音を設定する

本機の起動/終了時に鳴る音や音声ガイド、本機のボタン(静止画撮影ボタン、[SET] ボタンや [MENU] ボタンなど)を押した時に鳴る操作音(確認音)が設定できます。

1 オプション画面を出す [P113]

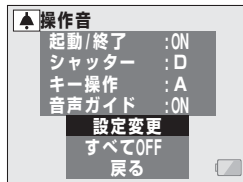
2 操作音アイコン[▲]を選び、[SET]ボタンを押す

- 操作音画面が出ます。
- 操作音画面には、現在の操作音の設定が出ます。
- [すべてOFF]を選んで[SET]ボタンを押すと、すべての音を出しません。
- [戻る]を選んで[SET]ボタンを押すと、オプション画面に戻ります。

[起動/終了]：
本機の電源をON/OFFした時に出る音です。

[シャッター]：
シャッターボタンを押した時に出る音です。

[キー操作]：
本機のボタン(静止画撮影ボタン、[SET]ボタン、[MENU]ボタンなど)を押した時に出る音です。

[音声ガイド]：
本機の操作を音声でお知らせする機能です。

操作音を設定する(つづき)

3 [設定変更]を選び、[SET]ボタンを押す

● 設定をする画面が出ます。

4 [SET]ボタンを上または下側に押して、設定する項目を選び、[SET]ボタンを押す

● 操作音選択画面が出ます。

〈[起動/終了][音声ガイド]を選んだ場合〉

・起動/終了音または音声ガイドを鳴らすか鳴らさないかを選ぶ画面が出ます。
・上側または下側に押してどちらかを選び、[SET]ボタンを押してください。
　[ON]：音が鳴ります。
　[OFF]：音が鳴りません。

〈[シャッター][キー操作]を選んだ場合〉

・操作音を選ぶ画面が出ます。
・AからHの8種類の音があります。
・静止画撮影ボタンを押すと、選んでいる操作音を聞くことができます。
・[OFF]を選ぶと、操作音は鳴りません。
・上側または下側に押して操作音を選び、[SET]ボタンを押してください。

便 利

● [MENU]ボタンを押した状態で電源を入れると、操作音画面が出ます。操作音を出したくない場所で設定を切り替える場合に便利です。

ヘルプ表示を設定する

液晶モニターに出るヘルプ表示の ON/OFF を設定することができます。

1 オプション画面を出す [P113]

2 ヘルプ表示アイコン を選び、[SET] ボタンを押す

- ヘルプ表示画面が出ます。
  [ON]：
  ヘルプ表示を出します。
  [OFF]：
  ヘルプ表示を出しません。

3 目的の設定を選び、[SET] ボタンを押す

- ヘルプ表示を設定しました。

ポストビューを設定する

静止画撮影ボタンを押した後、撮影した画像が液晶モニターに出る(ポストビュー)時間を設定します。

1 オプション画面を出す [P113]

2 ポストビューアイコン PV を選び、[SET] ボタンを押す

- ポストビュー画面が出ます。
  [OFF]：ポストビューを出しません。
  [1秒]：ポストビューを1秒間出します。
  [2秒]：ポストビューを2秒間出します。

3 目的の設定を選び、[SET] ボタンを押す

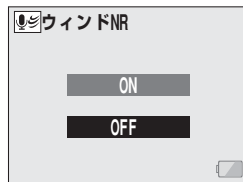
- ポストビューを設定しました。

ウインドノイズリダクション機能を設定する

風の強い場所で動画クリップを撮影したり、音声メモを録音した場合に発生するノイズを軽減する機能(ウインドノイズリダクション機能)のON/OFFを設定します。

1 オプション画面を出す [P113]

2 ウインドNRアイコン を選び、[SET]ボタンを押す

- ウインドNR画面が出ます。
  [ON]：ウインドノイズリダクション機能をONにします。
  [OFF]：ウインドノイズリダクション機能をOFFにします。

3 目的の設定を選び、[SET]ボタンを押す

- ウインドノイズリダクション機能を設定しました。

参 考

- 通常は、ウィンドNRの設定を[OFF]にして使用してください。ノイズがない場所で撮影や録音したとき、不自然な音声になります。

ノイズ軽減を設定する

静止画撮影時のノイズを軽減し、クリアな撮影を可能にします。

1 オプション画面を出す [P113]

[P113]

2 ノイズ軽減メニューを選ぶ

[ON]：ノイズを軽減します。

[OFF]：ノイズを軽減しません。

3 目的の設定を選び、[SET]ボタンを押す

- ノイズ軽減の設定ができました。

参考

- ノイズ軽減機能は、シャッタースピードが1/4以下の時に動作します。
- 通常の撮影に比べ、撮影後の画像処理に若干の時間がかかります。

フリッカー軽減機能を設定する

フリッカーとは、蛍光灯の下で動画クリップ撮影をしたときに発生する画面のちらつきのことで、本機はこのちらつきを抑えるフリッカー軽減機能を搭載しています。この機能は、電源周波数が50Hzの地域のフリッカーに対して効果があります。

1 オプション画面を出す [P113]

2 フリッカー軽減メニューを選ぶ

[ON]：フリッカー軽減機能をONにします。

[OFF]：フリッカー軽減機能をOFFにします。

3 目的の設定を選び、[SET]ボタンを押す

- フリッカー軽減機能の設定ができました。

参考

- よく晴れた屋外でフリッカー軽減機能を使うと、ハレーション(強い光が当った部分の周囲が白くぼやけて写る現象)を起こす場合があります。

デジタルズームを設定する

撮影時にデジタルズームを使う / 使わないを設定することができます。

1 オプション画面を出す [P113]

2 デジタルズームアイコン D444 を選び、[SET] ボタンを押す

- デジタルズーム画面が出ます。
  [ON]：デジタルズームを使います。
  [OFF]：デジタルズームを使いません。

3 目的の設定を選び、[SET] ボタンを押す

- デジタルズームを設定しました。

表示言語を設定する

本機の液晶モニターの表示は、8 種類の言語から選択できます。

1 オプション画面を出す
[P113]

2 言語選択アイコン[abc]を選び、[SET]ボタンを押す

- 言語選択画面が出ます。
  [日本語] ：日本語にします。
  [DEUTSCH] ：ドイツ語にします。
  [ENGLISH] ：英語にします。
  [ESPAÑOL] ：スペイン語にします。
  [FRANCAIS] ：フランス語にします。
  [ITALIANO] ：イタリア語にします。
  [NEDERLANDS] ：オランダ語にします。
  [РУССКИЙ] ：ロシア語にします。

abc言語選択

日本語	FRANCAIS
DEUTSCH	ITALIANO
ENGLISH	NEDERLANDS
ESPAÑOL	РУССКИЙ

3 言語を選び、[SET]ボタンを押す

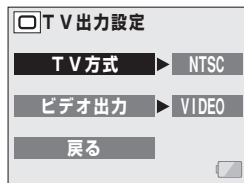
- 表示言語を設定します。

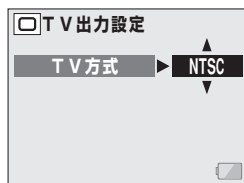
TV出力を設定する

本機の[DIGITAL/AV] 端子から出力する映像信号の方式を設定します。

1 オプション画面を出す [P113]

2 TV出力設定アイコン□を選び、[SET] ボタンを押す

- TV出力設定画面が出ます。
  [TV方式]：テレビ信号の方式を設定します。
  [ビデオ出力]：ビデオ信号の方式を設定します。

3 設定する項目を選び、[SET] ボタンを押す

- 設定をする画面が出ます。

例：[TV 方式]を選んだ場合

4 [SET]ボタンを上または下側に押し、設定を選ぶ

＜[TV方式]を選んだ場合＞

[NTSC]：NTSC方式の映像信号を出力します(日本・北米など)。

[PAL]：PAL方式の映像信号を出力します(ヨーロッパなど)。

＜[ビデオ出力]を選んだ場合＞

[VIDEO]：通常のビデオ信号を出力します。

[S-VIDEO]：S映像信号を出力します。

5 [SET]ボタンを押す

6 [戻る]を選び、[SET]ボタンを押す

- TV出力を設定します。

参考

通常の映像入力端子に接続する場合

- カメラのオプション画面で、[ビデオ出力]を[VIDEO]に設定してください。
- S映像入力端子には接続しないでください。S映像端子に接続すると、テレビが自動的にS映像入力となり、テレビに映像が出ない場合があります。

S映像入力端子に接続する場合

- カメラのオプション画面で、[ビデオ出力]を[S-VIDEO]に設定してください。
- 映像入力端子には接続しないでください。通常の映像端子に接続すると、テレビが自動的に通常の映像入力となり、テレビに映像が出ない場合があります。

画像がテレビに映らない？

- TV方式またはビデオ出力の設定が、接続する機器の信号方式に合っていないと、テレビで画像を見ることができません。

[PAL]に設定し、付属の専用S-AV接続ケーブルを接続[P144]した場合の表示について

撮影する時：液晶モニターにのみ画像が出ます。テレビには画像が出ません。

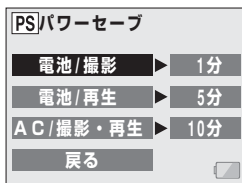
再生する時：テレビにのみ画像が出ます。液晶モニターには画像が出ません。

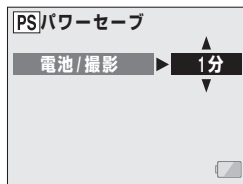
パワーセーブ機能を設定する

本機には、本機を使用しない時に電池の消耗をおさえたり電源の切り忘れを防ぐため、操作しない状態が続くと自動的に省電力状態になるパワーセーブ機能があります。
パワーセーブ状態になるまでの時間（待機時間）を設定することができます。

1 オプション画面を出す [P113]

2 パワーセーブアイコン PS を選び、[SET]ボタンを押す

- パワーセーブ画面が出ます。
  - [電池/撮影]：電池を使った撮影モードでの待機時間を設定します。
  - [電池/再生]：電池を使った再生モードでの待機時間を設定します。
  - [AC/撮影・再生]：AC電源使用時の撮影/再生モードでの待機時間を設定します。
  - [戻る]：オプション画面に戻ります。

3 設定する項目を選び、[SET]ボタンを押す

- 待機時間の設定画面が出ます。

例：[電池/撮影]を選んだ場合

4 [SET]ボタンを上または下側に押し、待機時間を設定する

上側に押す：待機時間が増えます。
下側に押す：待機時間が減ります。

5 [SET]ボタンを押す

- 待機時間を設定し、パワーセーブ画面に戻ります。

ファイル No. リセット機能を設定する

初期化したカードを使うと、撮影した画像のファイル名(画像番号)は自動的に 0001 から始まります。再度初期化したり、別の初期化したカードを使うと、ファイル名は再び 0001 から始まります。これはファイル No. リセット機能が入 [ON] になっているためですが、この場合複数のカードに同じファイル名が存在することになり、パソコンに保存する時など、誤って上書きしてしまう可能性があります。ファイル No. リセット機能を切 [OFF] にすると、カードを初期化したり交換しても、ファイル名の番号を継続して付けることができます。

〈ファイルNo.リセット機能　入[ON]〉

	ファイル名（画像番号）
カードA	0001、0002……0012、0013

カード交換
▼

カードB	0001、0002……0012、0013

〈ファイルNo.リセット機能　切[OFF]〉

	ファイル名（画像番号）
カードA	0001、0002……0012、0013

カード交換
▼

カードB	00014、00015……0025、0026

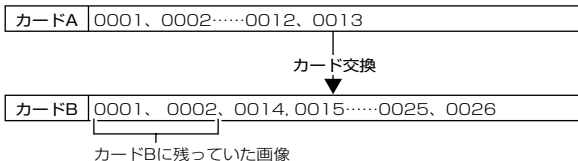
●交換したカードに画像が残っていた場合、撮影した画像のファイル名は次のようになります。

交換前に撮影した画像番号より小さいファイル名の画像が残っていた：撮影中のファイル名を継続した番号になります。

カードA	0001、0002……0012、0013

カード交換

カードB	0001、 0002、0014, 0015……0025、0026

カードBに残っていた画像

交換前に撮影した画像番号より大きいファイル名の画像が残っていた：最後のファイル名からの連番になります。

カードA	0001、0002……0012、0013

カード交換

カードB	0020、0021、0022、0023……0025、0026

カードBに残っていた画像

ファイル No. リセット機能を設定する(つづき)

1 オプション画面を出す [P113]

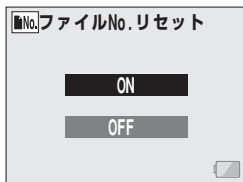
2 ファイル No. リセットアイコン [No.] を選ぶ

3 [SET] ボタンを押す

- ファイルNo.リセット画面が出ます。
  [ON]：
  ファイルNo.リセット機能をONにします。
  [OFF]：
  ファイルNo.リセット機能をOFFにします。

No.ファイルNo.リセット

ON

OFF

4 [OFF] を選び、[SET] ボタンを押す

- ファイルNo.リセット機能を切に設定しました。

参 考

- ファイルNo.リセット機能は、ONにするまでファイル名が連番となります。撮影の区切りがついたら、ONに戻すことをおすすめします。

カードをフォーマット(初期化)する

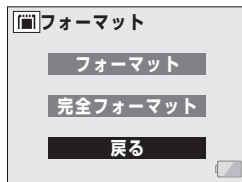
・購入後、初めて使うカード
・パソコンや他のカメラで初期化したカードは、必ず本機で初期化(フォーマット)してからご使用ください。
カードのロックスイッチを「LOCK」の位置にしている場合は、初期化できません。ロックスイッチをロック解除の位置にしてから、初期化をしてください。

1 オプション画面を出す[P113]

2 フォーマットアイコン [アイコン] を選び、[SET] ボタンを押す

- フォーマットの方法を選ぶ画面が出ます。
- 普段の使用で、完全フォーマットをする必要はありません。しかし、通常のフォーマットをしてもカードに関するエラーが出る場合は、完全フォーマットを行ってください。

[フォーマット]：
通常のフォーマットを行います。

[完全フォーマット]：
物理フォーマットを行います（電池残量が少ない場合は、選択できません)。

カードをフォーマット(初期化)する(つづき)

3 フォーマットの方法を選び、[SET]ボタンを押す

- 確認画面が出ます。

4 [はい]を選び、[SET]ボタンを押す

- 初期化が始まります。
- 初期化中は、[フォーマット中電源を切らないでください]表示が出ます。

注意!

初期化中のご注意

- 初期化中は、本機の電源を切ったり、カードを取り出したりしないでください。

初期化をすると、データが消えます

- カードを初期化すると、カードに記録したデータは、すべて消えます。プロテクト[P92]したデータも消えますので、初期化をする前に大切なデータはパソコンのハードディスクなどに保存してください。

フォーマットをしてもデータが復元できる？

- フォーマットを行っても、データを復元するソフトを使うと、カード内のデータを復元できる場合があります。一方、完全フォーマットを行うと、復元ソフトを使ってもデータの復元ができなくなります。カードを廃棄または他人に譲渡する場合は、完全フォーマットを実行することをおすすめします。

ヒント

初期化を中止するには

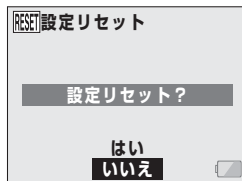
- 操作4で[いいえ]を選び、[SET]ボタンを押してください。

カメラの設定をリセットする

各設定画面で変更した設定を工場出荷時の設定に戻します。

1 オプション画面を出す [P113]

2 設定リセットアイコン RESET を選び、[SET]ボタンを押す

- 設定リセット画面が出ます。
  [はい]：カメラの設定を工場出荷時の設定に戻します。
  [いいえ]：カメラの設定を変えず、オプション画面に戻ります。

3 [はい]を選び、[SET]ボタンを押す

- カメラの設定を工場出荷時の設定にします。

参 考

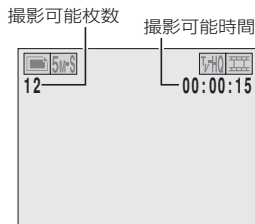
- 設定をリセットしても、以下の設定は保持します。
  日付時刻の設定
  言語選択の設定
  TV方式の設定

カードの空き容量をチェックする

カードの空き容量は、撮影可能枚数や撮影可能時間、録音可能時間で確認することができます。1 枚のカードに記録できる枚数や時間は、「撮影可能枚数 / 撮影可能時間 / 録音可能時間 [P213]」を参照してください。

撮影可能枚数/時間のチェック

1 メインスイッチを [REC] に合わせ、電源を入れる [P40]

- 液晶モニターの左上に、撮影可能枚数を表示します。
- 液晶モニターの右上に、撮影可能時間を表示します。
- 撮影可能枚数や時間表示は、撮影画質の設定に応じて変わります。
- 撮影可能枚数または、撮影可能時間表示が[0]になると、撮影ができなくなります。新たに撮影する場合は、別のカードに取り替えるか、パソコンに画像を保存した後、画像を消去[P94]してください。
- 撮影可能枚数または撮影可能時間表示が[0]になっても、画質を変えると[P67·68]撮影が可能になる場合があります。

録音可能時間のチェック

1 録音可能状態にする [P53]

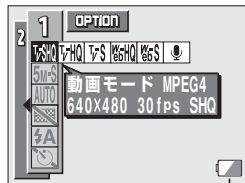
- 録音可能時間が出ます。

電池残量のチェック

電池を使用している場合は、液晶モニターで電池残量が確認できます。撮影の前には必ずチェックしてください。電池の使用可能時間は 212 ページを参照してください。

1 撮影または再生設定画面を出す [P61・85]

電池残量表示

- 液晶モニターの右下に、電池残量を示すアイコンが出ます。
- 電池の特性により、低温時には ◪ 表示が早い時点で点灯するなど、電池残量を正しく表示することができません。また、周囲の温度や使用状態などにより表示状態が変わるため、残量表示はおよその目安と考えてください。

電池残量表示	電池の残量
■	ほぼいっぱいの容量があります。
◪	容量が少なくなりました。
◺	もうすぐ撮影や再生ができなくなります。
◺（点滅）	撮影時、静止画撮影または動画撮影ボタンを押している間点滅すると、撮影はできません。電池を充電してください。

オプション設定

カメラの設定

- 撮影画像がある場合は、再生画面でも電池残量が確認できます。
- 本機には、付属または別売の電池を使用してください。
- 同じ種類の電池でも、電池の使用可能時間が異なることがあります。
- 電池の消耗は、撮影条件（フラッシュの発光回数、液晶モニターの入/切）や周囲の温度（10℃以下の低温）によっても変わるため、撮影できる枚数は大きく異なります。

参考

- 旅行や結婚式などの大切な撮影や、寒冷地など電池の消耗が早くなる環境で撮影する場合は、予備の電池を用意されることをおすすめします（スキー場など寒い屋外で使用する場合は、電池をポケットに入れるなどして保温したものをご使用ください）。

ACアダプター / 充電器を接続する

付属のドッキングステーションは、カメラに装着した電池への充電はもちろん、パソコン、プリンタやテレビに簡単に接続できる接続機器です。また、ドッキングステーションに装着したカメラは、リモコンで操作することができます(再生のみ)。

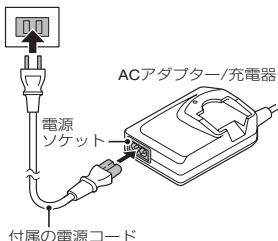
注意!

ケーブルの抜き差しは、ていねいに

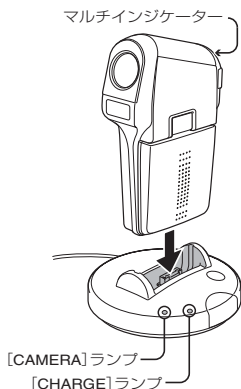
● ケーブルを強く引っ張ると、ケーブルやコネクタ部を破損するおそれがあります。

1 付属のACアダプター / 充電器で、ドッキングステーションの[DC IN]端子と電源コンセントを接続する

2 付属の電源コードを AC アダプター / 充電器の電源ソケットに接続する

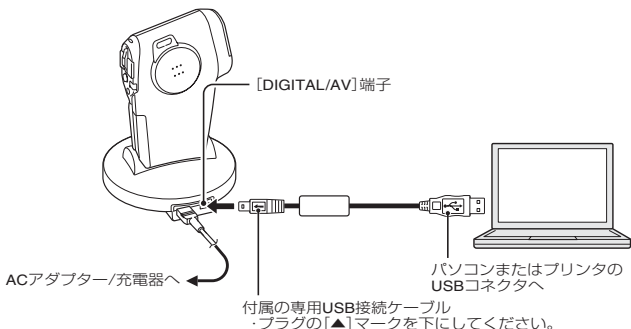
3 電源プラグを電源コンセント(AC100V)に差し込む

カメラをドッキングステーションに装着する

1 カメラのモニターユニットを閉じ、ドッキングステーションに装着する

- カメラの向きやドッキングステーション端子の位置に注意して、しっかりと装着してください。
- ドッキングステーションに装着した時点で充電を開始します。
- 充電中は[CHARGE]ランプが赤色で点灯します。充電が終わると[CAMERA]ランプが緑色点灯します。
- 電池の異常や装着が不完全な場合は、[CHARGE]ランプが赤色で点滅したり、ドッキングステーションに装着したカメラのマルチインジケーターが赤色点滅します。カメラを装着し直してください。

機器に接続する

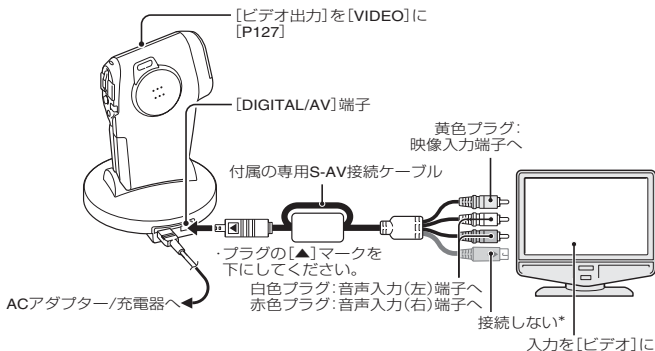
パソコン/プリンタに接続する

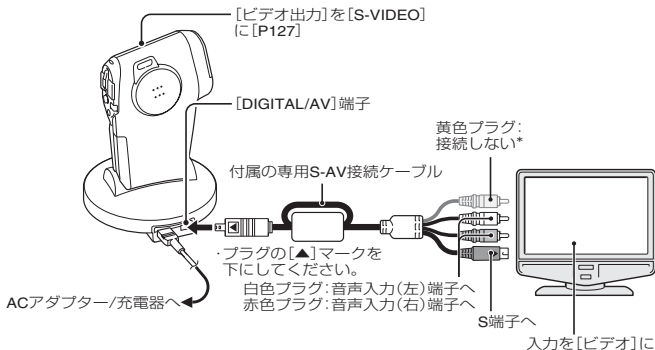
付属の専用 USB 接続ケーブルで、ドッキングステーションの [DIGITAL/AV] 端子とパソコンまたはプリンタの USB 端子を接続します。

- パソコンに接続する場合、専用USB接続ケーブルは、パソコンのUSBコネクタに接続してください。モニターやキーボードのUSBコネクタ、USBハブには接続しないでください。ドライバソフトウェアをインストールするときは、特にご注意ください。ドライバソフトウェアが正常にインストールできない場合があります。
- パソコンからカメラのデータを操作する方法については、SANYO Software Packの説明[P160]を参照してください。

テレビに接続する

付属の専用 S-AV 接続ケーブルで、ドッキングステーションとテレビを接続します。

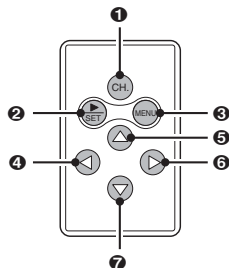
- カメラのモニターユニットを閉じてドッキングステーションに装着した場合は、ドッキングステーションの[CAMERA/CHARGE]ボタンを押して、[CAMERA]ランプを点灯してください。
- リモコンで再生ができます[P145]。
- カメラで再生するときと同じ操作で再生できます。

<通常の映像入力端子に接続する場合>

* 接続すると、テレビに映像が出ない場合があります。

<S映像入力端子に接続する場合>

* 接続すると、テレビに映像が出ない場合があります。

リモコンの準備と使いかた

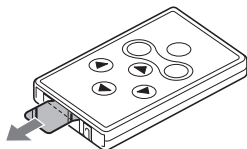
付属のリモコンを使って、ドッキングステーションに装着したカメラのデータを再生することができます。

リモコン各部の名称

❶[CH.](チャンネル)ボタン
・リモコンコードを切り替えます[P148]。
❷[SET]ボタン
・カメラの[SET]ボタンと同じ働きをします。
❸[MENU]ボタン
・カメラの[MENU]ボタンと同じ働きをします。
❹[◀]ボタン
・カメラの[SET]ボタンを左側に押した働きをします。
❺[▲]ボタン
・カメラの[SET]ボタンを上側に押した働きをします。
❻[▶]ボタン
・カメラの[SET]ボタンを右側に押した働きをします。
❼[▼]ボタン
・カメラの[SET]ボタンを下側に押した働きをします。

電池の準備

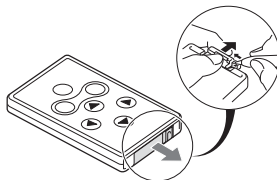
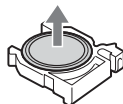
お買い上げの際は、リモコンに電池が入っています。

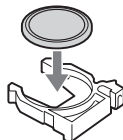
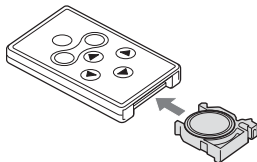
1 電池絶縁シートを引き抜く

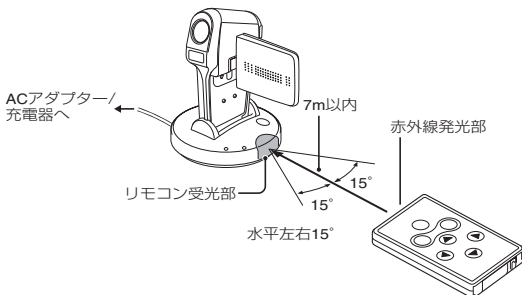
- 電池絶縁シートを引き抜くと、リモコンが操作できるようになります。

リモコンの電池交換のしかた

リモコンの電池は、使いかたにもよりますが、約 1 年をめやすに下記の要領で交換してください。リモコンにはリチウム電池(CR2025：1 個・市販品)を使ってください。

1 電池ホルダーを引っ張り出す

- 電池ホルダーのつめを押した状態で、引き抜きます。

2 電池を取り出す

3 新しい電池(CR2025)を入れる

- 電池は、乾いた柔らかい布でふいてから、プラスマーク(+)を下にして入れてください。

4 電池ホルダーをはめ込む

リモコンの使いかた

リモコンで操作できるのは、ドッキングステーション正面のリモコン受光部から水平左右15度・直線距離で約7m以内の範囲です。リモコン受光部と、リモコンの間に障害物があると、操作できない場合があります。障害物を取り除いてご使用ください。

注意!

- 太陽光の下やインバーター照明の近くでリモコン操作をする場合、リモコンの到達距離が短くなることがあります。これは、赤外線リモコンの特性によるもので、故障ではありません。誤動作防止のため、リモコン操作時は、リモコン受光部に強い光を当てないように注意してください。

リモコンコードの切り替えかた

本機のリモコンは、赤外線リモコン操作のできる、他の当社製カメラにも働きます。当社製カメラを 2 台ご使用の場合、1 台のカメラのリモコンコードを切り替えると、誤操作を防止できます。お買い上げの際は、[リモコンコード 1] に設定しています。

<本機の[リモコンコード１]を[リモコンコード2]に変更するとき>

1 リモコンの赤外線発光部を、本機のリモコン受光部に向ける

2 [CH.] ボタンを押したまま、[▲] ボタンを約３秒間押し続ける

3 リモコンの操作ボタンを押して、カメラの動作確認をする

- リモコンとカメラの電池を交換しても、設定したリモコンコードを記憶しています。
- カメラとリモコンのリモコンコードが一致していないと、リモコンでの操作はできません。

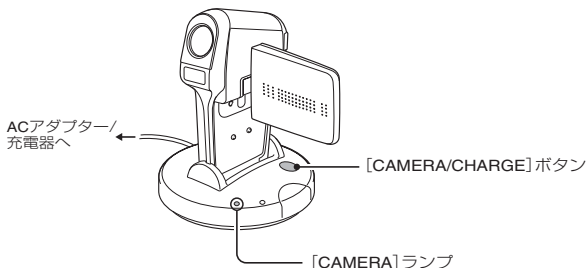
<[リモコンコード1]に戻すには>

1 リモコンの赤外線発光部を、本機のリモコン受光部に向ける

2 [CH.] ボタンを押したまま、[▼] ボタンを３秒間押し続ける

ドッキングステーションで再生する

1 ドッキングステーションをテレビに接続し、カメラをドッキングステーションに装着する[P142・144]

2 [CAMERA/CHRAGE] ボタンを押して、[CAMERA]ランプを点灯する

3 テレビの入力切り替えを[ビデオ]入力にする

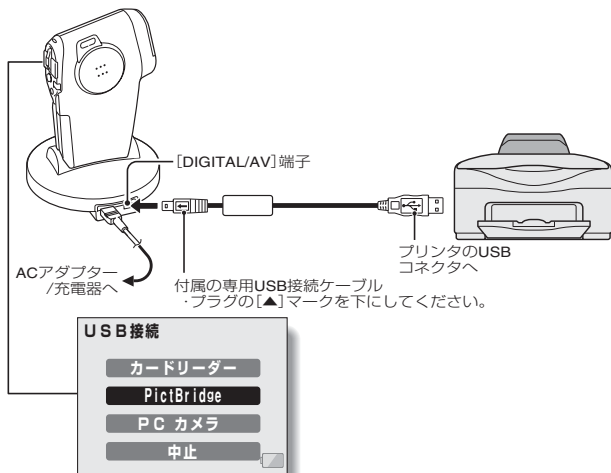
- カメラを再生モード[P55]にすると再生画面がテレビに出ます。カメラで再生する場合と同じ操作で、データを再生してください。

ダイレクト印刷をする

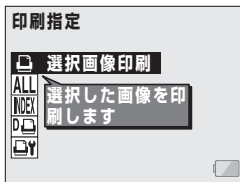
本機はPictBridgeに対応しています。本機はPictBridge対応プリンタに直接接続し、カメラの液晶モニターで写真選択や印刷開始を指定することができます(PictBridge印刷)。

印刷の準備

1 カードをカメラに装着し、モニターユニットを開けて電源を入れる

2 付属のドッキングステーションまたは接続アダプターを使って、カメラとプリンタを接続する [P143・159]

3 [PictBridge]を選び、[SET]ボタンを押す

4 PictBridge印刷モードになる

- PictBridge印刷モードになり、印刷指定画面が出ます。

注意!

接続中はプリンタの電源を切らないでください

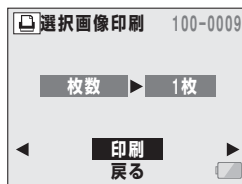
- 接続している状態でプリンタの電源を切ると、カメラが正常に動作しなくなる場合があります。カメラが正常に動作しなくなった場合は専用USB接続ケーブルを抜き、カメラの電源を切って、再度接続を行ってください。
- PictBridge印刷中での操作は、ボタン操作に対する反応が遅くなります。
- 電池を使って印刷をする場合は、電池残量が十分あることを確認してください。

1枚の画像を選んで印刷する（選択画像印刷）

静止画像を選んで印刷します。

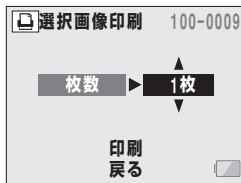
1 印刷の準備をする [P150]

2 選択画像印刷アイコン [🖨] を選び、[SET] ボタンを押す

- 印刷画像の選択画面が出ます。

3 [SET] ボタンを右または左に押す

- 印刷する画像を表示してください。

4 印刷枚数を設定する

❶[枚数]を選び、[SET]ボタンを押す
❷[SET]ボタンを上または下側に押して、印刷枚数を設定する
❸[SET]ボタンを押す
- [印刷]を選んだ状態になります。

5 [SET]ボタンを押す

- 印刷を開始します。

参 考

印刷を中止するには

- 印刷中に[SET]ボタンを下側に押す
  ・印刷中止の確認画面が出ます。
- [はい]を選び、[SET]ボタンを押す
  ・[戻る]を選んで[SET]ボタンを押すと、印刷を続行します。

すべての画像を印刷する(全画像印刷)

カード内の画像をすべて印刷します。

1 印刷の準備をする[P150]

[P150]

2 全画像印刷アイコンALLを選び、[SET]ボタンを押す

- 全画像印刷画面が出ます。

3 [印刷]を選び、[SET]ボタンを押す

- 印刷を開始します。

注意!

静止画像が1000枚以上ある場合は印刷できません

- 不要な画像を消去してから印刷してください。

ダイレクト印刷をする(つづき)

一覧印刷をする(インデックス印刷)

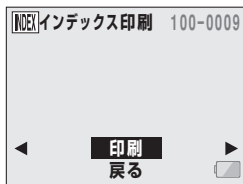
カードのすべての静止画像を小さく一覧印刷します。

1 印刷の準備をする[P150]

2 インデックス印刷アイコン INDEX を選び、[SET] ボタンを押す

- インデックス印刷画面が出ます。

INDEX インデックス印刷 100-0009
◀ 印刷 ▶
戻る

3 [印刷]を選び、[SET] ボタンを押す

- 印刷を開始します。

プリント設定をした画像を印刷する(予約画像印刷)

プリントの設定をした静止画像を印刷します。

1 プリントの設定[P105]をし、印刷の準備をする[P150]

2 予約画像印刷アイコン DP を選び、[SET]ボタンを押す

- 印刷画像確認画面が出ます。

3 [印刷]を選び、[SET]ボタンを押す

- 印刷を開始します。
- [SET]ボタンを押してから印刷を開始するまで、約1分ほどかかります。

便 利

- 操作2で、[SET]ボタンを右または左側に押すと、印刷する画像とDPOFの設定を確認することができます。

注意!

- DPOFにプリンタが対応していない場合は、予約画像印刷 DP はできません。

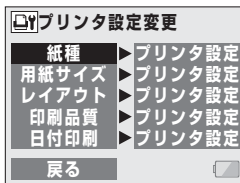
ダイレクト印刷をする(つづき)

印刷設定を変えて印刷する(プリンタ設定変更)

用紙の種類やサイズ、レイアウトや印刷品質などをカメラ側で設定して印刷します。

1 印刷の準備をする[P150]

2 プリンタ設定変更アイコン を選び、[SET] ボタンを押す

- プリンタ設定変更画面が出ます。
  [紙種]：
  印刷用紙の紙質を設定します。
  [用紙サイズ]：
  印刷用紙のサイズを設定します。
  [レイアウト]：
  印刷用紙への画像の配置を設定します。
  [印刷品質]：
  印刷画像の美しさを設定します。
  [日付印刷]：
  撮影年月日を印刷します。
  [戻る]：
  印刷指定画面に戻ります。

3 プリンタの設定をする

❶[SET]ボタンを上または下側に押して設定する項目を選び、[SET]ボタンを押す

・設定を選ぶ画面が出ます。

❷[SET]ボタンを上または下側に押して設定を選び、[SET]ボタンを押す

・選んだ項目を設定し、プリンタ設定変更画面に戻ります。
・同じ要領で、必要な項目を設定してください。
・各項目で設定できる内容は、プリンタによって異なります。

<[プリンタ設定]を選んだ場合>

・プリンタで設定している条件で印刷します。

4 [戻る]を選び、[SET]ボタンを押す

- 印刷指定画面に戻ります。

参考

- プリンタ設定変更画面の設定項目は、接続するプリンタによって異なります。
- プリンタ設定変更画面に出ないプリンタ機能を使う場合は、[プリンタ設定]に設定してください。
- プリンタにない機能をカメラで設定した場合、カメラの印刷設定は自動的に[プリンタ設定]になります。

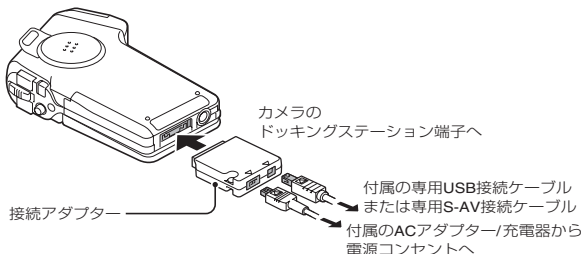
接続のしかた

ドッキングステーションを使わない場合は、付属の接続アダプターでパソコンやプリンタ、テレビや AC アダプター / 充電器などを接続することができます。

1 カメラ底面のドッキングステーション端子に接続アダプターを取り付ける

2 接続アダプターの端子に、それぞれの機器を接続する

[DC IN]端子：
付属のACアダプター/充電器を接続します。

[DIGITAL/AV]端子：
パソコン、プリンタまたはテレビを接続します。

参 考

リモコンは使えません

- ドッキングステーションを使った場合と異なり、接続アダプターに接続した場合はリモコンを使った操作はできません。データを再生する場合は、カメラのボタンを操作してください。

充電はできません

- カメラに装着した電池を充電する場合は、カメラをドッキングステーションに装着してください。ドッキングステーションを使わない場合はカメラから電池を取りはずし、電池をACアダプター/充電器に装着して充電を行ってください[P35·36]。

SANYO Software Packについて

SANYO Software Packには、以下のソフトウェアが入っています。

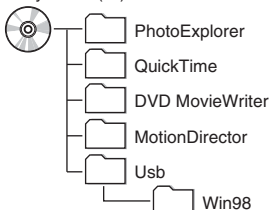
●ドライバソフトウェア
- ・USBドライバ
  Windows 98/Windows 98SEで、USBインタフェースを使用する場合に必要です。

●アプリケーションソフトウェア
各ソフトウェアの概要は、176 ページをご覧ください。
- ・QuickTime 6.5 : 以降「QuickTime」と表記します。
- ・PhotoExplorer8.0 SE Basic(Windows)/ PhotoExplorer for Mac 2.0(Macintosh): 以降「フォトエクスプローラ」と表記します。
- ・MotionDirector SE 1.1(Windows): 以降「MotionDirector」と表記します。
- ・Ulead DVD MovieWriter 3.5 SE(Windows): 以降「MovieWriter」と表記します。

※フォトエクスプローラとMovieWriterは、MPEG-4に対応しています。これらのアプリケーションソフトウェアをインストールすると、MPEG-4ファイルを再生することができます。

SANYO Software Packについて(つづき)

CD-ROMのディレクトリ構造

SANYO Software Packのディレクトリ構造の概略は、以下のとおりです。

*：ドライブ名(D:)は、お使いのパソコンによって異なります。

動作環境

Windows

USBストレージクラス
USBポートを標準搭載し、Windows 98、98SE以降をプリインストールしたモデルに対応しています。Windows 3.1、95をWindows 98 にアップグレードした環境での動作は、保証しません。

アプリケーションソフトウェア

ソフトウェア	CPU	メモリー	ハードディスク	OS
QuickTime	Pentium以上	128MB以上	11MB以上	Windows 98*/ Me/2000/XP
フォトエクスプローラ	Pentium III 800MHz以上	256MB以上	45MB以上（プログラムインストール用）	Windows 98SE/ Me/2000/XP
MotionDirector	Pentium III 1GHz 以上	256MB以上（512MBを推奨）	100MB以上	Windows 98SE/ Me/2000/XP
MovieWriter	Pentium III 800MHz以上	256MB以上（512MB以上を推奨）	400MB以上（プログラムインストール用）	Windows 98SE/ Me/2000/XP

*：Windows 98SEを含む

動作環境（つづき）

Macintosh

USBストレージクラス
USBポートを標準搭載し、Mac OS 9.0、9.1、9.2、Mac OS X 10.1以降をプリインストールしたモデルに対応しています。

アプリケーションソフトウェア

ソフトウェア	CPU	メモリー	ハードディスク	OS
QuickTime	400MHz Power PC G3 以上	128MB以上	19MB以上	Mac OS X v10.2.5 〜10.3.x
フォトエクスプローラ	Power PC 以降	64MB以上	20MB以上	Mac OS 9.0 以降 (CarbonLib 1.4以上) Mac OS X 10.1 以降

注意!

Mac OS XのClassic環境でお使いの場合
- カメラに装着したカード内のデータを直接読み書きすることはできません。データはいったんハードディスクに保存してください。

カメラを接続する前に

カメラで記録したデータの形式やカード内のディレクトリ構造は、以下のとおりです。

リムーバブルディスクとしての使用上の注意

- カメラ内のデータおよびフォルダに変更を加える操作は、行わないでください。カメラがデータを認識できなくなる場合があります。
- カメラ内のデータを直接変更しないでください。変更を加える場合は、パソコンのハードディスクにコピーしたものを使用してください。
- パソコン上でフォーマットしたカードは、カメラでは使用できません。カメラで使用するカードは、カメラ本体でフォーマットを行ってください。

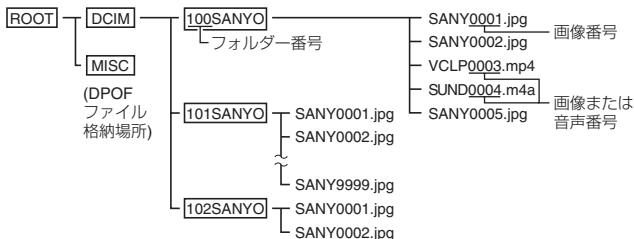
記録データの形式

カードに記録するデータの形式および、ファイル名を付ける規則は以下のようになります。

データの種類	データ形式	ファイル名命名規則
静止画像データ	JPEG	SANYで始まる。拡張子は「.jpg」。 SANY****.jpg
動画クリップデータ	MPEG-4	VCLPで始まる。拡張子は「.mp4」 VCLP****.mp4
音声データ	MPEG-4 Audio（AAC圧縮）	SUNDで始まる。拡張子は「.m4a」。 SUND****.m4a*

*記録した順に続き番号が入る

カメラを接続する前に(つづき)

カードのディレクトリ構造

※100SANYOフォルダー内には、9999枚までのファイルを保存し、さらに撮影/録音すると、新たに101SANYOフォルダーを作り、この中に保存します。
フォルダー番号は順次102SANYO、103SANYO・・・となります。

参 考

本機で撮影した動画クリップデータについて

- Apple社のQuickTime 6.3以降を使用して、パソコンで再生することができます。また、その他のISO標準MPEG-4(AACオーディオ)対応ソフトウェアで再生できる場合があります。
  付属のCD-ROM(SANYO Software Pack)にはWindows/Macintosh版のQuickTime 6.5を添付しています。

本機で録音した音声データについて

- 音声データの拡張子(.m4a)を「.mp4」に変えると、ISO標準MPEG-4(AACオーディオ)対応ソフトウェアで再生できる場合があります。

カード入れ替え時のファイル名について

- ファイルNo.リセット機能を[OFF]に設定すると、カードを入れ替えてもフォルダー番号とファイル名は、前に装着していたカードの続きを付与します[P131]。

注意!

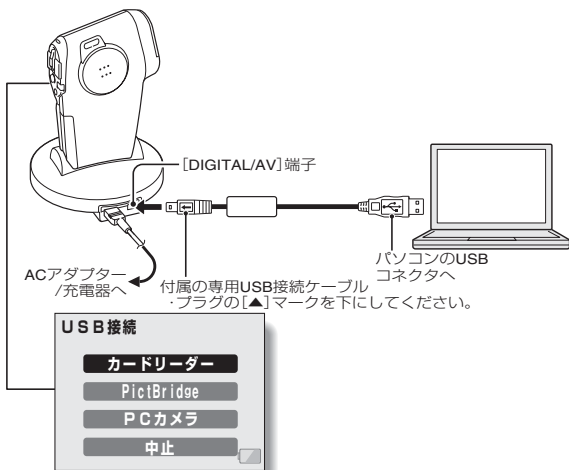
カメラで再生する場合はカードのデータをパソコンで書き換えないでください

- カメラで撮影した画像や音声のデータは上記の規則に基づき、ファイル名を付けたり、指定のフォルダに保存をしています。このため、パソコンから直接ファイル名を変更したりすると、画像をカメラで再生できなくなったり、カメラが正常に動作しなくなります。

カメラの接続と取りはずし

接続モードを設定する

1 カードをカメラに装着し、モニターユニットを開けて電源を入れる

2 付属のドッキングステーションまたは接続アダプターを使って、カメラとパソコンを接続する

● USB接続画面が出ます。

[カードリーダー]：
カメラをパソコンの外部ドライブとして使用します（カードリーダーモード）。

[Pict Bridge]：
ダイレクト印刷をします（PictBridge印刷モード）[P150]。

[PCカメラ]：
カメラをPCカメラとして使用します（PCカメラモード）。

[中止]：
USB接続を中止し、専用USB接続ケーブルをはずします。

3 本機の利用目的に応じたモードを選び、[SET]ボタンを押す

- 専用USB接続ケーブルは、パソコンのUSBコネクタに接続してください。モニターやキーボードのUSBコネクタ、USBハブには接続しないでください。ドライバソフトウェアをインストールするときは、特にご注意ください。ドライバソフトウェアが正常にインストールできない場合があります。

Windows XP

カメラの接続

1 カードリーダーモードにする[P166]

- タスクトレイに[新しいハードウェアが見つかりました]というメッセージが出て、カメラをドライブとして認識します。
- カードをディスクとして認識(マウント)し、[リムーバブルディスク(E:)]ウィンドウが開きます。
  ※ドライブ名(E:)は、お使いのパソコンの環境によって異なります。

2 Windowsが実行する動作を選ぶ

- [リムーバブルディスク(E:)]ウィンドウから、目的の操作を選んでください。

カメラの取りはずし

[注意!]

- カメラの取りはずしは、必ず以下の操作で行ってください。この操作を行わずに取りはずすと、パソコンが誤動作したり、カードのデータが破損する場合があります。

1 [ハードウェアの安全な取り外し]アイコンを左クリックする

- パソコンのUSBコネクタに接続している機器の一覧が出ます。

2 カメラのドライブ(E:)を右クリックする

- カメラを取りはずすことができる状態になります。
  ※ドライブ名(E:)は、お使いのパソコンの環境によって異なります。

カメラの接続と取りはずし(つづき)

Windows MeおよびWindows 2000

カメラの接続

1 カードリーダーモードにする[P166]

- カメラをドライブとして認識し、[マイコンピュータ]に[リムーバブルディスク(E:)]アイコンが出ます。
  ※ドライブ名(E:)は、お使いのパソコンの環境によって異なります。
- カメラに装着したカードをドライブとして認識(マウント)します。
- [マイコンピュータ]の[リムーバブルディスク(E:)]アイコンをダブルクリックすると、他のドライブのメディアと同様、カメラに装着したカード内のファイルを操作することができます。

カメラの取りはずし

[注意!]

- カメラの取りはずしは、必ず以下の操作で行ってください。この操作を行わずに取りはずすと、パソコンが誤動作したり、カードのデータが破損する場合があります。

1 タスクトレイの[ハードウェアの取り外しまたは取り出し]アイコンを左クリックする

- パソコンのUSBコネクタに接続している機器の一覧が出ます。

2 カメラのドライブ(E:)を右クリックする

※ドライブ名(E:)は、お使いのパソコンの環境によって異なります。
- [ハードウェアの取り外し]ダイアログボックスが出ます。

3 [OK]ボタンをクリックする

- カメラを取りはずすことができる状態になります。

Windows 98/98SE

カメラの接続

Windows 98 および Windows 98SE をお使いの場合は、USB ドライバ(SANYO Digital Camera Mass Storage Driver と SANYO Digital Camera Controller)をインストールしてください。インストールプログラムは、まず SANYO Digital Camera Mass Storage Driver を、続いて SANYO Digital Camera Controller をインストールします。

1 CD-ROM(SANYO Software Pack)を CD-ROM ドライブにセットする

2 カードリーダーモードにする[P166]

- [新しいハードウェアの追加ウィザード]ダイアログボックスが開きます。
- [新しいハードウェアの追加ウィザード]が開かない場合は、[コントロールパネル]の[ハードウェアの追加]を起動し、操作**3**に進んでください。

3 [次へ]ボタンをクリックする

Windows 98/98SE(つづき)

4 USB ドライバの検索方法と検索場所を指定する

❶[使用中のデバイスに最適なドライバを検索する(推奨)] にチェックマークを付け、[次へ] ボタンをクリックする

❷[検索場所の指定]にチェックマークを付け、[参照] ボタンをクリックする
・[フォルダの参照]ダイアログボックスが開きます。

5 USB ドライバがあるフォルダを指定する

● USBドライバは、CD-ROMの[Usb]フォルダーの[Win98]フォルダーにあります。

❶[Sanyo Disc(D:)]をダブルクリックする
・CD-ROMのドライブ名(D:)は、ご使用のパソコンによって異なります。

❷[Usb]をダブルクリックする

❸[Win98]をダブルクリックする

6 [OK] ボタンをクリックする

● [フォルダの参照]ダイアログボックスが閉じて、[検索場所の指定]フィールドに[D:¥USB¥Win98]と表示します(1文字目(D)は、ご使用のパソコンによって異なります)。

7 [次へ]ボタンをクリックする

8 インストールの終了を示すダイアログボックスが開いたら、[完了]ボタンをクリックする

- SANYO Digital Camera Mass Storage Driverのインストールが完了しました。しばらくすると、再び[新しいハードウェアの追加ウィザード]ダイアログボックスが開きます。続いて、SANYO Digital Camera Controllerをインストールしてください。

9 SANYO Digital Camera Controllerをインストールする

- SANYO Digital Camera Controllerは、SANYO Digital Camera Mass Storage Driverと同じ操作でインストールしてください。
- SANYO Digital Camera Mass Storage Driverのインストールが終わったら、USBドライバーのインストールは完了です。

Windows 98/98SE(つづき)

10 カメラをマウントできるか確認する

- USBドライバが正常にインストールできている場合、[マイコンピュータ]に、カメラが[リムーバブルディスク]として現れます(ドライブ名(E:)は、ご使用のパソコンによって異なります)。

参 考

[リムーバブルディスク]が見つからないときは

- USBデバイスドライバを正しくインストールできていません。以下の手順で、USBデバイスドライバをいったん削除した後、インストールしなおしてください。

1. [マイコンピュータ]を右クリックし、表示するメニューから[プロパティ]を選択する
   - [システムのプロパティ]ダイアログボックスが開きます。
2. [デバイスマネージャ]タブをクリックする
3. [SANYO Digital Camera]をクリックし、[削除]ボタンをクリックする
   - [SANYO Digital Camera]がない場合は、[キャンセル]ボタンをクリックしてダイアログボックスを閉じ、以下の手順4に進んでください。
4. CD-ROMをドライブに装着し、インストールしなおす

カメラの取りはずし

[注意！]

- カメラの取りはずしは、必ず以下の操作で行ってください。この操作を行わずに取りはずすと、パソコンが誤動作したり、カードのデータが破損する場合があります。

1 [マイコンピュータ]のカメラを示すアイコン([リムーバブルディスク(E:)])を右クリックする

- メニューが出ます。

※ドライブ名(E:)は、お使いのパソコンによって異なります。

2 メニューから[取り出し]を選ぶ

3 ドッキングステーションまたは接続アダプターからカメラをはずす

カメラの接続と取りはずし(つづき)

Mac OS 9.XX

カメラの接続

1 カードリーダーモードにする[P166]

- カメラをドライブとして認識し、デスクトップに[名称未設定]アイコンが出ます。
- [名称未設定]アイコンをダブルクリックすると、他のドライブのメディアと同様、カメラに装着したカード内のファイルを操作することができます。

カメラの取りはずし

[注意!]

- カメラの取りはずしは、必ず以下の操作で行ってください。この操作を行わずに取りはずすと、パソコンが誤動作したり、カードのデータが破損する場合があります。

1 デスクトップのカメラを示す[名称未設定]アイコンを[ごみ箱]にドラッグアンドドロップする

- デスクトップから[名称未設定]アイコンが消えます。

2 ドッキングステーションまたは接続アダプターからカメラをはずす

Mac OS X

マウント/アンマウントは、Mac OS9.xxの場合と同じ操作で行えます。ただし、カメラの画像を自動認識するようにアプリケーションを設定している場合は、自動認識したアプリケーションが起動します。

アプリケーションソフトウェアのインストール

SANYO Software Packには、以下のアプリケーションソフトウェアが入っています。
それぞれインストールし、お使いいただくことによって、カメラで記録したデータをより幅広く活用することができます。

●QuickTime*1
動画クリップを再生します。音声も同時に再生できます。
本機で撮影した動画クリップを見る場合は、必ずインストールしてください。

●フォトエクスプローラ*2
カメラで記録したデータをグラフィカルな画面で、分かりやすく管理することができます。

●MovieWriter*2
ビデオや音楽、写真、データなどパソコンで扱うさまざまなファイルをディスクに書き込む統合ツールです。

●MotionDirector
動画クリップ撮影時の手ぶれを取り除いたり、カメラを横方向に移動しながら撮影した静止画から、1枚のパノラマ静止画像を作成するソフトウェアです。

*1：QuickTimeは、QuickTime Proにアップグレードできます。QuickTime Proは、QuickTimeムービーの編集などが可能です。QuickTime Proへのアップグレードは、アップルコンピューター･インクのホームページ(http://www.apple.com/jp/quicktime/)で行えます。
*2：フォトエクスプローラまたはMovieWriterをインストールすると、カメラで撮影した動画クリップ(MPEG-4)をWindows Media Playerで再生できます。
アップデートの情報は、下記のホームページで確認してください。
http://www.ulead.co.jp/

Windows

1 CD-ROM(SANYO Software Pack)を CD-ROMドライブにセットする

- しばらくすると、インストール画面が出ます。
- インストール画面が出ない場合は、マイコンピュータにある[Sanyo Disc(D:)]をダブルクリックし、[Sanyo Disc(D:)]ウィンドウの[Autorun]または[Autorun.exe]をダブルクリックしてください。
  ※ドライブ名(D:)は、お使いのコンピュータによって異なります。

2 インストールするアプリケーションソフトウェアの名称をクリックする

- インストール画面に出たアプリケーションソフトウェアの名称をクリックすると、インストールを開始します。
- インストールプログラムは、各アプリケーションソフトウェアが正しくインストールできるよう、あらかじめ設定しています。パソコンに慣れていない方は、各ダイアロクボックスの[次へ]ボタンをクリックすることをお勧めします。
- アプリケーションソフトウェアのユーザー登録に関するダイアログボックスが出た場合は、何も入力せずに[次へ]ボタンをクリックしてください。
- パソコンの再起動を促すメッセージが出た場合は、パソコンを再起動してください。
- 各アプリケーションソフトウェアの詳細設定については、アプリケーションソフトウェアベンダーのホームページ、またはインストール後にオンラインヘルプを参照してください。

QuickTimeについて：http://www.apple.com/jp/quicktime/
フォトエクスプローラ、MovieWriterについて：
http://ulead.co.jp

3 [終了]をクリックする

Macintosh

QuickTimeのインストール

1 CD-ROM(SANYO Software Pack)をCD-ROMドライブにセットする

- しばらくすると、CD-ROMのウィンドウが開きます。
- CD-ROMのウィンドウが開かない場合は、デスクトップのCD-ROMアイコン[Sanyo Disc]をダブルクリックしてください。

2 [QuickTime] フォルダを開く

3 [OS Xv10.2.5-10.3.x] フォルダを開く

4 [QuickTime.pkg] フォルダを開く

5 画面の表示に従って操作する

- インストールプログラムは、QuickTimeが正しくインストールできるようにあらかじめ設定しています。
- [ユーザ登録]ダイアログボックスでは何も入力せずに、[続ける]ボタンをクリックしてください。
- インストール中にQuickTimeの設定画面が出ます。設定の方法については、以下のホームページにお問い合わせください。
http://www.apple.com/jp/quicktime/
- 再起動を促すダイヤログボックスが開いた場合は、パソコンを再起動してください。

フォトエクスプローラのインストール

1 CD-ROM(SANYO Software Pack)をCD-ROMドライブにセットする

- しばらくすると、CD-ROMのウィンドウが開きます。
- CD-ROMのウィンドウが開かない場合は、デスクトップのCD-ROMアイコン[Sanyo Disc]をダブルクリックしてください。

2 インストールする

- [Photo Explorer]フォルダの[Japanese]フォルダにある[Ulead Photo Explorer]フォルダーをハードディスクにコピーします。
- コピーが終わったら、インストールは完了です。

参考

[Carbon Lib]フォルダについて

- お使いのパソコンのCarbonLibファイル(機能拡張ファイル)のバージョンが1.4未満の場合は、[Carbon Lib]フォルダにあるCarbonLibファイルを機能拡張フォルダにインストールしてください。

フォトエクスプローラの使いかた

カメラのデータをパソコンにコピーするには、マイコンピュータからカメラのドライブを開いて目的のデータをパソコンにコピーする方法と、フォトエクスプローラを使ってコピーする方法があります。ここでは、フォトエクスプローラでカメラのデータをパソコンにコピーする方法を説明します。フォトエクスプローラについての詳しい説明は、フォトエクスプローラのヘルプを参照してください。

環境を設定する

データのコピー元(カメラ内のデータの場所)を設定します。

準備

1 カードリーダーモードにする[P166]

- ダイヤログボックスが開いた場合は、[キャンセル]ボタンをクリックして、ダイヤログボックスを閉じてください。

2 カメラの接続を確認する

〈Windowsの場合〉

- [マイコンピュータ]をダブルクリックする
  パソコンのディスプレイに[リムーバブルディスク(E:)]アイコンが出ます。
  ※ドライブ名(E:)は、お使いのパソコンの環境によって異なります。

〈Macintoshの場合〉

- デスクトップに[名称未設定]アイコンが出ます。

フォトエクスプローラを起動する

1 準備をする[P180]

2 起動する

〈Windowsの場合〉
デスクトップ上の[Ulead Photo Explorer8.0 SE Basic]アイコンをダブルクリックする

〈Macintoshの場合〉
フォトエクスプローラをインストールしたフォルダーを開き、フォトエクスプローラのプログラムアイコンをダブルクリックする

Photo Explorer

- フォトエクスプローラが起動し、フォトエクスプローラのウィンドウが開きます。

①階層表示ウィンドウ
フォルダーツリー構造をリストで表示することができます。

②プレビューウィンドウ
選択した画像データを表示します。動画クリップや音声の再生もできます。

③サムネイルウィンドウ
さまざまなファイル形式のデータのサムネイルを表示します。フォルダー内の指定した複数のファイルをファイル名を一括して変更することができます。

フォトエクスプローラの使いかた(つづき)

カメラドライブを設定する

パソコンに接続したカメラのドライブを指定します。
なお、この操作は設定を変更する場合を除いて、一度行うと以降行う必要はありません。

1 フォトエクスプローラを起動する[P181]

2 ツールバーのカメラアイコンをクリックする

●「カメラウィザード」ダイヤログボックスが開きます。

〈Windowsの場合〉

〈Macintoshの場合〉

3 カメラドライブを指定する

〈Windowsの場合〉

①「カメラドライブとカードリーダー」の右にあるドライブ名(A:¥)をクリックする
・「イメージソースを選択」ダイヤログボックスが開きます。

②「カメラのメモリーカードまたはディスクから直接読み取る」オプションボタンをオンにし、「場所」リストボックスのカメラのドライブを選ぶ

③[OK]ボタンをクリックする
・「カメラウィザード」ダイヤログボックスが閉じます。
・「カメラドライブとカードリーダー」の右側のドライブ名が、操作②で指定したドライブに変わります。

〈Macintoshの場合〉

①「カメラフラッシュドライブ」欄のアイコンをクリックする
・「取り外し可能なドライブを選択する」ダイヤログボックスが開きます。

②パソコンに接続したカメラのドライブ(名称未設定)をクリックし、[選択]ボタンをクリックする
・「カメラフラッシュドライブ」欄のドライブ名が「名称未設定」になります。

③「サブフォルダを作成」チェックボックスをオンにする

画像データをパソコンにコピーする場合

- [開始]ボタンをクリックしてください。

設定だけを行う場合

- [キャンセル]ボタンをクリックすると、「カメラウィザード」ウィンドウが閉じます。

フォトエクスプローラの使いかた(つづき)

画像データをパソコンにコピーする

カメラに装着したカード内の画像データをパソコンにコピーします。

1 カードリーダーモードにする [P166]

- フォトエクスプローラが起動します。
- 「Ulead Photo Explorerを開いてフォトを表示」オプションボタンをONにし、[OK]ボタンをクリックしてください。

〈フォトエクスプローラが起動しない場合〉

①フォトエクスプローラを起動する[P181]

2 ツールバーのカメラアイコンをクリックする

- 「デジタルカメラウィザード」ダイアログボックスが開きます。

3 [開始] ボタンをクリックする

- コピーを開始します。
- 以下のフォルダ内に日付と時間名のフォルダを自動的に生成し、その中にデータをコピーします。
  Windowsの場合：C:￥My Documents￥SANYO_PEX
  Macintoshの場合：Macintosh HD:Ulead Photo Explorer
- コピーが終わったら、コピーの完了を示すダイアログボックスが出ます。

4 コピーが終わったら、[OK] ボタンをクリックする

- コピーしたデータをサムネイルウィンドウに表示します。

撮影年月日を印刷するには

サムネイル印刷で撮影日の印刷を指定してください。

1 印刷する画像をクリックして選択する

2 印刷アイコンをクリックし、サブメニューの[サムネイル]をクリックする

- サムネイル印刷ダイアログが出ます。

3 「テキストをサムネイルと一緒に印刷欄の[撮影日]チェックボックスをONにする

- [プレビュー]ボタンをクリックすると、プレビュー画面で印刷状態を確認することができます。
- プレビュー画面を閉じるには、[閉じる]ボタンをクリックしてください。

4 [OK]ボタンをクリックする

- 印刷を開始します。
- プレビュー画面で[印刷]ボタンをクリックしても、印刷を開始することができます。

注意!

「お使いのプリンタはこの機能をサポートしておりません。」
「プリントイメージマッチングをサポートしておりません…」表示が出る？

- [はい]ボタンをクリックしてしてください。印刷を開始します。

フォトエクスプローラの使いかた(つづき)

フォトエクスプローラでできること

データの取り込み・一括管理・検索
フォトエクスプローラは、デジカメ画像からDVカメラのビデオファイル、MP3・WAVなどの音声ファイルまでマルチファイルを視覚的に統合管理できるソフトです。

基本画面

段階層表示ウィンドウ
フォルダツリー構造をリストで表示できます。

プレビューウィンドウ
選択したファイルを表示。動画・音声の再生できます。

スライドショー
画像を色々並べながらスライド形式で画像を見ることができます。

サムネイルウィンドウ
様々なファイル形式データを一度にサムネイルに表示。フォルダ内の指定した複数のファイル名を一括して変更できます。

画像管理や編集ができます

再生機能

画像をフルサイズまたは全画面で表示することができます。キーボード入力やツールバーボタンのクリック、メニュー選択で、画像の閲覧やスライドショー再生などの操作ができます。

画像管理・編集機能

画像データのコピーや削除、ファイル名の変更ができます。また、回転やフリップなど、編集したデータを保存することもできます。

画像調整

切り抜きやコントラスト、明るさやカラーバランスなどの調整が簡単にできます。作成したイメージを壁紙やスクリーンセーバーに利用できます。

豊富なスライドショー機能

スライドショー

静止画と動画クリップが混在したスライドショー再生ができます。画面が切り替わる時のエフェクトパターン（切替効果）も、数多く用意しています。

クリック！
Video CD 作成へ

フォトエクスプローラの使いかた(つづき)

動画クリップデータのデータ形式を変換できます

デジタルカメラで撮影した動画クリップ(Quick Time形式)をAVI形式やMPEG形式などに変換することができます。

■フォトエクスプローラのお問い合わせは？

フォトエクスプローラに関するお問い合わせは、「ユーリードシステムズ株式会社」へお願いいたします。
お問い合わせの先は、以下のとおりです。
メールでのお問い合わせURL
http://www.ulead.co.jp/support/inquiry/techsupport.htm
テクニカルサポートページ
http://www5.ulead.co.jp/support/
TEL:03-5491-5662
受付時間:月曜日〜金曜日(土、日、祝、年末年始を除く)
10:00〜12:00、13:00〜17:00
<シリアル番号の見かた>
● フォトエクスプローラの[ヘルプ]メニューから[Ulead Photo Explorer バージョン8.0]を選んでください。
製品情報を記載したダイアログボックスが出ますので、シリアル番号を確認してください。

PCカメラとして使うには

Windows XP をお使いの場合、カメラをパソコンに接続し、PC カメラとして使うことができます。カメラを PC カメラとして使う場合は、Windows XP SP2 をインストールしてください。
PC カメラ機能は、Windows messenger 5.0 上で使用できます。

パソコンに接続する前に

以下のアップデートを実行してください。

- WindowsXP を SP2 にする
  WindowsXP SP2 をインストールしてください。
- Windows messenger 5.0 をインストールする
  Windows messenger 5.0 をダウンロードし、インストールしてください。
  ※アップデートについての詳細は、下記のホームページで紹介しています。
  http://www.sanyo-dsc.com/dsc/support.html

パソコンにデジタルカメラを接続する

1 パソコンにデジタルカメラを接続し、デジタルカメラをPCカメラモードにする

- 接続のしかたとPCカメラモードへの設定方法は、166ページを参照してください。

参 考

[マイコンピュータ]に[USB Video Device]アイコンが出ない場合は

- デバイスドライバのインストールに失敗している可能性があります。[コントロールパネル]の[プリンタとその他のハードウェア]を開き、[スキャナとカメラ]から[USB Video Device]を削除し、デバイスドライバを再度インストールしてください。

PCカメラとして使うには(つづき)

注意!

- PCカメラ機能が使えるのは、Windows　XPをプリインストールしたパソコンのみです。
- PCカメラでは、ズームはできません。また、撮影・配信できるのは画像のみです。音声を記録・配信することはできません。
- PCカメラ時、本機は1秒間に最大15フレームの撮影ができますが、通信回線の状態やパソコンの処理速度によってはこれを下回る場合があります。

MovieWriterについて

MovieWriterは、ビデオや音楽、写真、データなどパソコンで扱うさまざまなファイルをディスクに書き込む統合ツールです。SANYO Software Packには、機能をDVDのオーサリングに絞った機能限定版を格納しています。MovieWriterの使用方法については、[スタート]→[プログラム]→ [Ulead DVD MovieWriter 3.5 SE] から[ユーザーマニュアル]を選ぶと表示されるマニュアルを参照してください。

MovieWriterの主な機能

●ビデオディスクの新規作成

新しくDVDまたはVideo CD形式のディスクを作成することができます。デジタルムービーカメラ、DVカメラ、デジタルカメラ、ビデオテープやテレビ番組などの映像を取り込み、効果をかけたり編集した映像データをディスクに書き込みます。

＜カメラから動画クリップファイルを読み込むには＞

①ビデオディスクを新規に作成するアイコンをクリック
②出力するディスクの形式を選び、[OK]ボタンをクリックする
③ビデオファイルを追加するアイコンをクリックする
④表示されるメッセージに従って操作する

●スライドショーの作成

デジタルカメラで撮影した静止画像などでスライドショーを作成し、DVDやCDディスクに書き込むことができます。取りためた写真の整理や管理に最適です。

●ディスクに直接録画

DVカメラやビデオテープ、テレビ番組などを再生しながら直接DVDディスクに書き込むことができます。

●ディスクコピー

ディスクからディスクへ、データをコピーすることができます。DVDディスクをはじめ、音楽CDやMP3ファイルを集めたディスク、データディスクのコピーができます。

注意!

- MovieWriterは、コピーガードやスクランブルなどの著作権保護を施している製品をDVDディスクに録画することはできません。

MovieWriterについて(つづき)

その他の便利な機能

●**ファイル変換機能**
MovieWriterに読み込んだファイルの形式や画質を変更して保存することができます。

●**ディスクイメージから書き込む**
DVDビデオを作製する際に、同じ内容をハードディスクにイメージファイルとして保存することができます。このファイルを使用して、ディスクにデータを書き込みます。

●**ディスクラベルの作成**
DVDやCDディスクに張るラベルを作成することができます。市販のラベル用紙に印刷し、DVDやCDディスクに張ります。

動画クリップをDVDにコピーする

1 MovieWriter を起動し、[ビデオディスクの作成] アイコンをクリックする

- 「ビデオディスクの作成」画面が出ます。

2 出力ディスクの形式を選ぶ

- 「出力ディスク形式」欄から選んでください。
- 「DVD」：DVDプレーヤーで再生できる形式に変換します。
- 「VCD」：ビデオCDプレーヤーで再生できる形式に変換します（ビデオCDプレーヤーが必要です）。

3 [OK] ボタンをクリックする

- 「メディアを追加／編集」画面が出ます。

4 DVD にコピーする動画クリップを追加する

- 動画クリップを保存しているフォルダーを開き、動画クリップファイルを画面下部のグレーのボックスにドラッグアンドドロップしてください。

5 [トランジション／テキストを追加] アイコンをクリックする

- 「トランジション/テキストを追加」画面が出ます。
- お好みのトランジションを選択してください。

6 [OK] ボタンをクリックする

- 「メディアを追加/編集」画面に戻ります。

7 [次へ] ボタンをクリックする

- 書き込みを開始する画面が出るまで、[OK]ボタンをクリックしてください。

8 [書き込み開始] アイコンをクリックする

- 動画クリップファイルをDVDにコピーします。
- 操作の完了を示す画面が出たら、[OK]ボタンをクリックしてください。

■MovieWriterのお問い合わせは？

MovieWriterに関するお問い合わせは、「ユーリードシステムズ株式会社」へお願いいたします。
お問い合わせの先は、以下のとおりです。
メールでのお問い合わせURL
http://www.ulead.co.jp/support/inquiry/techsupport.htm
テクニカルサポートページ
http://www5.ulead.co.jp/support/
TEL:03-5491-5662
受付時間:月曜日～金曜日（土、日、祝、年末年始を除く）
10:00～12:00、13:00～17:00
＜シリアル番号の見かた＞
MovieWriterの作業メニューから
[Ulead DVD MovieWriter3.5 SE]を選んでください。
製品情報を記載したダイヤログが出ますので、シリアル番号を確認してください。

MotionDirectorについて

MotionDirector は、カメラで撮影した動画クリップの手ぶれを取り除いたり、カメラを横方向に移動しながら撮影した動画クリップから 1 枚のパノラマ静止画像を作成するソフトウェアです。
以下にMotionDirectorの概要を紹介しますので、詳しくはMotionDirectorのオンラインヘルプを参照してください。

取り込み

MotionDirectorが読み込めるファイルの形式は
・MOV
・MP4
のいずれかです。
また、それぞれの圧縮コーデックは、以下の通りです。

形式	動画コーデック	音声コーデック
MOV	Motion JPEG	WAVE
MP4	ISO MPEG-4	AAC

フレームサイズは、VGA(640x480画素)以下です。

書き出し形式と再生

MotionDirectorは、以下の形式でファイルを書き出すことができます。

手ぶれ補正の場合：MPEG-4、MOV
パノラマ合成の場合：JPEG、BMP、TIFF、QuickTimeVR

QuickTime VR形式で保存された画像は、Apple社のQuickTimePlayerを使用することでVR空間画像を見ることができます。

よくある質問

よくあるお問い合わせをまとめました。操作に疑問を感じた時などに、ご覧ください。

	質　問	原　因	このようにしてください
電源	電源が入らない？	寒さで電池の性能が一時的に低下した	電池をポケットなどで温めてから使用してください。
	充電しても、すぐに電池がなくなる？	周囲の温度が低すぎる	周囲の温度を10℃～40℃に保ってください。
	充電が終わらない？	電池の寿命が尽きた	新しい電池に交換する。それでも充電が終わらないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。
	表示が出る？	電池残量が少なくなった	付属のACアダプター／充電器を使用するか、充電済みの電池に交換してください。
撮影	マルチインジケータが赤色に点滅している？	記録データをカードに書き込んでいる	故障ではありません。マルチインジケータが消灯するのを待ってください。
	フラッシュが光らない？	被写体が明るくて、本機がフラッシュ発光の必要がないと判断した	故障ではありません。そのまま撮影してください。
	設定した内容は、電源を切っても記憶している？	—	セルフタイマーと露出補正の設定以外は、電源を切っても記憶しています。

よくある質問(つづき)

	質　問	原　因	このようにしてください
撮影	画像の使用目的に合った画質とは?	—	5M-S 5M-H 10M：サイズがA4以上の印刷やトリミング(部分拡大)して印刷する場合に適しています。 2M：通常の写真(サービス版)サイズで印刷する場合に適しています。 0.3M：ホームページに掲載したり、メールに添付して送信する場合に適しています。
	デジタルズームと光学ズームの使い分けは?	—	光学ズームはレンズの光学特性を利用するため、精細感を損なわずに撮影することができます。一方デジタルズームはCCDに写った画像の一部を拡大するため、撮影画像が粗くなる場合があります。
	遠景撮影時のピント外れをなくすには?	—	シーンセレクト機能を風景モード に設定して撮影してください。 または、フォーカスレンジをマニュアルフォーカスMFにして、焦点距離を∞に設定してください。
	屋外で撮影した動画クリップが真っ白になっている?	—	フリッカー軽減の設定を切 FR にしてください。

	質　問	原　因	このようにしてください
液晶モニター	寒い所で使用すると、画像が尾を引いて見えることがある？	液晶の性質による現象	故障ではありません。 輝点などは液晶モニターにのみ現れるもので、記録することはありません。
	赤、青、緑などの輝点が点灯したままになることや、小さな黒点が見えることがある？		
再生画像	画像が明るすぎる？	被写体が明るすぎた	撮影時に、カメラの向きを変えるなどの工夫をしてください。
	ピントが合っていない？	フォーカスロックができていない	カメラを正しく構え、静止画撮影ボタンを半分押し、ピントを固定してから、さらに静止画撮影または動画撮影ボタンを静かに押してください。
	画像の一部が欠けている？	近くで撮影した	被写体が近い場合は、液晶モニターで構図を確認して撮影してください。
	画像が出ない(? 表示が出る)？	本機以外のカメラで撮影したカードを使用すると、誤動作することがある	本機で撮影したカードを再生してください。
	縦の縞模様が出る？	明るい被写体を動画クリップ撮影したときは、液晶モニターや撮影画像に縦の縞模様（スミア）が発生することがある	故障ではありません。

よくある質問(つづき)

	質　問	原　因	このようにしてください
再生画像	拡大表示した画像が粗い?	機能上、画像が粗くなる	故障ではありません。
	再生画像が粗い?	デジタルズームを使って撮影した	故障ではありません。
	パソコンで加工した画像や音声をカメラで再生したい?	—	パソコンで加工したデータの再生は保証しかねますので、ご了承ください。
	動画再生でモーター音のような音がする	カメラの作動音を録音した	故障ではありません。
テレビでの再生	音声が出ない?	テレビのボリュームが小さくなっている	テレビのボリュームを調整してください。
		カメラの音量設定が 0 になっている	カメラの再生音量を上げる。
印刷	PictBrige 印刷中にメッセージが出た?	プリンタの異常	プリンタの取扱説明書を参照してください。
その他	[動画編集ができません] 表示が出る	異なる動画モードで撮影した動画クリップをつなぎ合わせようとした	同じ動画モードで撮影した動画クリップを選択する。
	充電中、テレビやラジオからノイズが出る?	充電器からの電磁波が影響している	テレビやラジオから離れた場所で、充電してください。
	[カード残量がありません] 表示が出る?	カードに空き容量がない	不要なデータを消去するか空き容量のあるカードを使用してください。

	質　問	原　因	このようにしてください
その他	「カードロックされています」表示が出る？	カードのロックスイッチが「LOCK」（書き込み禁止）の位置になっている	ロックスイッチをロック解除の位置にしてください。
	カメラの操作ができない？	カメラの回路が一時的に異常になった	AC アダプター / 充電器および電池を取りはずししばらく放置した後、電池を入れ直してください。
	海外で使用できる？	—	本機は日本国内仕様であり、海外ではアフターサービスも受けられません。ただし、テレビの方式は「PAL」と「NTSC」が切り替え可能です。充電器や電源コードについては、最寄のお客さまご相談窓口にご相談ください。
	[システムエラー] 表示が出た？	カメラ内部やカードなどに異常が発生した	下記の項目をそれぞれ確認してください ①カードをカメラから取り出し、再度カードを入れる ②電池を取り出し、再度電池を入れる ③他のカードと交換し、確認する 上記を確認いただいても [システムエラー] 表示が出る場合は、お買い上げ販売店にご相談ください。

困った状態になったとき

故障かな？と思った時は、以下の項目をご確認ください。

カメラ

	困った状態	原　因	このようにしてください	参照ページ
電源	電源が入らない	電池が消耗している	電池を充電するか、充電済み電池と交換する	35・37
		電池が正しく入っていない	電池の向きに注意し、正しく入れる	
		電池カバーを完全に閉じていない	電池カバーを完全に閉じる	
	なにもしていないのに電源が切れた	パワーセーブ機能が働いた	いずれかのボタンを1回押す	40
	ドッキングステーションに装着したカメラの電池が充電できない	ACアダプタ/充電器に電池を装着している	先にACアダプタ/充電器に装着した電池を充電し、次にカメラに装着した電池を充電するので、急いで充電する電池はACアダプタ/充電器に装着する	ー
撮影	静止画像または動画録画を押しても撮影ができない	電源が入っていない	パワーセーブ機能が働いているときは、いずれかのボタンを1回押して電源を入れた後、撮影する 電源が切れている場合は、[ON/OFF]ボタンを押す	40

	困った状態	原　　因	このようにしてください	参照ページ
撮影	静止画像または動画録画を押しても撮影ができない	撮影可能枚数/時間いっぱいに撮影している	カードを交換する	38
			不要な画像を消去してから撮影する 必要な画像は保存してから消去する	94・180
	フラッシュが光らない	フラッシュの設定が発光禁止になっている	強制発光または自動発光の設定にする	72
		電池が消耗している	電池を充電するか、充電済み電池と交換する	35・37
	デジタルズームが使えない	静止画モードを 10M に設定している デジタルズームの設定を [OFF] にしている	静止画モードの設定を 5M-H 以下にする デジタルズームの設定を [ON] にする	68・125
	操作音が短い周期でピピピと鳴り、セルフタイマー撮影ができない	電池が消耗している	十分に充電した電池を装着する	35・37
	ズームを操作した時、ズーム動作が一瞬止まることがある	光学ズームが最大倍率になった	故障ではありません ズームスイッチをはなし、再度押す	51
	撮影画像にノイズが出る	ISO感度が高すぎる	ISO感度を低く設定する	82
液晶モニター	再生画像が出ない	メインスイッチが [PLAY] に合っていない	メインスイッチを [PLAY] に合わせる	55

困った状態になったとき(つづき)

	困った状態	原　因	このようにしてください	参照ページ
再生画像	画像が暗い	フラッシュを指などで覆っていた	カメラを正しく構え、フラッシュに指などがかからないようにする	44
		被写体が遠くにあった	フラッシュ撮影可能範囲内で撮影する	211
		逆光で撮影した	強制発光モードで撮影する	72
			露出補正をする	52
		光量が不足していた	ISO 感度を設定する	82
	動画クリップ画像がちらつく	蛍光灯の下で撮影した	フリッカー軽減の設定をする	124
	画像が明るすぎる	フラッシュを強制発光に設定していた	強制発光以外のフラッシュモードにする	72
		被写体が明るすぎた	露出補正をする	52
		ISO 感度の設定が正しくない	ISO 感度の設定を ISO-A にする	82
	ピントが合っていない	被写体との距離が近すぎる	フォーカスを正しく設定する	49・78
		フォーカスの設定が正しくない		
		静止画撮影ボタンを押すときにカメラが動いた	カメラを正しく構え、静止画撮影ボタンを半分押し、ピントを固定してから、さらに静止画撮影ボタンを静かに押す	44・49
		フォーカスロックができていない		
		レンズが汚れていた	レンズをきれいにする	22

	困った状態	原　　因	このようにしてください	参照ページ
再生画像	室内で撮影した画像の色がおかしい	照明の影響を受けている	フラッシュを強制発光に設定して撮影する	72
		ホワイトバランスの設定が正しくない	ホワイトバランスの設定を正しくする	83
	画像の一部が欠けている	レンズやレンズ開口部に指やネックストラップなどがかかっていた	カメラを正しく構え、レンズに指やネックストラップなどがかからないようにする	44
	[画像がありません]表示が出る	設定している再生モードに画像・音声がない	撮影または録音してから再生する	47
	音声が出ない	カメラの音量設定が小さくなっている	音量アイコン 🔊 を選び、音量を調節する	90
テレビでの再生	画像・音声が出ない	カメラとテレビの接続がまちがっている	正しく接続する	144
		テレビの入力が[テレビ]になっている	テレビの入力を[ビデオ]にする	
	音声が出ない	カメラの音量設定が小さくなっている	音量アイコン 🔊 を選び音量を調節する	90
	画像の端が切れる	テレビの特性による	故障ではありません	―
画像編集	画像の加工や回転ができない	画像にプロテクトを設定している	プロテクトを解除してください。	92
充電	ACアダプター/充電器に装着した電池が充電できない	電池の向きが正しくない	電池を指定の向きに正しく入れる	37

	困った状態	原　　因	このようにしてください	参照ページ
充電	ドッキングステーションに装着したカメラの電池が充電できない	ドッキングステーションにACアダプター/充電器を接続していない	ACアダプター/充電器の電源コードを正しく接続する	141
		ドッキングステーションにカメラを正しく接続していない	ドッキングステーションとカメラがしっかり接続するように、カメラを上から押さえる	142
		ACアダプター/充電器に電池を装着している ※この場合、先に充電器に装着した電池を充電し、次にカメラに装着した電池を充電します。	カメラ側の電池を急いで充電する場合は、ACアダプター/充電器に装着した電池をはずす	36・141・142
		カメラの電源が入っていて、ドッキングステーションがカメラモードになっている	[CAMERA/CHARGE] ボタンを押し、[CHARGE] ランプを点灯する	142
その他	[カードを入れてください] 表示が出る	カードを装着していない	電源を切ってから、カードを装着する	38
	[プロテクトされています] 表示が出て、データを消去できない	消去しようとしているデータにプロテクトを設定している	プロテクトを解除する	92
	音声ガイドが出ない	[音声ガイド] を [OFF] にしている	[ON] にする	118

	困った状態	原　因	このようにしてください	参照ページ
その他	1GBのカード使用時、「撮影可能枚数/撮影可能時間/録音可能時間[P213]」に記載の記録ができない	使用のカードが、1GB未満の記録容量である	カードの仕様によっては、1GBの容量を持たない場合があります。詳しくは、カードの説明書をご覧ください。	213

ドッキングステーション

	困った状態	原　因	このようにしてください	参照ページ
リモコン	リモコン操作ができない	リモコンをテレビに向けて操作している(ドッキングステーションの受光部に向けていない)	リモコンをドッキングステーションの受光部に向ける(受光部から水平左右30度以内)	146・147
		リモコンと受光部との間に障害物がある	障害物を取り除くか、避けて使う	
		乾電池が消耗している	新しい乾電池に交換する	
		乾電池の入れかたがまちがっている	極性(⊕⊖)に注意し、正しく入れる	
		リモコンと受光部の距離が遠すぎる	7 m以内のところで操作をする	
		リモコンとドッキングステーションのリモコンコードが違っている	リモコンコードの切り替えをする	148

困った状態になったとき(つづき)

シーンセレクト機能およびフィルター機能設定時の制限事項

シーンセレクト機能の制限事項

設定	注意点
スポーツ	フォーカスレンジ：[マクロ]は設定できません。
ポートレート	
風景	
夜景	
花火	フォーカスレンジ：[∞]に固定です。 フラッシュ：[発光禁止]に固定です。
ランプ	静止画モード：0.3M に固定です。 フラッシュ：[発光禁止]に固定です。 フォーカスレンジ：[マクロ]は設定できません 。 ノイズ軽減：[ノイズ軽減]に固定です。

フィルター機能の制限事項

設定	注意点
モノクロ [◐]	静止画モード：10M は設定できません 。 フォーカスレンジ：[🌷] は設定できません 。
セピア [セピア]	

シーンセレクト機能とフォーカスレンジ設定について

- フォーカスレンジを[🌷]に設定すると、シーンセレクト機能はAUTOになります。
- フォーカスレンジを[人物・山][🌷]またはMFに設定しても、シーンセレクト機能をAUTO以外に設定すると、フォーカスレンジの設定は[🌷人物・山]になります。

仕様

カメラの仕様

形式	デジタルムービーカメラ(記録・再生型)
記録画像ファイルフォーマット	**静止画像：**JPEG形式 (DCF、DPOF、Exif Ver2.2準拠) (注) DCFは(社)電子情報技術産業協会(JEITA)で主として、DSC等の画像ファイル等を、関連機器間で簡便に利用しあえる環境を整えることを目的に標準化された規格「Design rule for Camera File system」の略称です。ただし、「DCF規格」は、機器間の完全な互換性を保証するものではありません。 **動画クリップ：**ISO標準MPEG-4フォーマット準拠 **音声：**MPEG-4オーディオ(AAC圧縮)48kHzサンプリング、16ビット、ステレオ
記録媒体	SDメモリーカード
カメラ部有効画素数	約508万画素
撮像素子	1/2.5型CCD、総画素数：約526万画素、インターレーススキャン、原色カラーフィルター
静止画撮影モード(記録画素数)	10M：3680×2760ピクセル 5M-H：2592×1944ピクセル(低圧縮) 5M-S：2592×1944ピクセル(標準圧縮) 2M：1600×1200ピクセル 0.3M：640× 480ピクセル
動画クリップ撮影モード(記録画素数・フレームレート・ビットレート)	TV-SHQ：640×480ピクセル 30fps 3Mbps TV-HQ：640×480ピクセル 30fps 2Mbps TV-S：320×240ピクセル 30fps 640kbps Web-HQ：320×240ピクセル 15fps 384kbps Web-S：176×144ピクセル 15fps 256kbps ※本機の30fpsは29.97fps、15fpsは14.985fpsです。
ホワイトバランス	フルオートTTL、マニュアル設定可能

<table>
<tr><td>レンズ</td><td>光学5.0倍
ズームレンズ</td><td>f=6.3mm～31.7mm
（35mmフィルムカメラ換算
f=38mm～190mm）
オートフォーカス、9群12枚
（非球面3枚5面使用）
ガルバノメータ方式絞り機構
NDフィルター搭載</td></tr>
<tr><td>絞り</td><td colspan="2">開放F=3.5(Wide)～4.7(Tele)
最小F=8.0(Wide)～10.7(Tele)</td></tr>
<tr><td>露出制御方式</td><td colspan="2">プログラムAE
撮影設定画面による露出補正機能あり(0±1.8EV 0.3EVステップ)</td></tr>
<tr><td>測光方式</td><td colspan="2">多分割測光、中央重点測光、スポット測光</td></tr>
<tr><td>撮影範囲</td><td colspan="2">全域モード ：10cm～∞(Wide端)
：80cm～∞(Tele端)
標準モード ：80cm～∞
スーパーマクロモード：1cm～80cm(Wide端のみ)</td></tr>
<tr><td>デジタルズーム</td><td colspan="2">撮影時：1～約12倍
再生時：1～58倍(解像度により異なる)</td></tr>
<tr><td>シャッタースピード</td><td colspan="2">静止画撮影モード：1/2～1/2,000秒
（最長約4秒：シーンセレクト機能ランプ時）
（フラッシュ発光時：1/30～1/2,000秒）
動画クリップ撮影モード：1/30～1/10,000秒</td></tr>
<tr><td>感度</td><td colspan="2">静止画撮影モード：
オート(ISO50～200相当)/ISO50、100、200、400相当(撮影設定画面による切り替え)
（最大ISO感度800相当まで増感：シーンセレクト機能ランプ時）
動画クリップ撮影モード：
オート(ISO200～400相当)/ISO200、400、800相当(撮影設定画面による切り替え)</td></tr>
<tr><td>手ぶれ補正</td><td colspan="2">電子式</td></tr>
</table>

仕様(つづき)

液晶モニター	2.0型低温ポリシリコンTFTカラー液晶半透過型 約21万画素(視野率約100%)	
フラッシュ撮影範囲	GN=3 約10cm～1.2m(Wide) 約80cm～90cm(Tele)	
フラッシュモード	自動発光、強制発光、発光禁止	
フォーカス	TTL方式AF(静止画撮影モード:5点測距/スポット、動画クリップ撮影モード:コンティニュアス・エリア)・マニュアルフォーカス(15段階)	
セルフタイマー	作動時間2秒/10秒	
日付・時刻	撮影時画像データに同時記録	
使用環境	温度	0～40℃(動作時) −20～60℃(保管時)
	湿度	30～90%(動作時、非結露) 10～90%(保管時、非結露)
電源	電池	リチウムイオン電池(DB-L20)×1本
消費電力		3.1W(リチウムイオン電池使用・記録時)
大きさ(突起部含まず)		68(幅)×108(高さ)×23(奥行き)mm(最大寸法)容積:約124cc
質量		約145g(本体のみ(電池・カード別))

カメラ各端子の仕様

<table>
<tr><td rowspan="5">DIGITAL/AV
（通信/音声・映像出力）端子</td><td colspan="2">専用ジャック</td></tr>
<tr><td>音声出力</td><td>265mVrms（−9dBs）･12kΩ以下･ステレオ</td></tr>
<tr><td>映像出力</td><td>1.0Vp-p･75Ω不平衡･同期負･コンポジットビデオ
日米標準NTSCカラーTV方式/PALカラーTV方式（オプション画面による切り替え）</td></tr>
<tr><td>S映像出力</td><td>Y信号：1.0Vp-p･75Ω不平衡･同期負
C信号：0.286Vp-p･75Ω不平衡
日米標準NTSCカラーTV方式/PALカラーTV方式（オプション画面による切り替え）</td></tr>
<tr><td>USB</td><td>USB 2.0（フルスピードモード対応・USB1.1相当）
PCカメラ：USBビデオクラス</td></tr>
<tr><td>DC IN
（外部電源入力）端子</td><td colspan="2">DC4.7V
（付属のACアダプター/充電器専用）</td></tr>
</table>

電池寿命

<table>
<tr><td rowspan="2">撮影時</td><td>静止画撮影モード</td><td>113枚：CIPA規格によります（東芝製128MB SDメモリーカード使用時）</td></tr>
<tr><td>動画クリップ撮影モード</td><td>60分：TV-HQモード（640×480ピクセル、30fps）で撮影した場合</td></tr>
<tr><td colspan="2">再生時</td><td>125分：液晶モニターを点灯し、連続して再生した場合</td></tr>
</table>

- 十分に充電した付属の電池を使い、常温（25℃）で当社測定条件のもと、電池が切れるまでのおおよその値です。
- 電池の状態や測定条件により、使用可能時間が変わります。特に10℃以下の低温状態で使用したときは、電池の特性により使用可能時間が極端に短くなります。

撮影可能枚数/撮影可能時間/録音可能時間

別売のSDメモリーカード(128MB)、市販品のSDメモリーカード(512MB/1GB)を使用した場合の記録枚数と記録時間は以下のとおりです。

撮影/録音モード設定	画質設定	SDメモリーカードの種類		
		128MB(別売品)使用時	512MB(市販品)使用時*	1GB(市販品)使用時*
静止画撮影モード	10M	36枚	150枚	302枚
	5M-H	49枚	201枚	405枚
	5M-S	73枚	300枚	604枚
	2M	187枚	762枚	1,530枚
	0.3M	960枚	3,900枚	7,850枚
動画クリップ撮影モード	TV-SHQ	5分7秒	20分52秒	41分58秒
	TV-HQ	7分27秒	30分23秒	1時間1分
	TV-S	19分39秒	1時間20分	2時間41分
	Web-HQ	28分24秒	1時間55分	3時間52分
	Web-S	36分30秒	2時間28分	4時間59分
音声記録モード	—	2時間4分	8時間28分	17時間3分

- TV-Sの連続撮影時間は、最大2時間30分です。また、Web-HQとWeb-Sの連続撮影時間は、最大3時間です。
- 音声の連続記録時間は、最大9時間です。
- 同じ容量のカードでも、メーカーや種類、撮影条件が違うと撮影枚数など数値が異なることがあります。
- 連続撮影(録音)時間は、カードの種類・容量・性能などによって、異なります。

*ハギワラシスコム製SDメモリーカードTシリーズを使用した値です。

ドッキングステーションの仕様

品番		PDS-C5
電源		DC4.7V
定格出力		DC4.2V/4.7V
適合電池		付属または別売のリチウムイオン電池(DB-L20)
使用環境	温度	0～40℃(充電時)、−20～60℃(保管時)
	湿度	10～85%(非結露)
大きさ		94(幅)×34.1(高さ)×94(奥行き)mm
質量		約67g

リモコンの仕様

品番	BRC-C1
電源	リチウム電池(CR2025)
大きさ	35(幅)×56.6(高さ)×6.5(奥行き)mm
質量	約15g(電池を含む)

仕様（つづき）

付属のACアダプター/充電器の仕様

品番		VAR-AL20
電源		AC100V～240V, 50/60Hz, 0.27～0.17A, 23VA～32VA
定格出力		DC4.2V 0.6A（充電時）、DC4.7V 2.0A（DC出力時）
適合電池		付属または別売のリチウムイオン電池（DB-L20）
使用環境	温度	0～40℃（動作時）、－20～60℃（保管時）
	湿度	20～80%（非結露）
大きさ		60（幅）×33（高さ）×90（奥行き）mm
質量		約175g（電源コードは含まず）
電源コードの定格		AC125V、3A

- 付属のACアダプター/充電器を海外でお使いになる場合は、電源コードをご使用になる地域や国にあったものに取り替える必要があります。詳しくは、お買い上げ販売店または、もよりの「お客さまご相談窓口[P221]」にお問い合わせください。

付属のリチウムイオン電池の仕様

品番		DB-L20
電圧		3.7V
定格出力		720mAh
使用環境	温度	0～40℃（機器使用時・充電時） －10～30℃（保管時）
	湿度	10～90%（非結露）
大きさ		39.4（幅）×6.0（高さ）×35.5（奥行き）mm
質量		約19g

その他

電波障害自主規制について

この製品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この製品は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この製品がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用すると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
本機の接続において指定ケーブルを使用しない場合、VCCI ルールの限界値を越えることが考えられますので、必ず指定されたケーブルを使用してください。

ご注意

- この説明書の内容の一部、または全部を無断転載することは固くお断りします。
- この説明書に掲載している写真やイラストは、説明のため実物と多少異なりますが、ご了承ください。また、内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- 本製品は日本国外では販売せず、保証書は日本国内でのみ有効です。
- 付属品は、日本仕様です。
- 本製品がお客さまにより不適当に使用されたり、この説明書の内容に従わずに取り扱われたり、または当社および当社指定外の第三者により、修理・変更されたこと等に起因して生じた障害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
- 当社純正品および、当社品質認定品以外のオプションまたは消耗品を装着してトラブルが発生した場合には、責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品の故障、修理その他の理由により生じたデータの消失による、損害および逸失利益等に関し、当社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。
- 運用した結果の影響については、上項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品で撮影した画像の質は、フィルム式カメラの写真の質とは異なります。

CD-ROMの使用許諾について

・本CD-ROMを無断で複製することができません。
・本CD-ROMに収納されているソフトウェアのインストールにあたっては、インストール時に表示されるソフトウェアの使用許諾契約内容を確認の上、同意された内容において使用することができます。
・本CD-ROMで紹介する他社製品およびサービス内容につきましては、供給メーカーにお問い合わせください。

Macintosh、QuickTimeは米国Apple Computer, Inc.の商標または登録商標です。
MicrosoftおよびWindowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
IntelおよびPentiumは、米国インテル社の登録商標です。
その他の社名、および商品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

本文中では、Microsoft® Windows® 98 operating system日本語版、Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system日本語版、Microsoft® Windows® 2000 operating system日本語版、Microsoft® Windows® XP operating system日本語版を単にWindowsと表記しています。
その他の社名、および商品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

索　引（50音順）

名称・用語

あ行

か行

さ行

た行

は行

ま行

ら行

操作

あ行

か行

さ行

索引

付録

た行

は行

お客さまご相談窓口

■まずはお買い上げの販売店へ…

家電製品の修理のご依頼やご相談は、お買い上げの販売店へお申し出ください。

転居や贈答品でお困りの場合は、下記の相談窓口にお問い合わせください。

家電製品についての全般的なご相談は<総合相談窓口>

三洋電機(株)お客さまセンター

受付時間：9：00〜18：30

◆北海道地区
札　幌　☎(011)290ー1522

◆東北地区
仙　台　☎(022)714ー6137

◆関東地区
東　京　☎(03)3815ー1111

◆中部・北陸地区
名古屋　☎(052)533ー5245

◆近畿・四国地区
大　阪　☎(06)6994ー9570

◆中国地区
広　島　☎(082)297ー6067

◆九州・沖縄地区
福　岡　☎(092)263ー7629

※郵便・FAXでご相談される場合は

三洋電機(株)お客さまセンター

〒570-8677　大阪府守口市京阪本通2ー5ー5
FAX(06)6994ー9510

☆上記のお客さまご相談窓口の名称、電話番号は、変更することがありますのでご了承ください。

修理や部品に関するご相談は<修理相談窓口>

三洋コンシューママーケティング(株)

受付時間：月曜日～金曜日　　9：00～18：30
土曜・日曜・祝日　9：00～17：30

出張修理のご依頼 その他の修理相談窓口

東日本コールセンター　東京 ☎(03)5302−3401
西日本コールセンター　大阪 ☎(06)4250−8400

関東・首都圏及び近畿地区以外にお住まいのお客さまは下記の電話をご利用いただけます。

東日本コールセンターへの転送電話番号

◆北海道地区
札　幌　☎(011)833−7888

◆東北地区
仙　台　☎(022)382−2213

◆長野地区
長　野　☎(0263)26−1772

◆新潟地区
新　潟　☎(025) 285−2451

◆福島地区
福　島　☎(024)945−6811

西日本コールセンターへの転送電話番号

◆北陸地区
金　沢　☎(076)237−6650

◆東海地区
名古屋　☎(052)979−3456

◆中国地区
広　島　☎(082)293−9333

◆四国地区
高　松　☎(087)844−8321

◆九州地区
福　岡　☎(092)922−9311

◆沖縄地区　沖　縄　☎(098)944−5018
受付時間：月曜日～土曜日(日曜、祝日および当社休日を除く)
9：00～12：00、13：00～17：30

※「持込修理および部品」についてのご相談は、各地区サービスセンターで承っております。
受付時間：月曜日～土曜日(日曜、祝日を除く)9：00～17：30

お客さまご相談窓口（つづき）

北海道地区

北海道
札　幌　☎(011)831—9201
〒003-0013　札幌市白石区中央三条4—1—36
函　館　☎(0138)48—8301
〒041-0824　函館市西桔梗町589—295
苫小牧　☎(0144)33—3421
〒053-0042　苫小牧市三光町2—2—5
旭　川　☎(0166)22—2421
〒070-0073　旭川市曙北3条7—3—3
北　見　☎(0157)23—4871
〒090-0037　北見市山下町4—7—14
釧　路　☎(0154)22—1576
〒085-0021　釧路市浪花町7—7

東北地区

宮城県
仙　台　☎(022)384—0444
〒981-1225　名取市飯野坂3—4—8

青森県
青　森　☎(017)729—3401
〒030-0141　青森市大字上野字山辺29—5
八　戸　☎(0178)28—9225
〒039-1103　八戸市長苗代字観音堂50—5

岩手県
盛　岡　☎(019)635—0136
〒020-0863　盛岡市南仙北1—13—6
水　沢　☎(0197)23—6621
〒023-0003　水沢市佐倉河字羽黒田45

山形県
山　形　☎(023)641—1769
〒990-2432　山形市荒楯町1—21—30
酒　田　☎(0234)23—3817
〒998-0842　酒田市亀ヶ崎6—7—16

東北地区

秋田県
秋　田　☎(018)862—6551
〒010-0925　秋田市旭南3—2—67

福島県
郡　山　☎(024)945—6793
〒963-0111　郡山市安積町荒井字戸蘭塔1—7

関東・甲信越地区

埼玉県
さいたま　☎(048)664—2319
〒331-0812　さいたま市北区宮原町1—30
坂　戸　☎(049)284—8900
〒350-0214　坂戸市千代田5—3—17

栃木県
栃　木　☎(028)653—2811
〒321-0106　宇都宮市上横田町1302—12

茨城県
茨　城　☎(0298)64—4751
〒300-3261　つくば市花畑2—15—3
水　戸　☎(029)251—4125
〒311-4152　水戸市河和田3—2386—1

群馬県
群　馬　☎(027)362—1151
〒370-0001　高崎市中尾町池の内441
西関東　☎(0276)22—7702
〒373-0015　太田市東新町72—2

新潟県
新　潟　☎(025)285—2431
〒950-0971　新潟市近江244
長　岡　☎(0258)24—0705
〒940-0029　長岡市東蔵王2—3—46
上　越　☎(0255)43—3535
〒942-0074　上越市石橋2—2—9

関 東 地 区

東京都
城 東 ☎(03)3607−3191
〒125-0051 葛飾区新宿4−10−15
城 北 ☎(03)3958−1261
〒173-0021 板橋区弥生町72−5
城 西 ☎(03)3376−3361
〒151-0073 渋谷区笹塚3−1−13
武蔵野 ☎(042)364−7721
〒183-0045 府中市美好町2−3−1

神奈川県
戸 塚 ☎(045)827−2831
〒224-0806 横浜市戸塚区上品濃9−14
相模原 ☎(042)742−2272
〒228-0805 相模原市豊町17−11
平 塚 ☎(0463)55−3926
〒254-0014 平塚市四之宮3−20−63

千葉県
千 葉 ☎(043)241−7311
〒260-0025 千葉市中央区問屋町5−20
鎌ケ谷 ☎(047)441−0111
〒273-0105 鎌ケ谷市鎌ケ谷7−6−59

山梨県
山 梨 ☎(055)226−2561
〒400-0035 甲府市飯田4−8−23

中 部 地 区

静岡県
静 岡 ☎(054)261−4151
〒420-0813 静岡市長沼885
沼 津 ☎(055)963−1000
〒410-0861 沼津市真砂町3−1
浜 松 ☎(053)461−8685
〒435-0016 浜松市和田町795−2

長野県
松 本 ☎(0263)26−1107
〒390-0835 松本市高宮東1−35
長 野 ☎(026)299−9501
〒388-8006 長野市篠ノ井御幣川字東松島1000−2

石川県
金 沢 ☎(076)237−7811
〒920-0062 金沢市割出町627

富山県
富 山 ☎(076)422−7020
〒939-8211 富山市二口町1−13−8

福井県
福 井 ☎(0776)22−6082
〒918-8231 福井市問屋町1−17

三重県
三 重 ☎(059)228−8126
〒514-0838 津市岩田町10−3

中 部 地 区

愛知県
名古屋 ☎(052)979−3455
〒461-0011 名古屋市東区白壁5−41
岡 崎 ☎(0564)23−3418
〒444-0065 岡崎市柿田町1−2

岐阜県
岐 阜 ☎(058)246−3417
〒501-6006 岐阜県羽島郡岐南町伏屋1−35

近 畿 地 区

大阪府
大 阪 ☎(06)6992−6235
〒570-0086 守口市竹町4−13
大阪南 ☎(06)6761−4600
〒543-0001 大阪市天王寺区上本町5−1−14 三洋ビル2F
大阪東 ☎(0729)65−1811
〒578-0903 東大阪市今米2−3−29

お客さまご相談窓口（つづき）

近 畿 地 区

阪　和　☎(072)221−8571
〒590-0959　堺市大町西3−1−16

京都府
京　都　☎(075)672−0877
〒601-8102　京都市南区上鳥羽菅田町41
三　丹　☎(0773)27−3458
〒620-0856　福知山市土師宮町1−66

奈良県
奈　良　☎(0744)22−7888
〒634-0837　橿原市曲川町7−1−31

滋賀県
滋　賀　☎(077)545−4221
〒520-2134　大津市瀬田1−1−5

和歌山県
和歌山　☎(073)436−3110
〒641-0006　和歌山市中島369
田　辺　☎(0739)22−7520
〒646-0051　田辺市稲成町南江原318

兵庫県
神　戸　☎(078)651−3951
〒652-0897　神戸市兵庫区駅南通2−1−11
阪　神　☎(06)6432−3401
〒661-0026　尼崎市水堂町4−17−6
姫　路　☎(0792)96−2141
〒670-0981　姫路市西庄字八町108
淡　路　☎(0799)22−2702
〒656-0101　洲本市納字横竹308−1

中 国 地 区

広島県
広　島　☎(082)293−6511
〒733-0012　広島市西区中広町3−17−5
福　山　☎(084)925−3455
〒720-0077　福山市南本庄3−1−48

岡山県
岡　山　☎(086)245−1634
〒700-0973　岡山市下中野703−101
津　山　☎(0868)22−6133
〒708-0002　津山市上河原239−10

鳥取県
鳥　取　☎(0857)24−2930
〒680-0843　鳥取市南吉方3−107

島根県
浜　田　☎(0855)22−7883
〒697-0023　浜田市長沢町3049
松　江　☎(0852)23−1183
〒690-0017　松江市西津田4−1−14

山口県
山　口　☎(083)973−3391
〒754-0024　山口県吉敷郡小郡町若草町2−6

四 国 地 区

愛媛県
愛　媛　☎(089)971−3342
〒791-8036　松山市高岡町148−1
宇和島　☎(0895)27−1818
〒798-0077　宇和島市保田甲934−3

香川県
香　川　☎(087)843−1840
〒761-0104　高松市高松町2175−10

高知県
高　知　☎(088)860−0229
〒781-5106　高知市介良乙1044

徳島県
徳　島　☎(088)699−4131
〒771-0219　徳島県板野郡松茂町笹木野字八北開拓150−2

九 州 地 区

福岡県
福　岡　☎(092)928−3414
〒818-8534　筑紫野市紫6−1−1
北九州　☎(093)521−5286
〒802-0023　北九州市小倉北区下富野2−10−28

九　州　地　区	沖　縄　地　区
中九州　☎(0942)21−3534 〒830-0052　久留米市上津町字赤坂 1890−2 **長崎県** 長　崎　☎(095)824−5628 〒850-0012　長崎市本河内3−21−43 佐世保　☎(0956)31−7635 〒857-1162　佐世保市卸本町17−1 **熊本県** 熊　本　☎(096)357−1122 〒861-4106　熊本市南高江町3−2−88 八　代　☎(0965)35−3483 〒866-0871　八代市田中東町12−7 **大分県** 大　分　☎(097)543−3454 〒870-0822　大分市大道町3−4−32 **宮崎県** 宮　崎　☎(0985)29−3441 〒880-0036　宮崎市花ケ島町観音免883 **鹿児島県** 鹿児島　☎(099)251−4615 〒890-0068　鹿児島市東郡元町11−10	**沖縄県** 沖　縄　☎(098)944−5018 〒903-0103　沖縄県中頭郡西原町小那覇 1303 沖縄三洋販売(株)サービス部

☆住所・電話番号は、ご通知なしに変更することがありますので、ご了承ください。

アフターサービスについて

■この商品は保証書を別途添付しております。
保証書は販売店でお渡しいたしますから、所定事項の記入および記載内容を確認いただき、大切に保管してください。

保証期間はお買い上げ日から1年間です

- 保証書の記載内容により、お買い上げ販売店が修理いたします。その他の詳細は保証書をご覧ください。
- 保証期間経過後の修理については、お買い上げ販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客さまのご要望により、有料修理いたします。
- 当社は、このカメラの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後、8年保有しています。
- なお保証期間中の修理など、アフターサービスについてご不明の場合は、お買い上げ販売店へお申し出ください。転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、もよりの「お客さまご相談窓口[P221]」にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは…

下記の事項をお買い上げ販売店に、ご連絡ください。

1. 故障の状況(できるだけくわしく)
2. 品番(DMX-C5)
3. 製造番号(保証書に記入)
4. お買い上げ年月日(保証書に記入)
5. おなまえ、おところ、電話番号

総合相談窓口　受付時間　9:00〜18:30

修理のご依頼やご相談は、まずはお買い上げ販売店へお申し出ください。
家電製品についての全般的なご相談は下記にお問い合わせください。

地区	電話
◆北海道地区	☎札　幌(011)290-1522
◆東北地区	☎仙　台(022)714-6137
◆関東地区	☎東　京(03)3815-1111
◆中部・北陸地区	☎名古屋(052)533-5245
◆近畿・四国地区	☎大　阪(06)6994-9570
◆中国地区	☎広　島(082)297-6067
◆九州・沖縄地区	☎福　岡(092)263-7629

郵便・FAXでご相談される場合は

◆三洋電機(株)お客さまセンター
〒570-8677
大阪府守口市京阪本通2-5-5
FAX(06)6994-9510

修理や部品に関するご相談は、お買い上げ販売店、または三洋コンシューママーケティング(株)の「修理相談窓口[P222]」にお問い合わせください。

この商品に関するご相談は下記にお問い合わせください。

受付時間：月曜日〜金曜日（祝日および当社の休日を除く）
9:00〜11:50、13:15〜17:00

DIソリューションズカンパニー　お客さま相談係
電話　大東（072）870-4184（直通）

お客さまメモ

お買い上げの際にご記入ください。お問い合わせなどのときに便利です。

品　番	DMX-C5
お買い上げ年月日	年　月　日
お買い上げ販売店	電話(　　)　—
もよりのお客さま ご相談窓口	電話(　　)　—

以下の項目をご確認のうえ、お問い合わせください。

お客さまチェックシート		
カードの種類	容量：	
	メーカー名：	
	お買い上げ年月日：　年　月　日	
パソコンのOS	□Windows 98SE □Windows 2000 □Windows Me □Windows XP	□Mac OS 9.x □Mac OS X以降

撮影のヒント

難しく思える被写体でも、少し工夫をすると、より上手に撮影できます。

基本的な撮影

■オートフォーカスなのにピントが合わないのはなぜ？

本機はオートフォーカス機能を搭載しており、オートフォーカスを使った撮影では、カメラがピントを自動的に合わせます。しかし、それでもピントが合わないのはなぜでしょうか？

●オートフォーカスの動作

本機のオートフォーカスは、シャッターボタンを半分押した時点で動作します。
オートフォーカスが働いてピントが合うと、液晶モニターにターゲットマークが出ます。
そして、そのまま静かにシャッターボタンを押し込むとシャッターが切れます。
このようにして撮影をすると、ピントが合います。

●ピントが合わない原因

1：シャッターボタンを一気に押した

2：ピントを合わせた後に、被写体が動いた

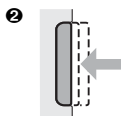
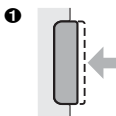
- 一度オートフォーカスでピントを合わせても、被写体や撮影者が動いて撮影距離が変わると、ピントが合わない場合があります。

3：フォーカスの設定が、撮影距離に合っていない

- スーパーマクロモード[P78]で遠景を撮影したり、通常モードで至近距離の被写体を撮影するとオートフォーカスが働かないので、ピントが合いません。

●ピントをしっかり合わせるには

①フォーカスの設定が正しいことを確認してください。
②カメラを正しく構えてシャッターボタンを半分押してください。
③液晶モニターにターゲットマークが出るのを待ち、ひと呼吸おいてシャッターボタンを静かに押し込んでください。

このように、落ち着いてシャッターボタンを操作すると、ピントが合った美しい写真を撮影することができます。

撮影のヒント(つづき)

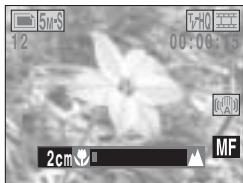
■動きのある被写体の撮影は？

運動中のお子さまやペットなどの写真は、オートフォーカスでピントを合わせても被写体までの距離が刻々と変わるため、ピンボケになる可能性があります。特に、カメラに対して前後に動く被写体には、なかなかピントが合いません。動きのある被写体に、うまくピントを合わせる方法はないのでしょうか？

●ピンボケの原因

オートフォーカスは、シャッターボタンを半分押した時点の距離にピントを合わせるため、被写体が動くとピントがはずれてしまいます。また、オートフォーカスが動作するのを待っていては、シャッターチャンスを逃してしまう場合もあります。逆に、シャッターチャンスにシャッターボタンを一気に押すとピントが合わず、やはりピンボケの原因になります。

●ピンボケを防ぐには（マニュアルフォーカスモードを活用する **[P79]****）**

本機のフォーカス機能には、マニュアルフォーカスモードがあります。シャッターボタンを押した時に被写体までの距離を測ってピントを合わせるオートフォーカスに対し、マニュアルフォーカスモードでは、あらかじめピントを被写体までの距離に設定しておいて撮影します。

●撮影のしかた

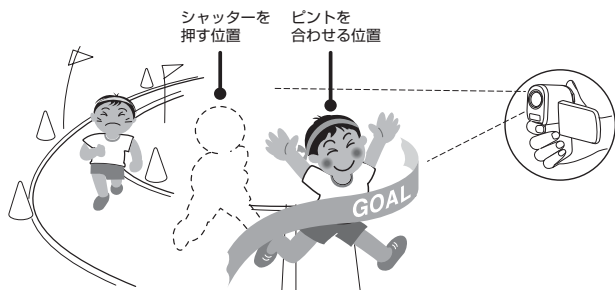
①フォーカスモードをマニュアルフォーカスに設定し、焦点距離を被写体までの距離に設定します。

②被写体が設定した焦点距離にきたら、静かにシャッターボタンを押し込みます。

＜マニュアルフォーカスの利点＞

- ピント合わせに要する時間を省くことで、素早く撮影ができます。
- あらかじめ焦点距離を設定しているので、ピントをより正確に合わせることができます。

＜マニュアルフォーカスの有効な使いかた＞

- 動きが早い被写体を撮影する場合は、被写体が撮影距離に達する少し前にシャッターボタンを押すと、被写体が撮影距離に達した時にシャッターを切ることができます。
- 被写体の手前にある物にピントが合ってしまうようなトラブルを防ぐことができます。

撮影のヒント(つづき)

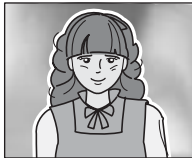
シーンセレクト機能を使った撮影

■人物を撮影しよう(ポートレートモード [icon])

ポイント：

- 目立つものが背景にないように注意する
- なるべく被写体に近づく
- 人物に当たる照明に注意する

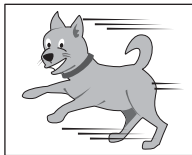
解説：

- 背景に目立つものがある場合は、人物が引き立ちません。そこで、被写体に近づいたりズームアップして、背景が目立たないように撮影すると良いでしょう。
- ポートレート撮影では人物が主役になるので、人物が引き立つように撮影します。
- 逆光では顔が暗く写るので、フラッシュを使ったり露出を補正して撮影しましょう。

■動きのあるものを撮影しよう(スポーツモード [icon])

ポイント：

- 被写体の動きにカメラを合わせる
- ズームはWide(広角)側に
- チャンスには、ためらわずにシャッターボタンを押す

解説：

- シャッターチャンスを逃さないように、カメラを正しく構え、常に被写体をレンズに捉えておきましょう。カメラとともに自分の体を動かしながら撮影してみるのも良いでしょう。
- 手ぶれは、Wide側よりTele側の方が出やすいので、ズームはできるだけWide側にして撮影します。
- シャッターチャンスが来たら、すばやくスムーズにシャッターボタンを押しましょう。

■夜景を撮影しよう（夜景モード [夜景アイコン]）

ポイント：

- 手ぶれに十分気を使う
- ISO感度を上げる

解説：

- 夜景撮影では、シャッタースピードが遅くなるため、手ぶれが起きる可能性が高くなります。三脚を使うか、三脚がない場合は壁や柱を利用して、カメラを固定して撮影してください。
- 夜景を背景にして人物を撮影する場合は、フラッシュで人物の顔が明るくなり過ぎないよう、人物に近づき過ぎない距離で撮影してください。
- フラッシュ発光後、約2秒間は、カメラを動かしたり被写体の人物が動かないようにしてください。

■風景を撮影しよう（風景モード [風景アイコン]）

ポイント：

- 高画質で撮影する
- ズーム撮影する場合は、光学ズームを使う
- 構図に配慮する

解説：

- 広角で撮影する場合や引き伸ばして写真にする場合は、なるべく高い解像度で撮影してください。
- 遠くの風景をアップで撮影する場合は、なるべく光学ズームで撮影してください。デジタルズームを使うと、画像が荒れます。また、わきを締めてしっかりとカメラを構え、手ぶれしないように気をつけてください。三脚などでカメラを固定すると良いでしょう。
- 遠近感や風景の中のポイントとなる被写体の配置など、構図に注意しましょう。